

詳細版

「中国やまなみ街道の全線開通に伴う
地域経済への波及効果」調査
(最終報告)

平成 29 年 3 月

中 国 経 済 連 合 会

目 次

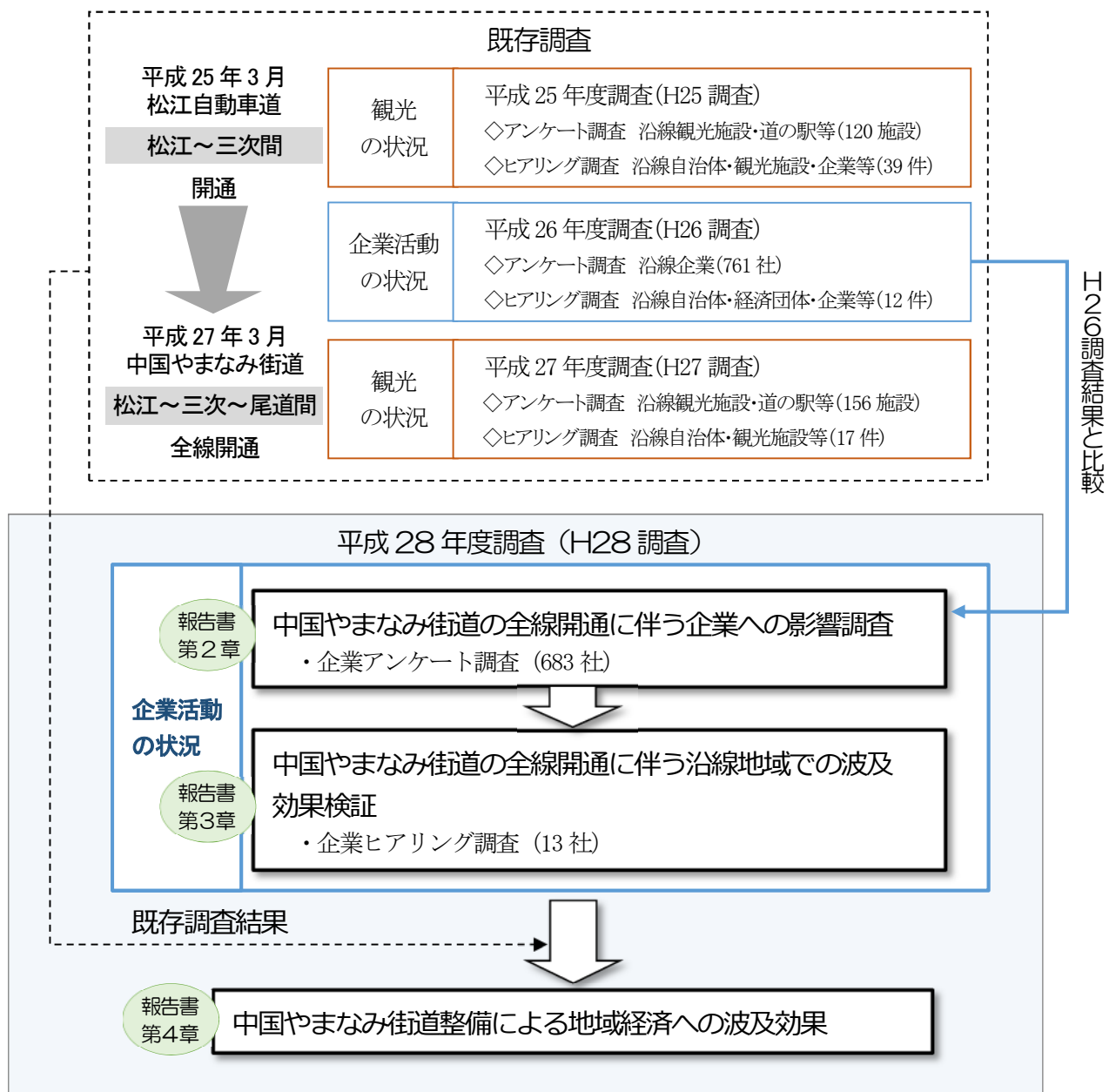
第1章 調査の概要	1
第2章 中国やまなみ街道の全線開通に伴う企業への影響調査	2
1. 企業アンケート調査概要	2
2. 中国やまなみ街道全線開通による変化	10
3. 今後の産業活性化・企業展開等の見通し	30
4. 中国やまなみ街道の全線開通後の波及効果まとめ	44
第3章 中国やまなみ街道の全線開通に伴う沿線地域での波及効果検証	45
1. 企業ヒアリング調査概要	45
2. 企業ヒアリング調査結果	46
3. 企業ヒアリング調査により得られた波及効果まとめ	55
第4章 中国やまなみ街道整備による地域経済への波及効果	56
1. 山陰・山陽間の広域的な人流・物流の拡大	57
2. 沿線の地域振興に関する取組の活発化	63
3. 沿線の経済活動の拡大、交流・連携の進展	67
4. 中山間地域における地域内ネットワークの拡大	69
参考資料	70

第1章 調査の概要

1) 調査目的

平成27年3月の中国横断自動車道尾道松江線（以下、中国やまなみ街道という）の尾道道開通による企業への影響調査等を実施し、平成25～27年度に実施した中国やまなみ街道による地域への影響調査結果と合わせ、最終報告として、中国やまなみ街道全線開通に伴う広域交通網の地域経済へ及ぼす波及効果を取りまとめる。

2) 調査フロー



第2章 中国やまなみ街道の全線開通に伴う企業への影響調査

1. 企業アンケート調査概要

1) 調査の目的

中国やまなみ街道の全線開通が企業活動や地域経済等に与える影響として、下記について把握する。

◆中国やまなみ街道の全線開通後1年間の効果・影響

◆松江自動車道の開通時に実施した企業活動等における影響に関する調査（平成26年5月実施、以下、H26調査又は前回調査という）と比較した高速道路利用や企業展開等の見通し

2) 調査対象

(1) 対象エリア

中国やまなみ街道の全線開通の効果・影響を受けやすいと考えられる広島県内、島根県内の下記のエリアごとに350社を抽出し、合計で2,100社を対象とした。各エリアの範囲は次ページの通りである。

◆広島県内…備北、広島、尾道・世羅、備後の4エリア

◆島根県内…松江・出雲、雲南の2エリア

(2) 対象業種

物流面での荷主となる業種として製造業・卸売業・小売業・農林水産業、観光関連業種として飲食業・宿泊業、これに建設業を加えた7業種を対象とした。各エリアの業種ごとに従業員数の多い企業50社を対象とし、50社に満たない業種がある場合は従業員数の多い他業種から抽出した。

(3) 調査期間

平成28年（2016年）4月18日～5月18日

3) 回収状況

回収数が683件、回収率は32.5%である。

エリア別配布数・回収率（H28調査）

エリア	配布数	回収数	回収率
松江・出雲	350	128	36.6%
雲南	350	129	36.9%
備北	350	137	39.1%
広島	350	83	23.7%
尾道・世羅	350	118	33.7%
備後	350	85	24.3%
(不明)		3	
計	2,100	683	32.5%

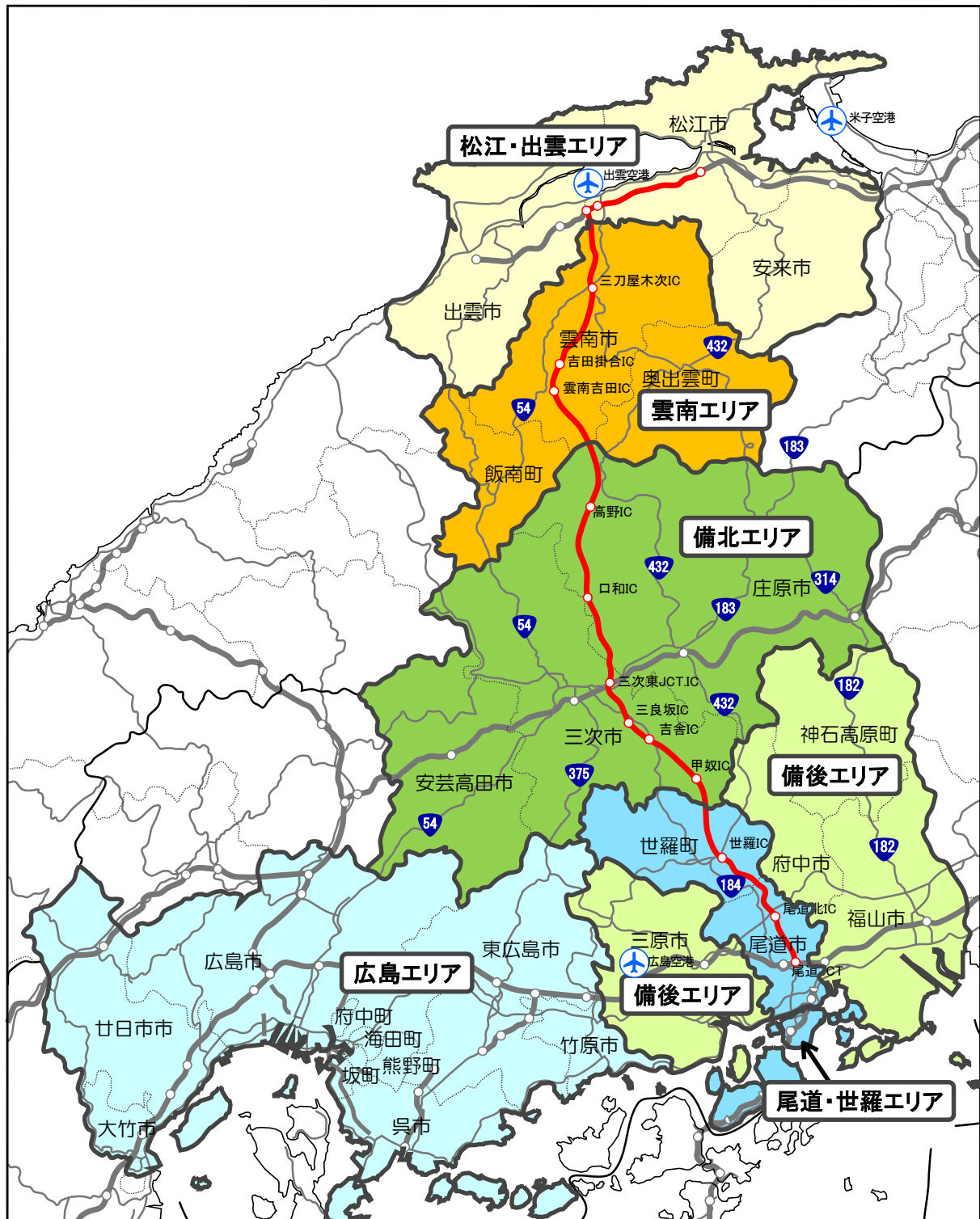
エリア別配布数・回収率（H26調査）

エリア	配布数	回収数	回収率
松江・出雲	350	130	37.1%
雲南	350	162	46.3%
備北	350	134	38.3%
広島	350	100	28.6%
尾道・世羅	350	120	34.3%
備後	350	110	31.4%
(不明)		5	
計	2,100	761	36.2%

(注) 全体回収数には不明を含む（エリア別集計の合計とは合致しない）。

H28調査回答企業683社のうち企業名の記載があった企業は652社であり、そのうち前回（H26調査）に続いて回答したと判明した企業は365社（56.0%）である。

調査対象エリア

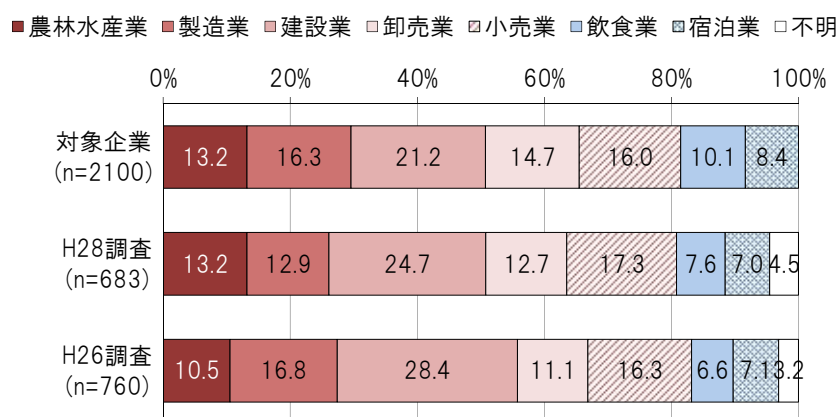


4) 回答企業の属性

(1) 業種

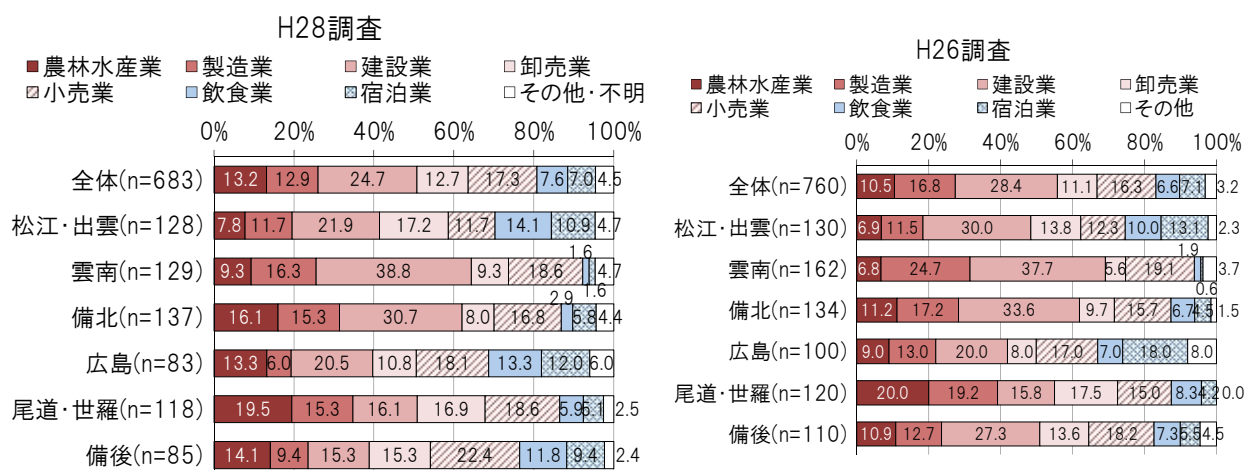
- ・回答企業は「建設業」が 24.7%で最も多く、次いで「小売業」17.3%、「農林水産業」13.2%の順となっており、配布対象企業の割合に準じた回答割合となっている。H26 調査と比べると、「建設業」「製造業」の回答割合がやや低下し、「小売業」「農林水産業」がやや高くなっている。(図 1)
- ・エリア別にみると、雲南、備北では「建設業」の割合がそれぞれ約 4 割、3 割と高く、前回同様の傾向となっている。また、尾道・世羅では「農林水産業 (19.5%)」、備後では「小売業 (22.4%)」が最も多く、広島では「製造業 (6.0%)」が最も低い。(図 2)

図 1 対象・回答企業の業種



(注) 項目ごとに四捨五入しているため合計が 100%とならない場合がある。以下も同様。

図 2 対象・回答企業の業種 (エリア別)



(注) 不明分を含むためエリアの合計値は全体数値と合致しない。以下も同様。

(2) 従業員数

- ・「50人未満」が65.3%と最も多く、前回と同様の結果となっている。(図3)
- ・エリア別にみると、雲南、備北では「50人未満」が9割前後に達している一方、広島では「100人以上」の企業が6割以上を占めている。(図4)

図3 対象・回答企業の従業員数

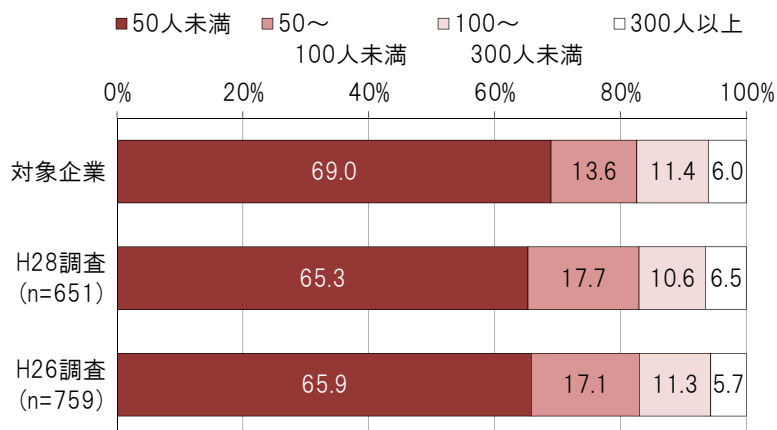
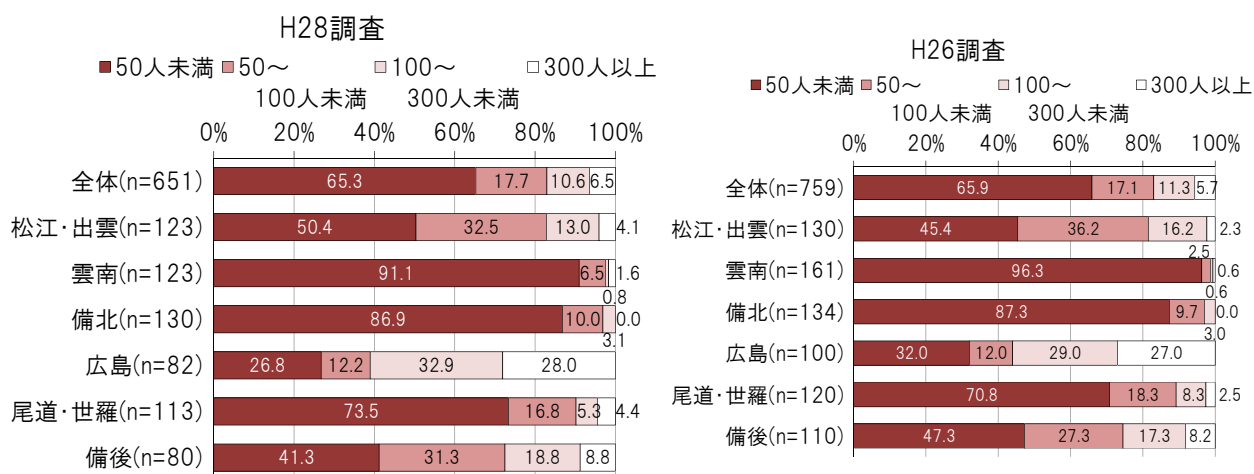


図4 対象・回答企業の従業員数（エリア別）



5) 原材料等の調達地域・顧客の所在地域

(1) 主な原材料・設備等の調達地域

主な原材料・設備等の調達地域は、沿線6エリア内からの調達だけに頼らず、その他の中国地域や九州、近畿など多様化している。

- ・全体でみると、「広島」24.5%、「松江・出雲」21.4%に次いで、「上記以外の中国」からの調達が17.9%と高くなっている。前回と比較すると、「広島」「備後」が低下し、「上記以外の中国」「近畿」が増加している。(図5)
- ・エリア別にみると、どのエリアにおいても自地域からの調達が5割前後を占め最も多いのは前回と変わらないが、雲南、備後では前回と比較して自地域から調達している割合が上昇しているのに対し、その他のエリアでは低下している。(図6、図7)

図5 主な原材料・設備等の調達地域

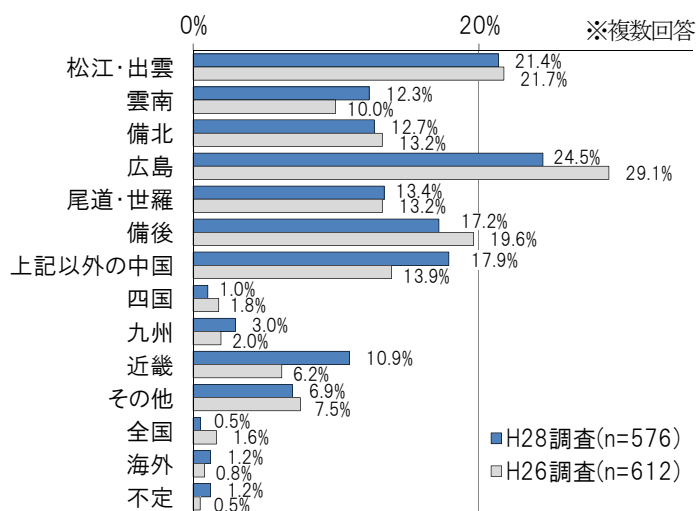


図6 主な原材料・設備等の調達地域（エリア別関係図）

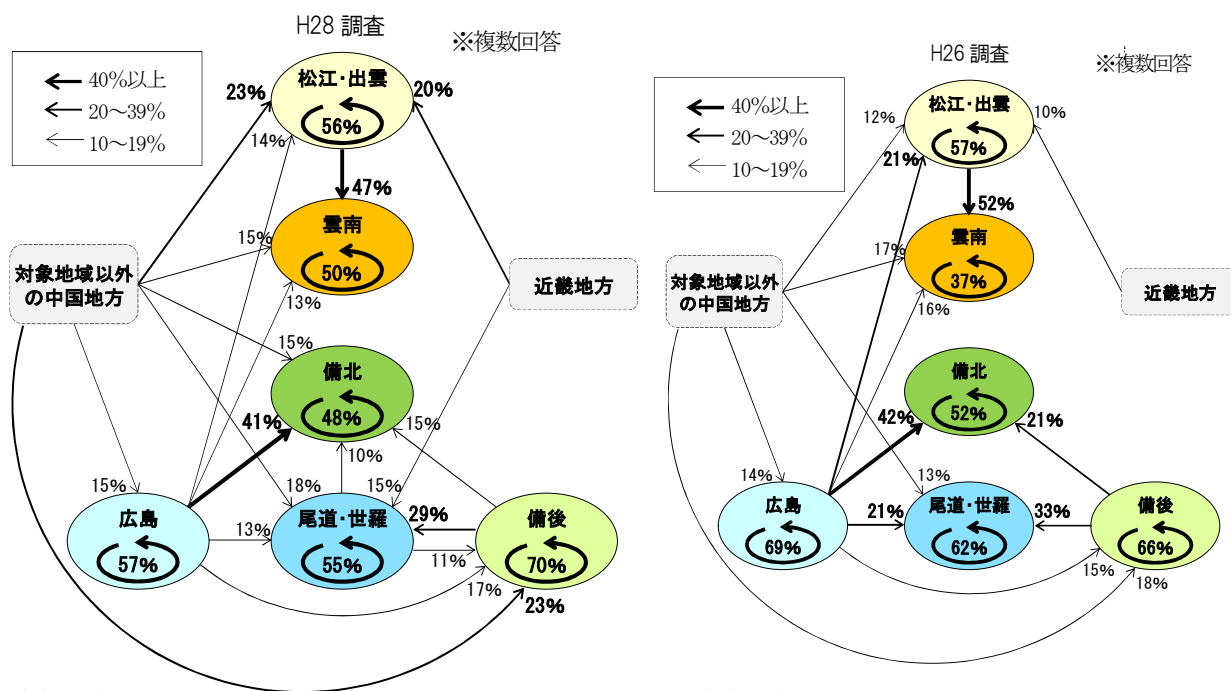
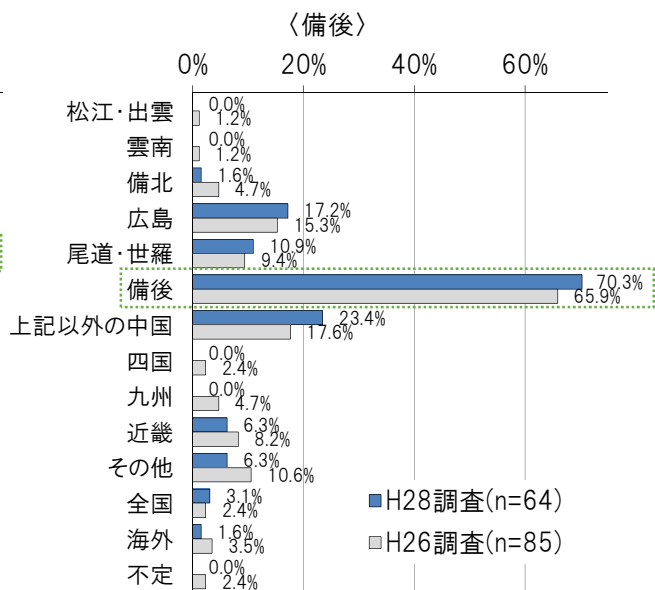
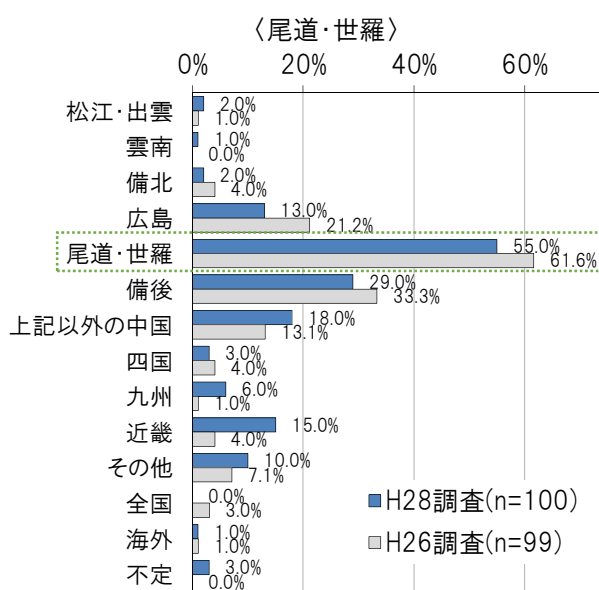
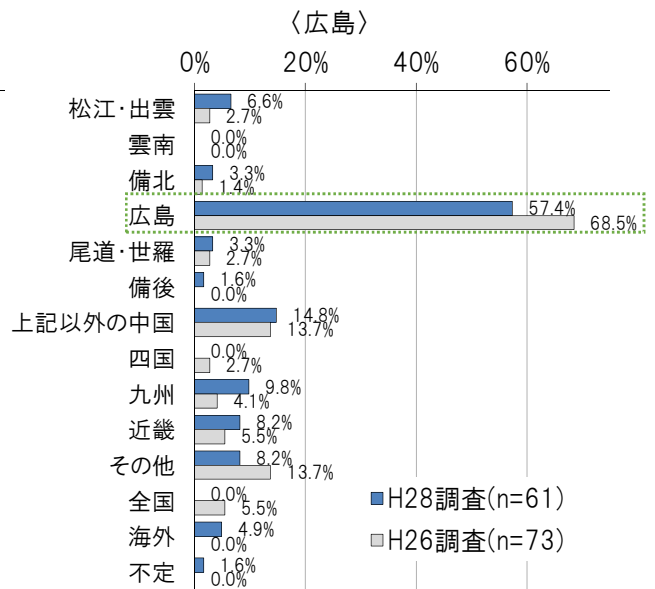
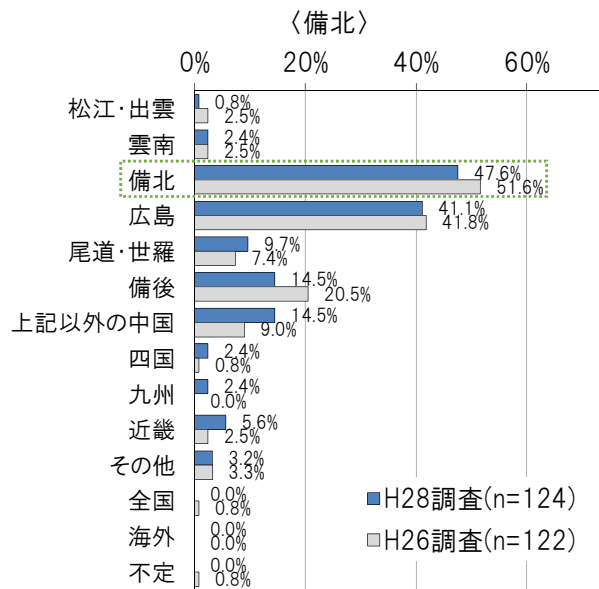
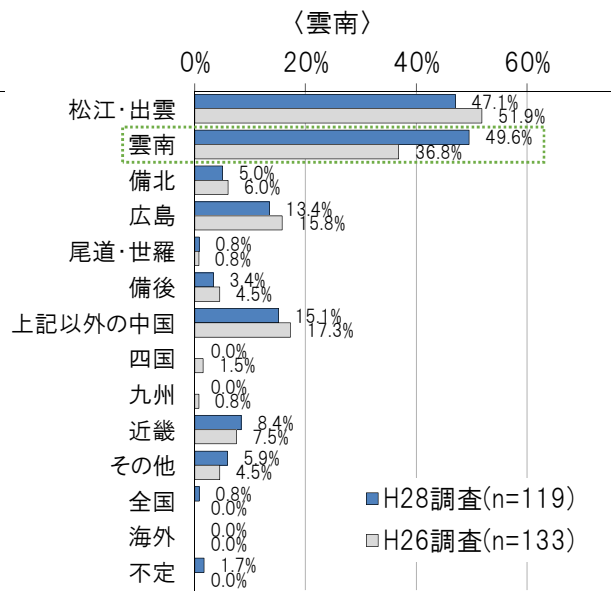
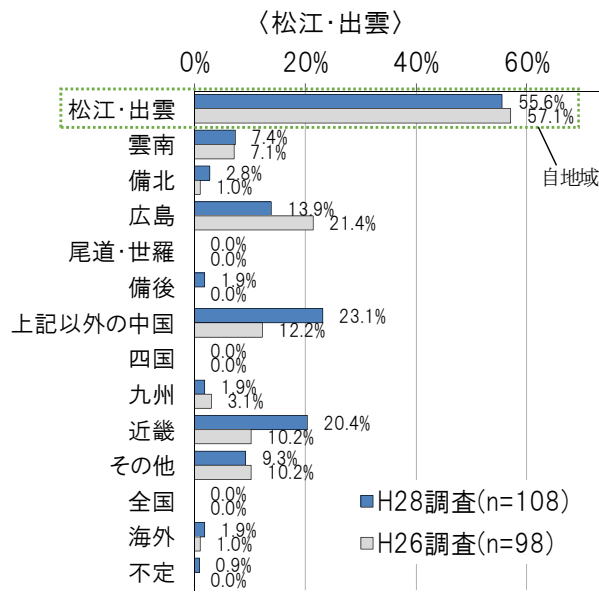


図7 主な原材料・設備等の調達地域（エリア別グラフ） ※複数回答



(2) 主な顧客の所在地域

「松江・出雲」「雲南」「広島」「備後」が主たるマーケットであるが、顧客の範囲が沿線6エリア以外の中国地域や西日本へと広がっており、企業の商圏が広域化している。

- ・全体でみると、「松江・出雲」「雲南」「広島」「備後」の4地域が20%を超えている。調達に比べると全ての地域に比較的均等に分散しているのは前回と同様だが、「上記以外の中国」「四国」「九州」「近畿」が増加している。(図8)
- ・エリア別にみると、前回と同様に、いずれのエリアも自地域が5割を超え最も多い。また、全てのエリアにおいて「上記以外の中国」の割合が10%以上であり、特に備北と広島では前回の約2倍となっている。さらに、松江・出雲や広島では「四国」「九州」「近畿」「その他」の割合が前回と比べやや上昇している。(図9、図10)

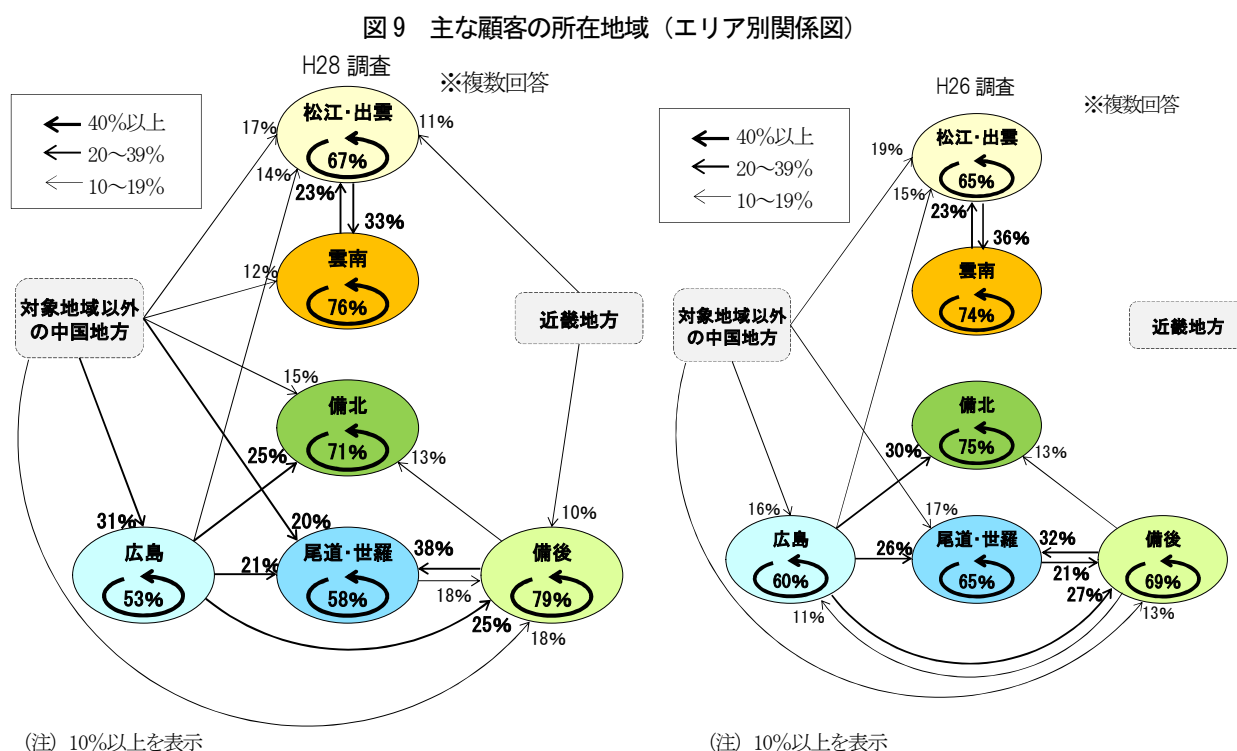
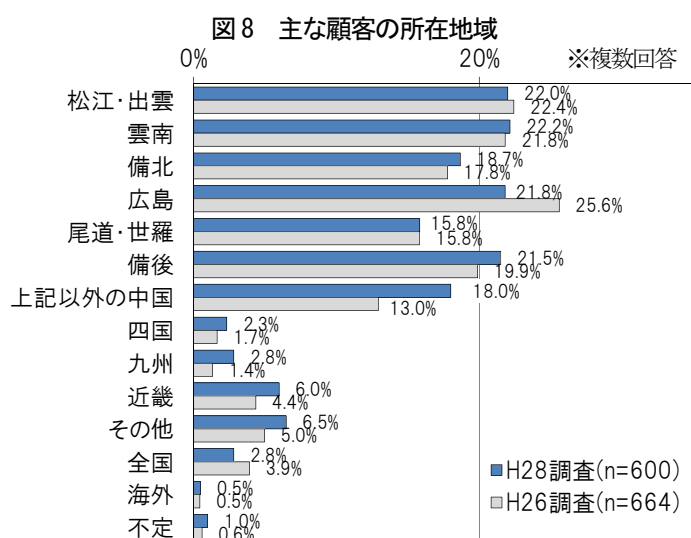
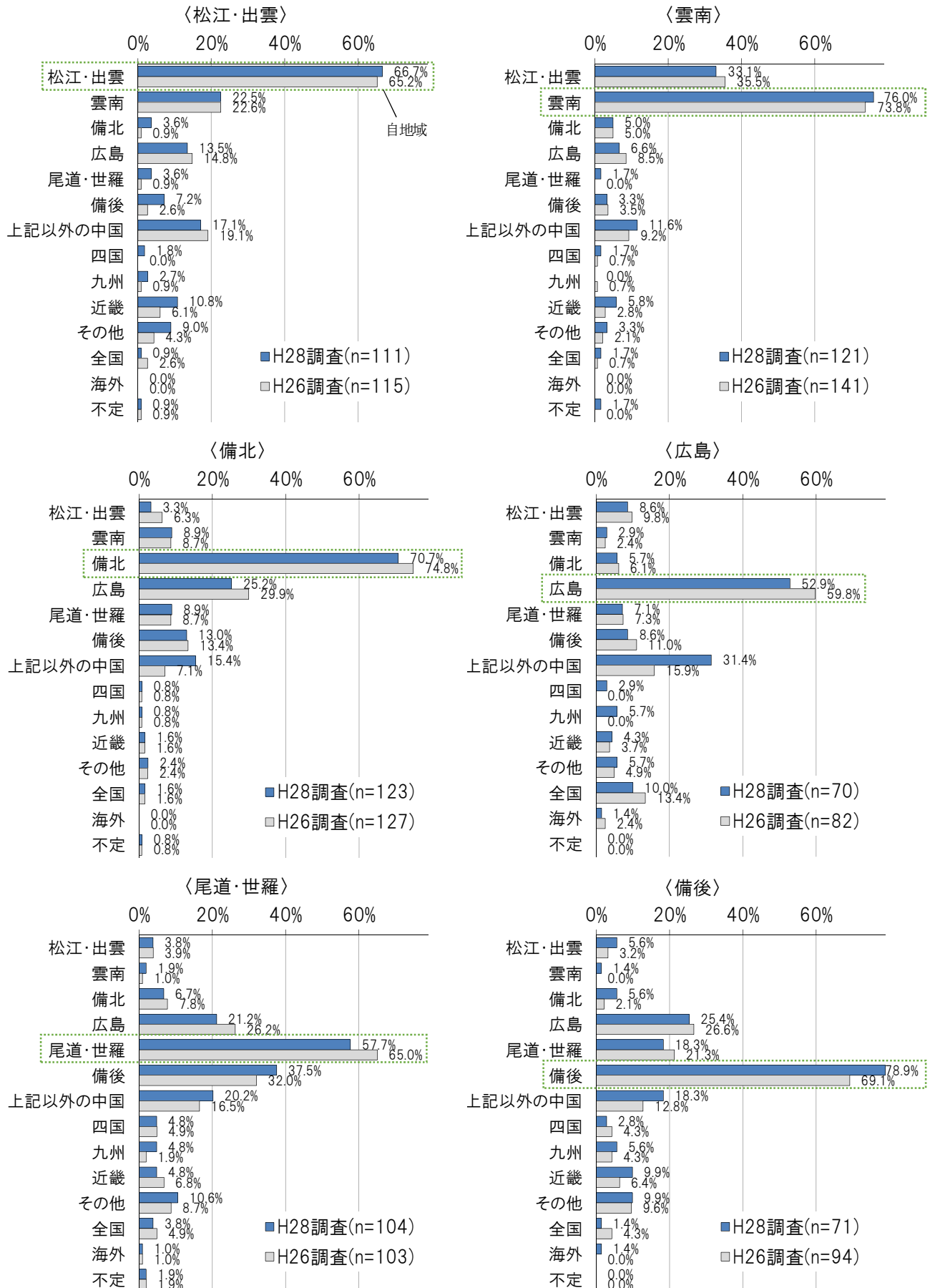


図10 主な顧客の所在地域（エリア別グラフ） ※複数回答



2. 中国やまなみ街道全線開通による変化

1) 中国やまなみ街道の利用状況

(1) 物流での利用

物流で中国やまなみ街道を利用した企業の割合は4割に達し、雲南を除く5つのエリアで前回よりも上昇。エリアごとに利用が多い業種や従業員数、利用頻度に特色がみられる。

- ・物流での中国やまなみ街道の利用について、全体では「利用した」が41.4%で前回より7.5ポイント多い。エリア別にみても増加しており、特に尾道・世羅は20ポイント以上、備北、備後は10ポイント以上上昇したのに対し、雲南は9ポイント低下している。(図11)
- ・業種別にみると、「建設業」「製造業」「卸売業」「小売業」の順に利用が多く、広島では「小売業」「卸売業」、尾道・世羅では「卸売業」「農林水産業」での利用が多いのは前回同様の傾向だが、雲南では「製造業」の割合が上昇している。(図12)
- ・従業員数ごとにみると、雲南、備北、尾道・世羅では「50人未満」の利用が過半数を占めるのに対し、広島、備後では「100～300人未満」「300人以上」の合計が過半数を占めている。(図13)
- ・利用頻度をエリア別にみると、備北、広島、尾道・世羅では「週に1回程度」以上利用する企業が半数を占めるのに対し、松江・出雲、雲南では3割以上の企業が「年に数回程度」と回答している。(図14)
- ・週に2～3回程度以上利用する企業に絞って業種別割合をみると「製造業」が27.8%で最も高くなっており(図15)、従業員数では50人未満の企業が50%を超える。(図16)

図11 中国やまなみ街道の利用状況（物流）

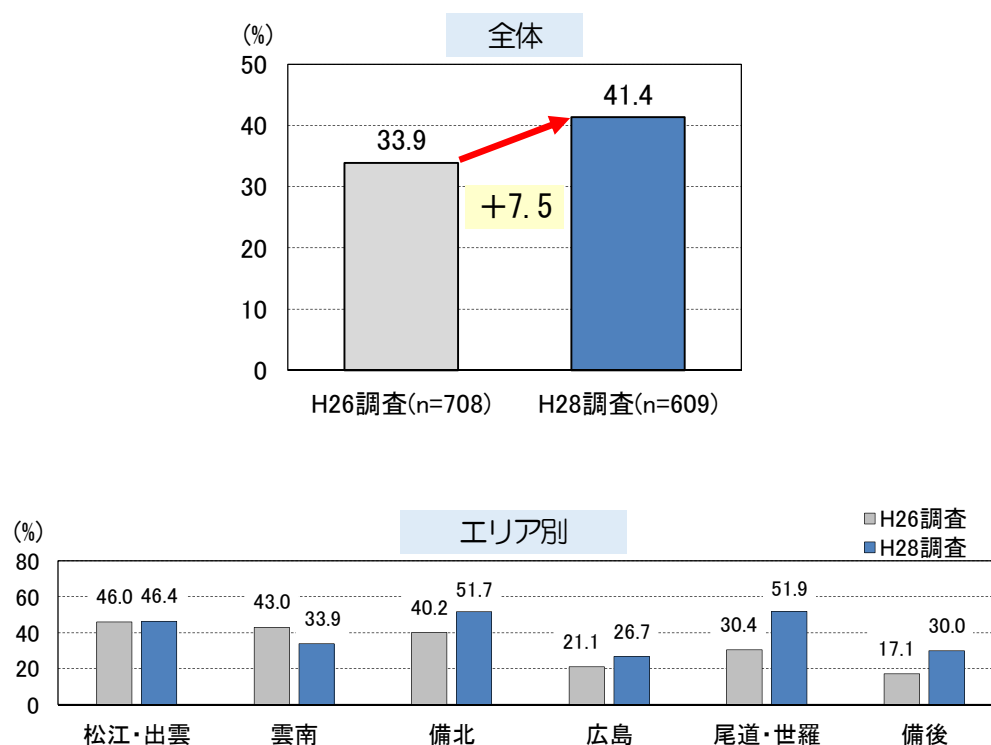


図 12 中国やまなみ街道の利用状況（物流・業種）

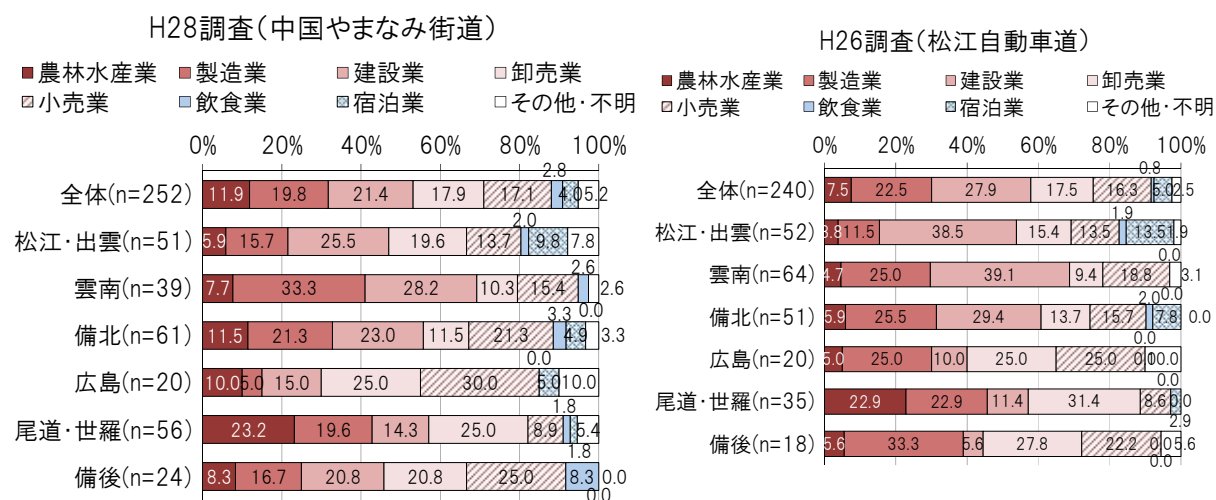


図 13 中国やまなみ街道の利用状況（物流・従業員数）

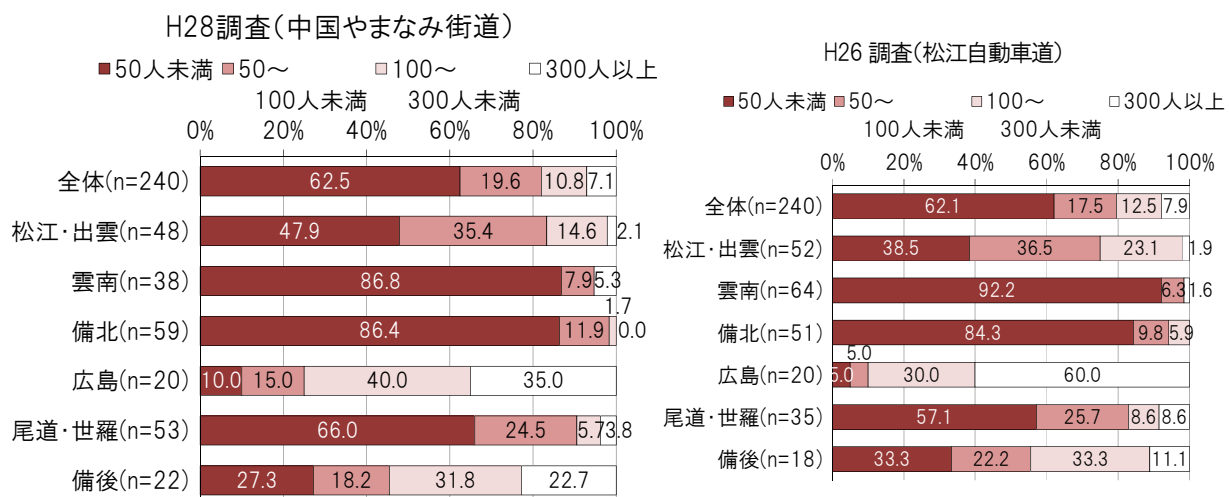


図 14 中国やまなみ街道の利用状況（物流・利用頻度）

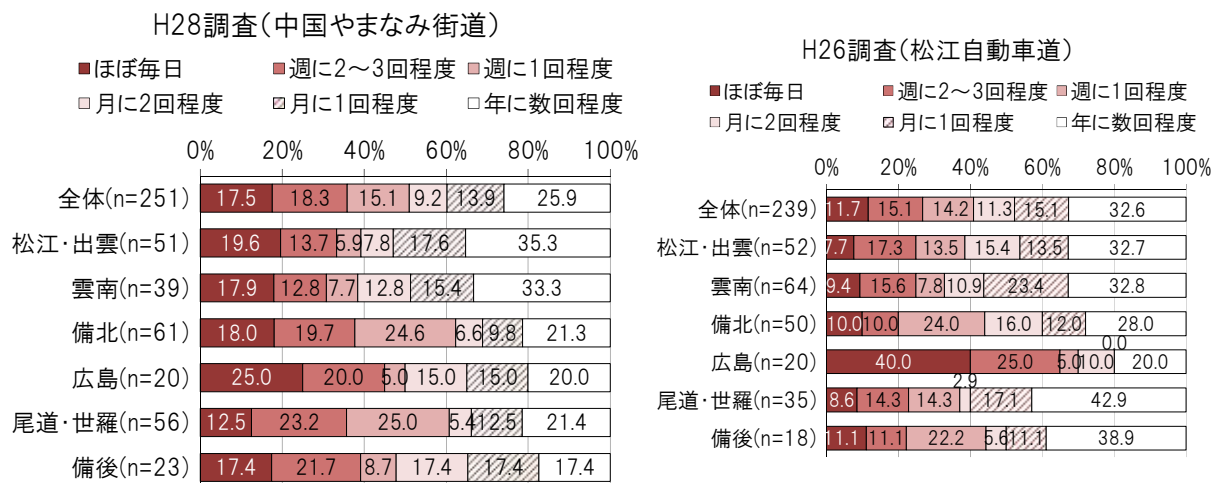


図 15 中国やまなみ街道を週 2～3 回以上利用した企業（物流・業種）

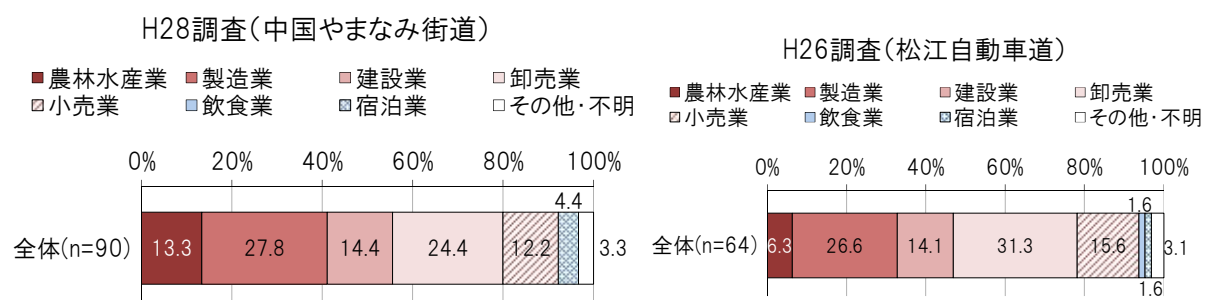
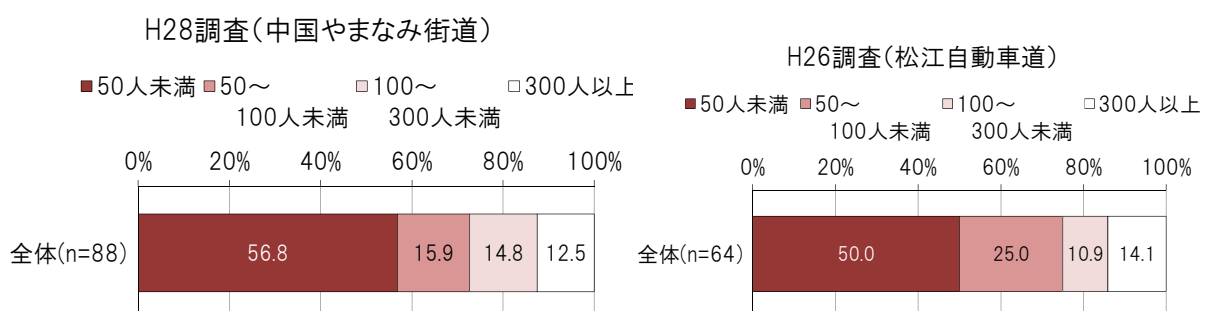


図 16 中国やまなみ街道を週 2～3 回以上利用した企業（物流・従業員数）



(2) 営業や出張での利用

営業や出張で中国やまなみ街道を利用した企業は6割に達し、物流に比べ2割以上多い反面、利用頻度は低い傾向が続いている。

- ・営業や出張での中国やまなみ街道の利用は、全体では「利用した」が62.6%で前回より8.7ポイント多い。これをエリア別にみると、尾道・世羅、備後が20ポイント以上、備北が約14ポイント上昇しているが、松江・出雲、雲南ではやや低下している。(図17)
- ・業種別にみると、「建設業」「小売業」「卸売業」「製造業」の順に多くなっており、雲南では「建設業」が約46%を占めている。また、松江・出雲、備北、備後では「飲食業」「宿泊業」を含めた多様な業種にそれぞれ一定の利用があり、物流と同様の傾向がみられる。(図18)
- ・また、従業員数別でも物流と同様に、雲南、備北、尾道・世羅での50人未満の企業の利用割合が高い。(図19)
- ・利用頻度を全体でみると、「週に1回程度」以上利用する企業は約3割で物流と比べると2割低いが、前回と比べると6.2ポイント高くなっている。(図20)
- ・「週に2～3回程度」以上利用する企業に絞ってみると、業種は「卸売業」が28.4%で最も高く、次いで「建設業」(26.9%)となっており(図21)、従業員数では50人未満の企業が約60%となっている。(図22)

図17 中国やまなみ街道の利用状況（営業や出張）

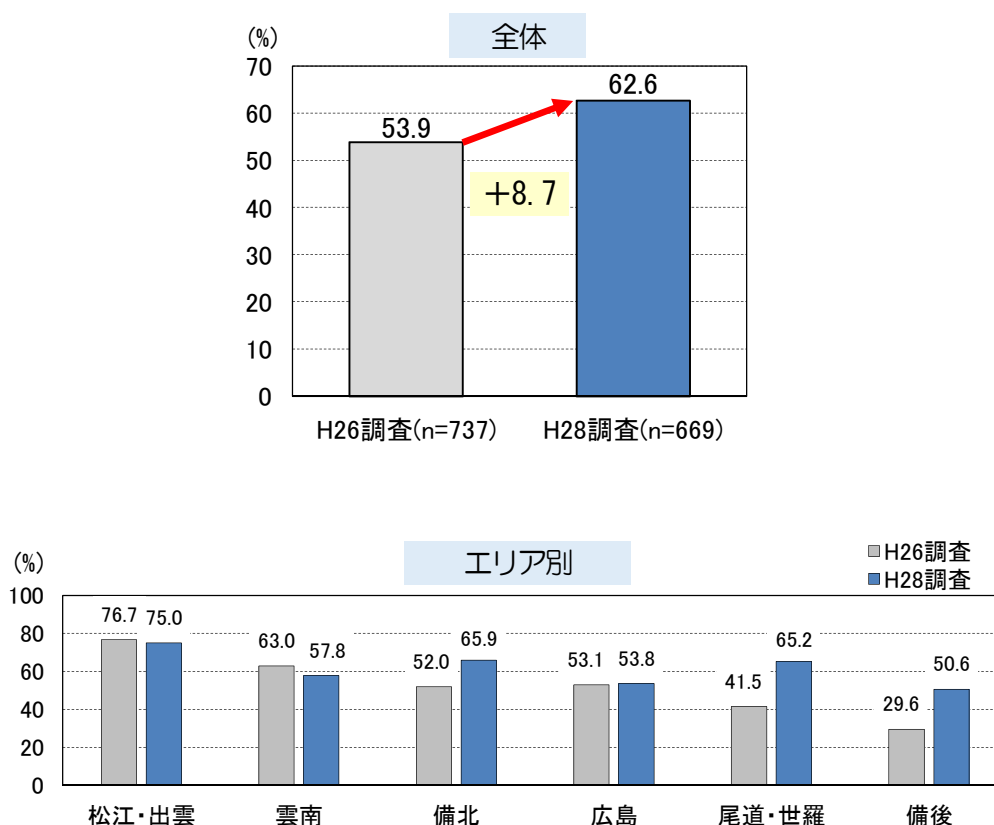


図 18 中国やまなみ街道の利用状況（営業や出張・業種）

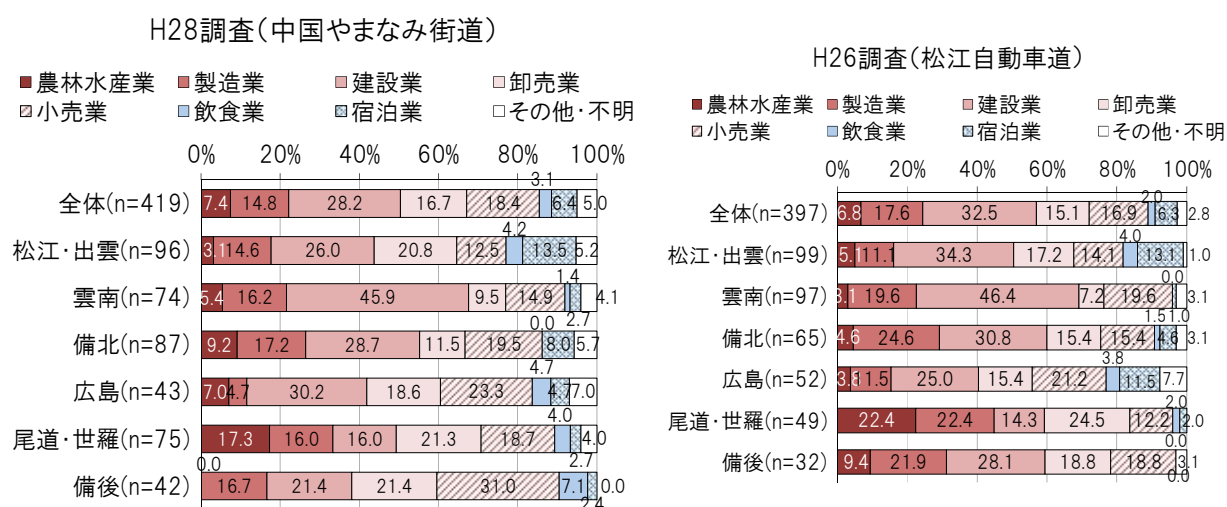


図 19 中国やまなみ街道の利用状況（営業や出張・従業員数）

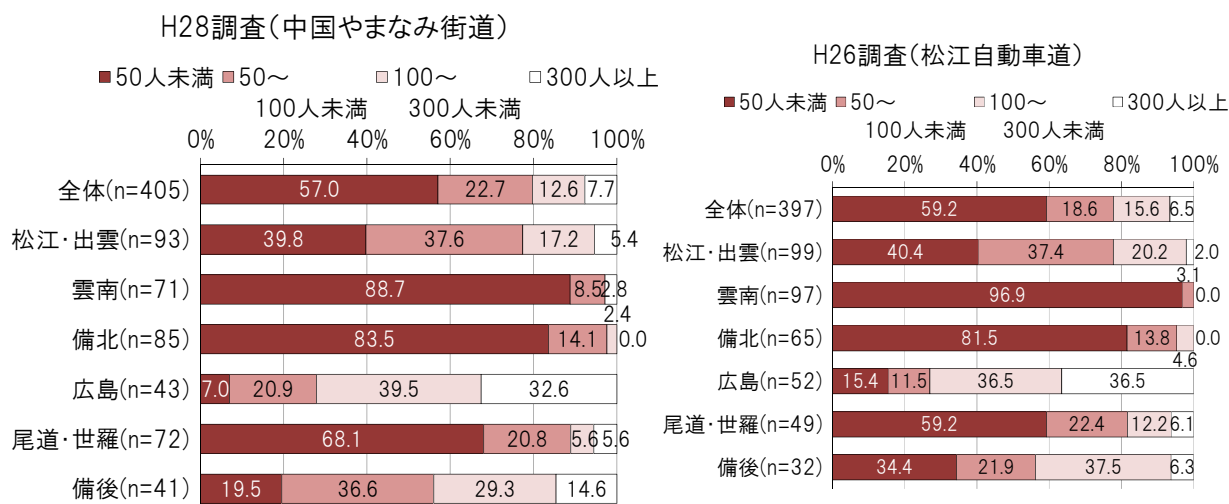


図 20 中国やまなみ街道の利用状況（営業や出張・利用頻度）

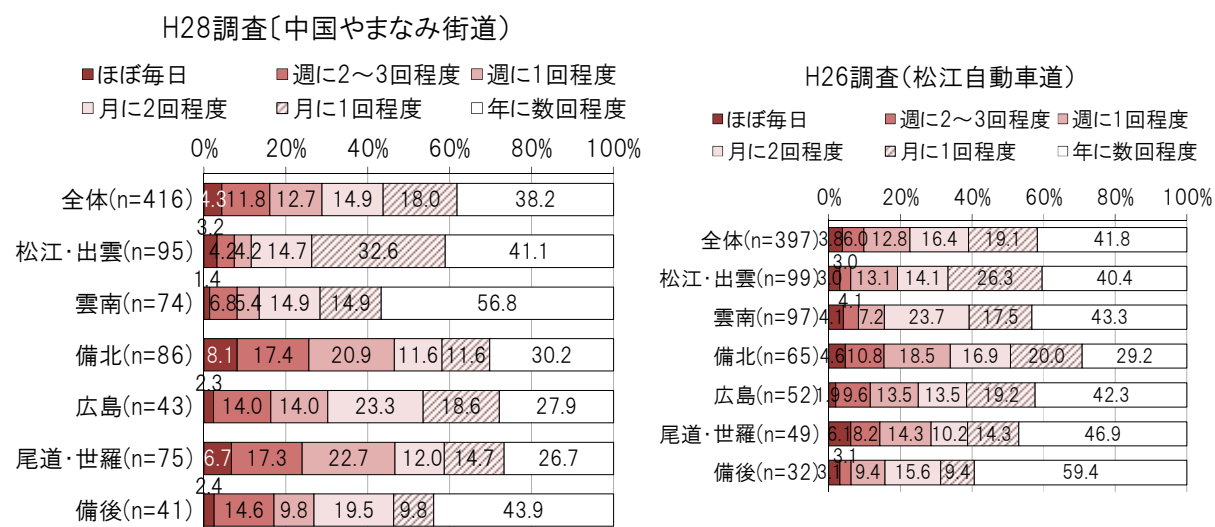


図 21 中国やまなみ街道を週 2～3 回以上利用した企業（営業や出張・業種）

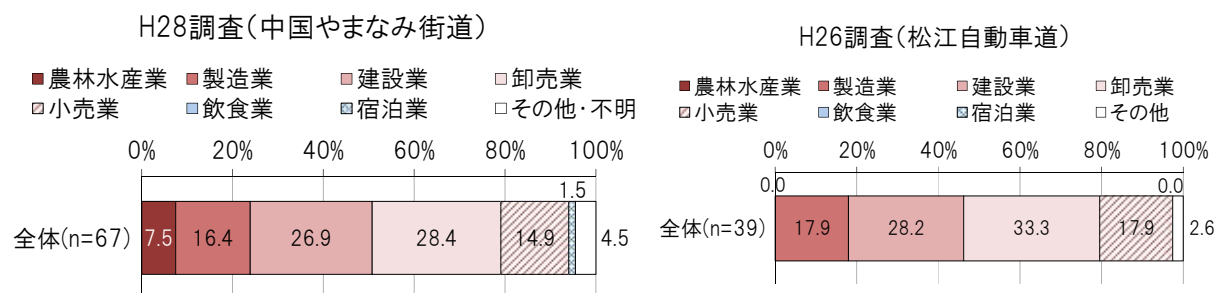
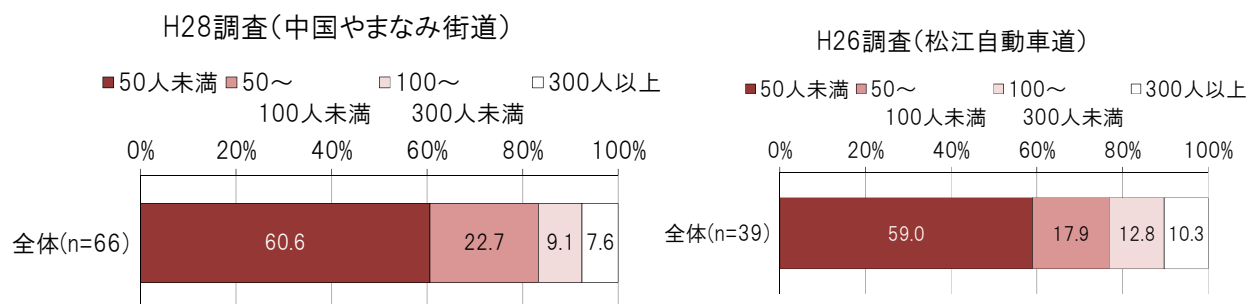


図 22 中国やまなみ街道を週 2～3 回以上利用した企業（営業や出張・従業員数）

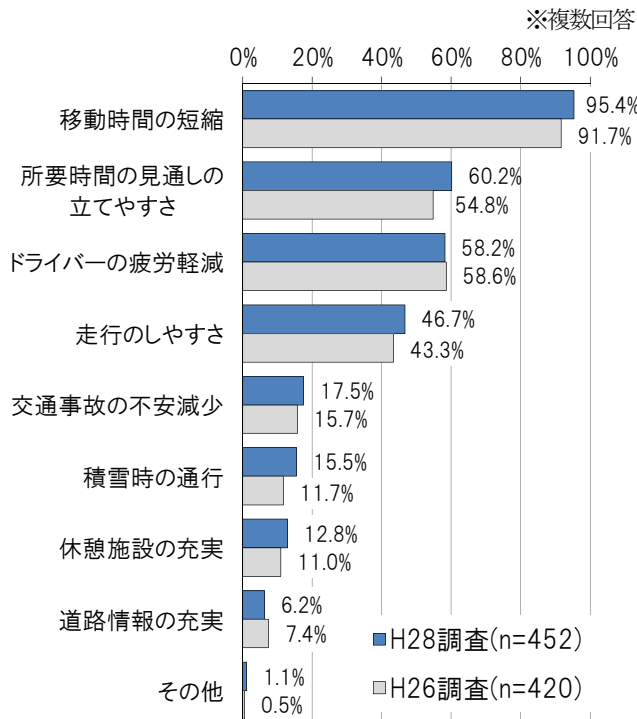


2) 中国やまなみ街道利用により良くなったこと

高速道路整備による直接効果については、時間短縮による効果が高く評価されており、定時性、疲労軽減も過半数が実感

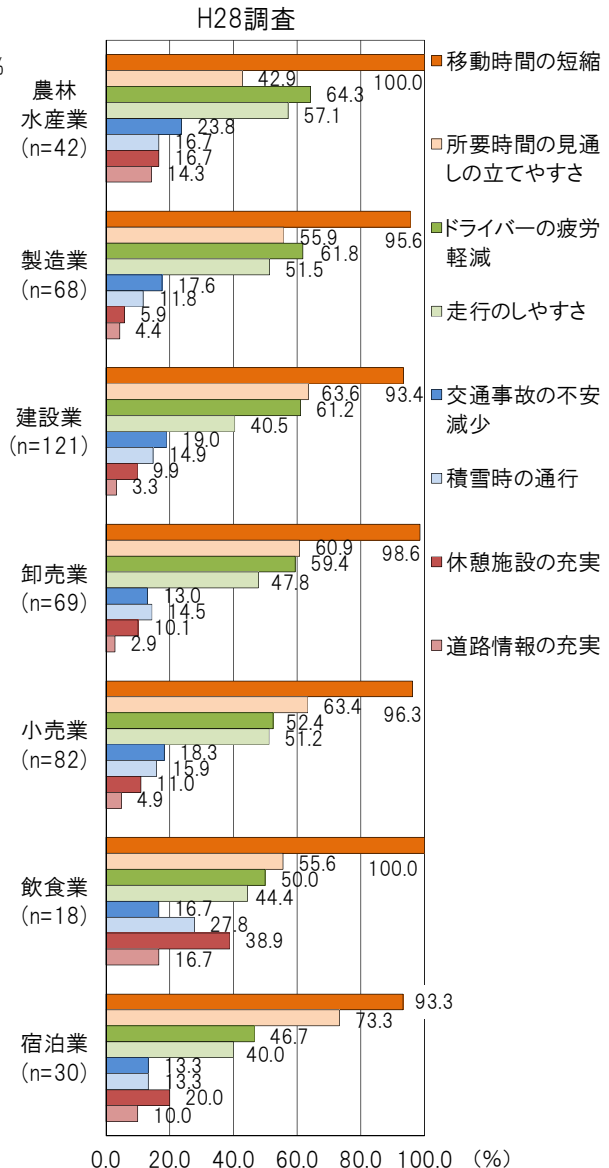
- 中国やまなみ街道利用者のほぼ全員が「移動時間の短縮効果」を実感している（95.4%）。次いで「所要時間の見通しの立てやすさ」が60.2%となっており、企業活動においては「時間が読める効果（定時性）」も整備効果として挙げられる。また、「ドライバーの疲労軽減」も58.2%と高い割合となっている。（図23）
- 業種別にみると、「移動時間の短縮」は各業種で1位となっているが、2位以下に若干傾向の差がみられる。農林水産業では2位「ドライバーの疲労軽減」、3位「走行のしやすさ」が挙げられている一方、宿泊業では「所要時間の見通しの立てやすさ」が73.3%と高い。（図24）

図23 従来国道通行と比較して良くなったこと



(注) 中国やまなみ街道を物流、営業等で利用した企業が対象

図24 従来国道通行と比較して良くなったこと (業種別)



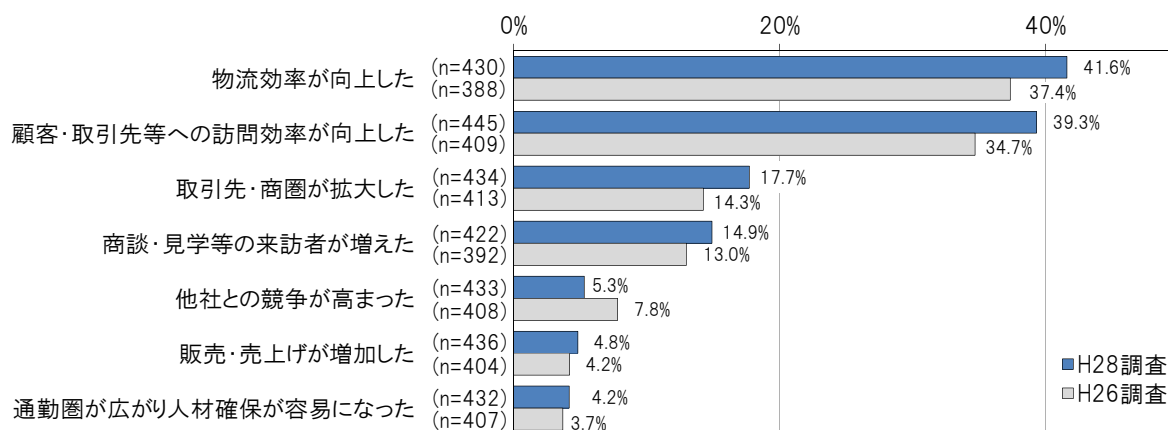
3) 中国やまなみ街道利用による企業活動への効果・影響

(1) 効果・影響（全体・エリア別）

物流効率や得意先への訪問効率については、その効果が高く認識されているが、販売・売上げ増といった好影響をもたらすまでには至っていない。

- ・全体の約4割の企業が「物流効率の向上」「顧客・取引先等への訪問効率の向上」を認識。「取引先・商圏の拡大」は17.7%、「商談・見学等の来訪者の増加」は14.9%の企業が「そう思う」と回答している。「他社との競争激化」は前回から2.5ポイントし5.3%、「販売・売上げの増加」「人材確保が容易になった」は4%程度にとどまっている。（図25）
- ・エリア別にみると、松江・出雲、広島、備北などのエリアで「物流効率の向上」「顧客・取引先等への訪問効率の向上」が高くなっている。また、「取引先・商圏の拡大」については備北での評価が高い。（図26）

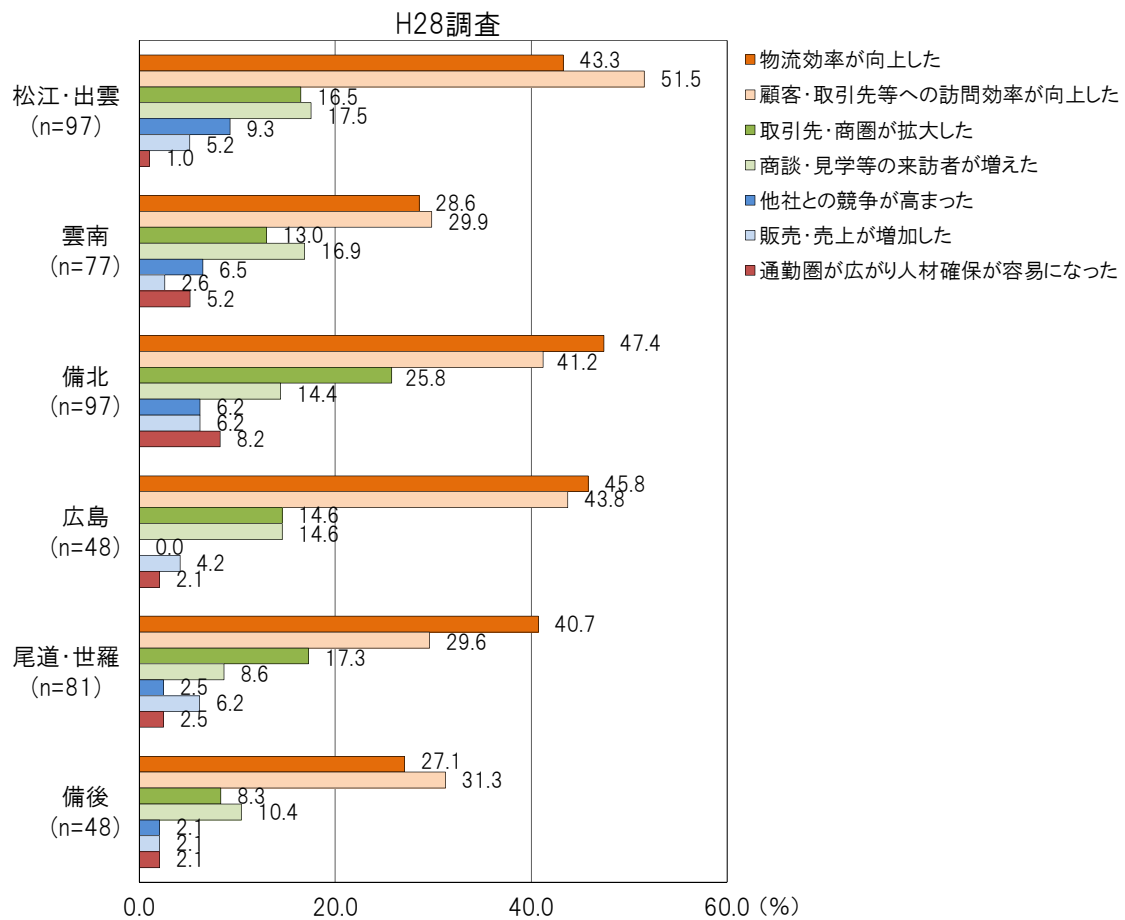
図25 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（「そう思う」）



（「その他（上記以外の効果・影響について）」として記載のあった内容）

中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響	エリア	所在地	業種
雪・事故での通行止めが多すぎる。変な所で降ろされても下に国道がない。片側2車線化すべき。	松江・出雲	松江市	卸売業
企業としての利用機会はないが、私的に数回利用した。		松江市	飲食業
ユーザーや研修機関の説明会が岡山から広島に変わってきた。		安来市	製造業
観光面で良くなった。	雲南	雲南市	製造業
事業を拡大された企業にとってはとても好機だと思う。		雲南市	卸売業
飯南町及び奥出雲町の活力の低下。		雲南市	農林水産業
地上での山陽方面からの輸送（仕入）が多くなった。		雲南市	小売業
地域密着型の商売なのであまり関係ない。	尾道・世羅	尾道市	小売業
積雪で通行止めが多い。早目の復旧を。		尾道市	小売業
道の駅クロスロードみつぎに出荷していて、大幅に売上げが伸びた。		尾道市	農林水産業
国道184号の車が減少し、来園者が少なくなった		世羅町	農林水産業
物流コストの点で、商談及び受注が容易になった。当社の利点を理解してもらい業務の見通しが良くなった。	備北	三次市	製造業

図 26 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（「そう思う」×エリア）



(注) エリアごとに何らかの回答があった企業数を母数としている為、図 27～33 の数値とは異なる。

(2) 効果・影響（業種別）

中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響を業種別にみると、各エリアの産業特性を反映する結果となった。

- ・効果・影響について業種別にみると、飲食・宿泊業では「取引先・商圏の拡大」効果への認識が高い。これは高速道路開通の効果が観光等の人流でいち早く発現した結果と考えられる。（図 27）
- ・「物流効率が向上」について「そう思う」と回答した業種のシェア 1 位をエリア別にみると、雲南、備北では「建設業」、広島、備後では「小売業」、松江・出雲、尾道・世羅では「卸売業」と、エリアごとに業種が異なっている。（図 28）
- ・「顧客・取引先等への訪問効率の向上」については、雲南、備北で「建設業」が最も高いが、備北の「建設業」は前回より 15 ポイント上昇したのに対し、雲南は 12 ポイント低下となっている。（図 29）
- ・松江・出雲で「取引先・商圏の拡大」に「そう思う」と回答した企業のうち宿泊業が 62.5%に達し、前回の 50%を上回る結果となっている。（図 30）

図 27 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（「そう思う」×業種）

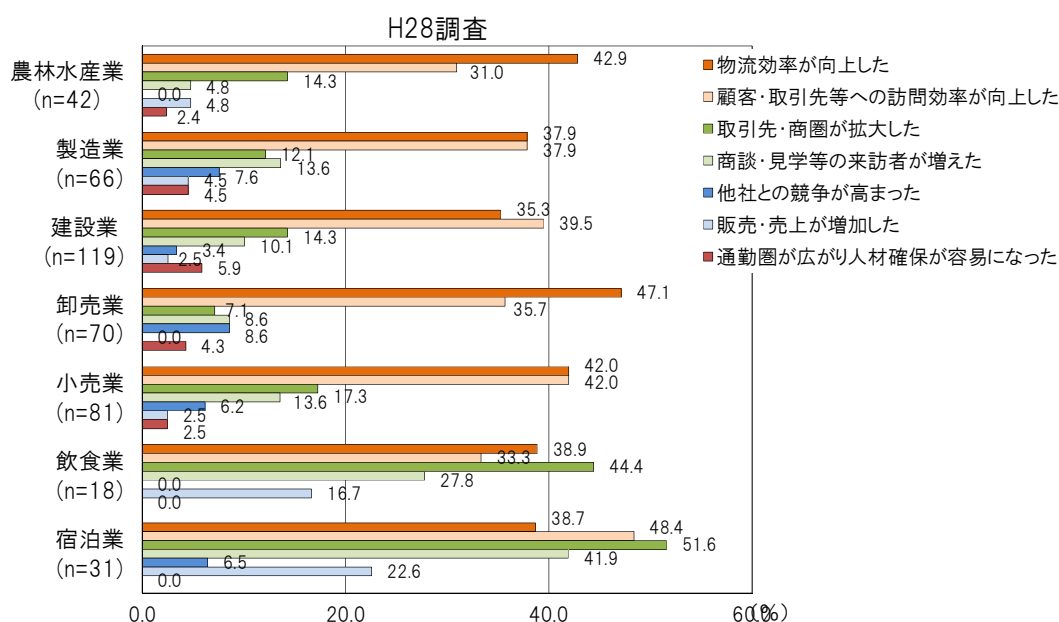


図 28 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔物流効率が向上〕「そう思う」×業種

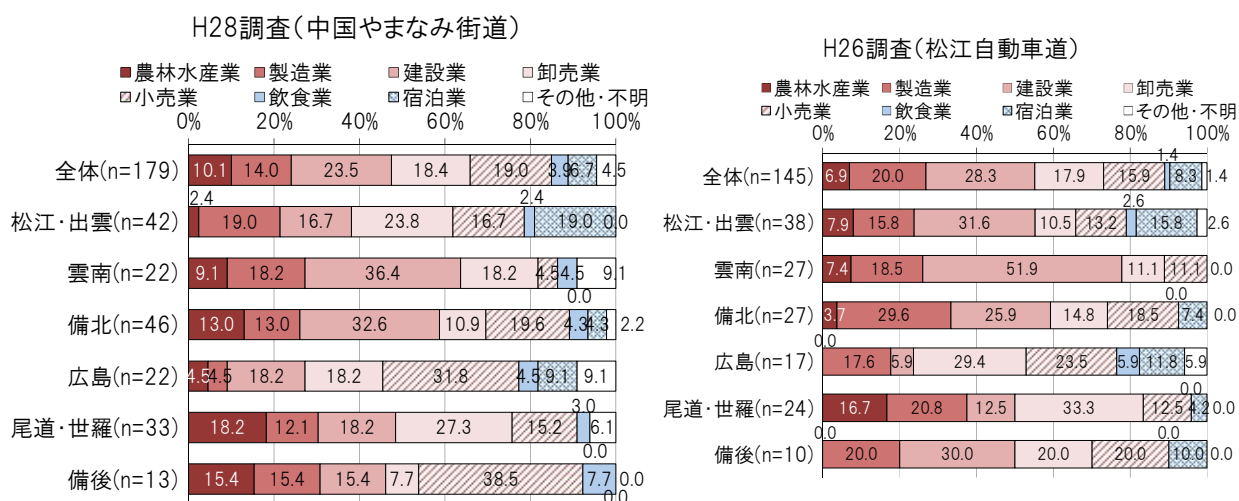


図 29 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
 [顧客・取引先等への訪問効率が向上]「そう思う」×業種

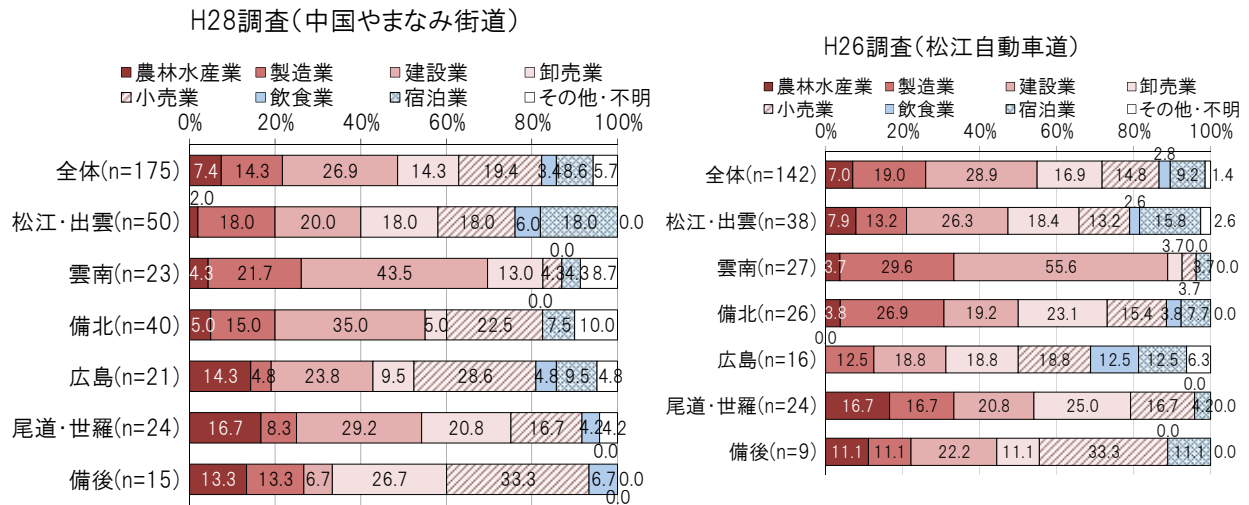
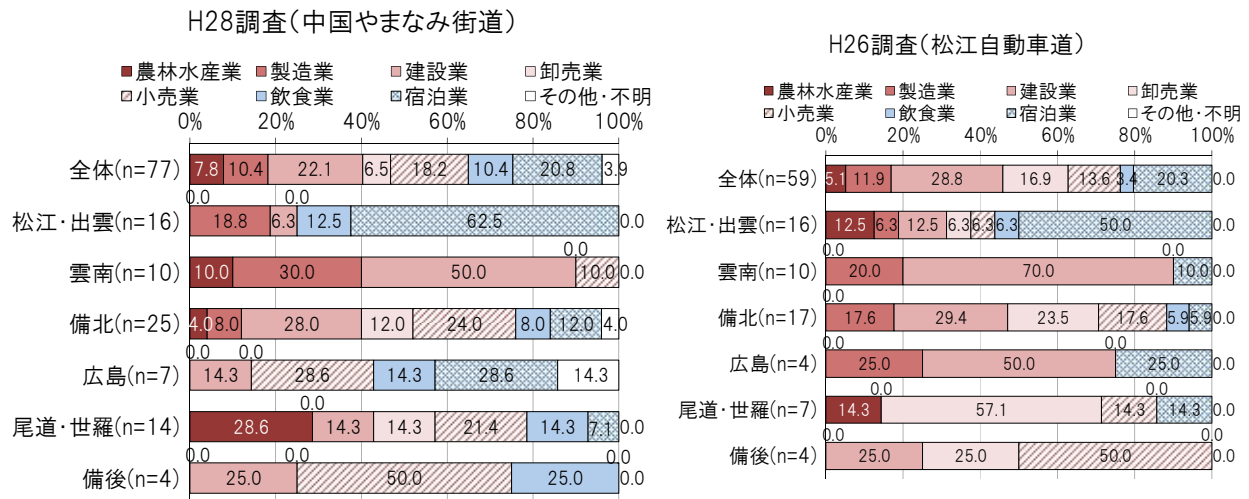


図 30 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
 [取引先・商圈が拡大]「そう思う」×業種



(3) 取引先・商圈の拡大対象地域（全体・エリア別）

取引先・商圈は、島根県側では「尾道・世羅」「備後」へと拡大、広島県側でも備北で「尾道・世羅」が4倍以上増加するなど、中国やまなみ街道に沿って南北に拡大。

- ・取引先・商圈の拡大先となる地域は、前回に比べて「尾道・世羅」で大幅に増加しているほか、「備北」でも増加しており、新たに開通した尾道道の効果が発現している。（図 31）
- ・エリア別にみると、松江・出雲、雲南では、拡大対象地域として「広島」を挙げる企業が6割を占め前回同様第1位となっているが、松江・出雲では「尾道・世羅」「備後」が2倍、雲南では「備北」「尾道・世羅」が約2倍に増えており、中国やまなみ街道に沿って南北に拡大している。また、備北では「尾道・世羅」「備後」へ、広島では「雲南」へ、尾道・世羅では「備北」へと拡大しており、中国やまなみ街道全線開通により、拠点都市間の連携が進むなど交流圏が拡大しつつある。（図 32、図 33、表 1）

図 31 取引先・商圈の拡大対象地域 ※複数回答

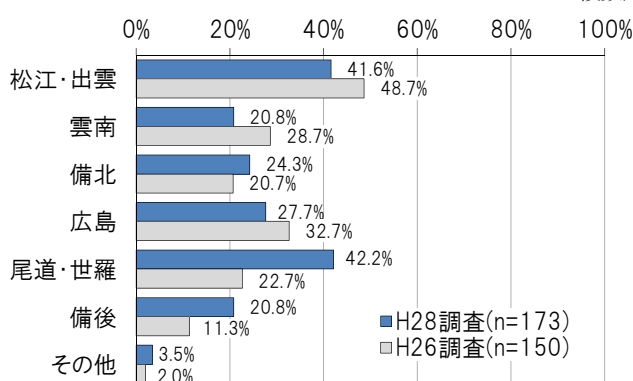


図 32 取引先・商圈の拡大対象地域（エリア別） ※複数回答

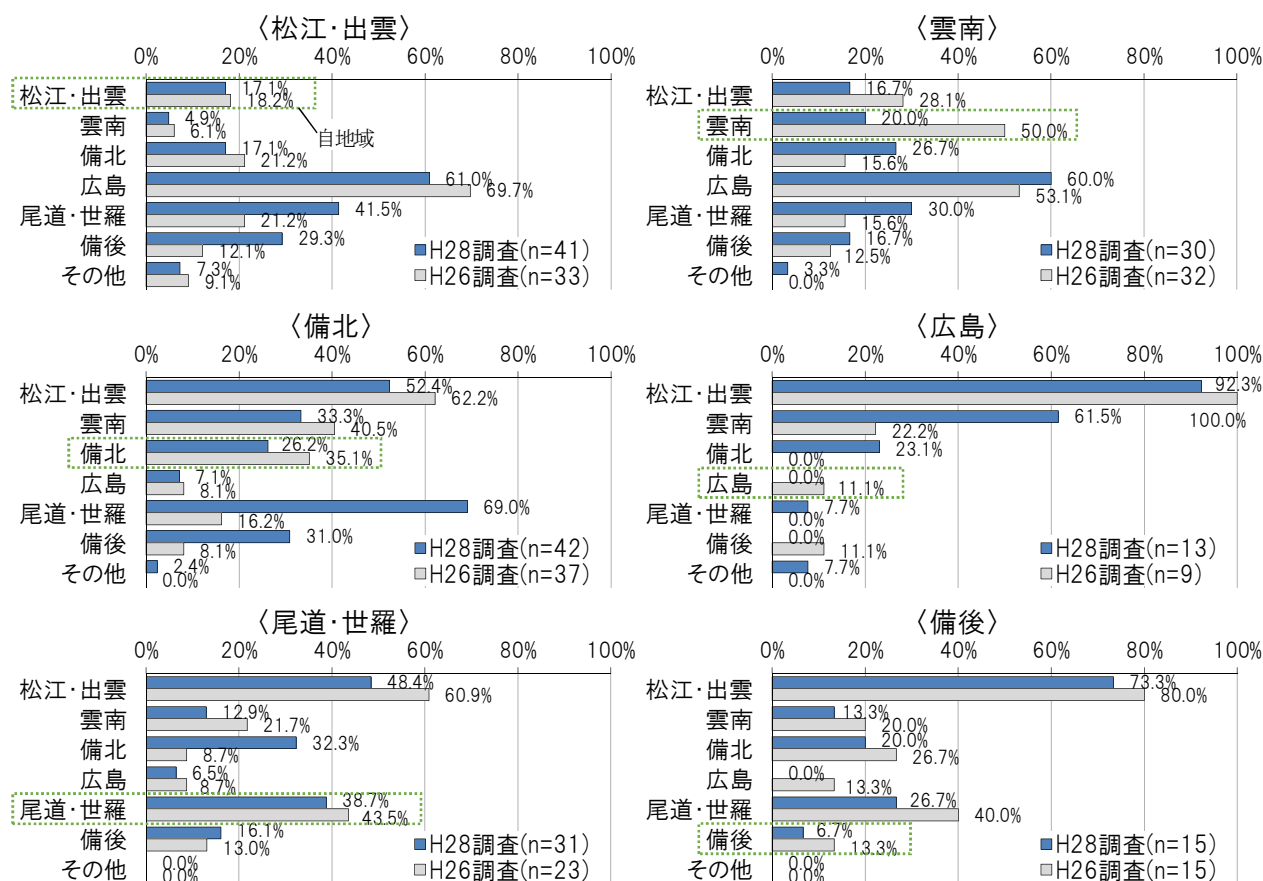


表1 取引先・商圈が拡大した企業数

※複数回答、所在地不明は除く

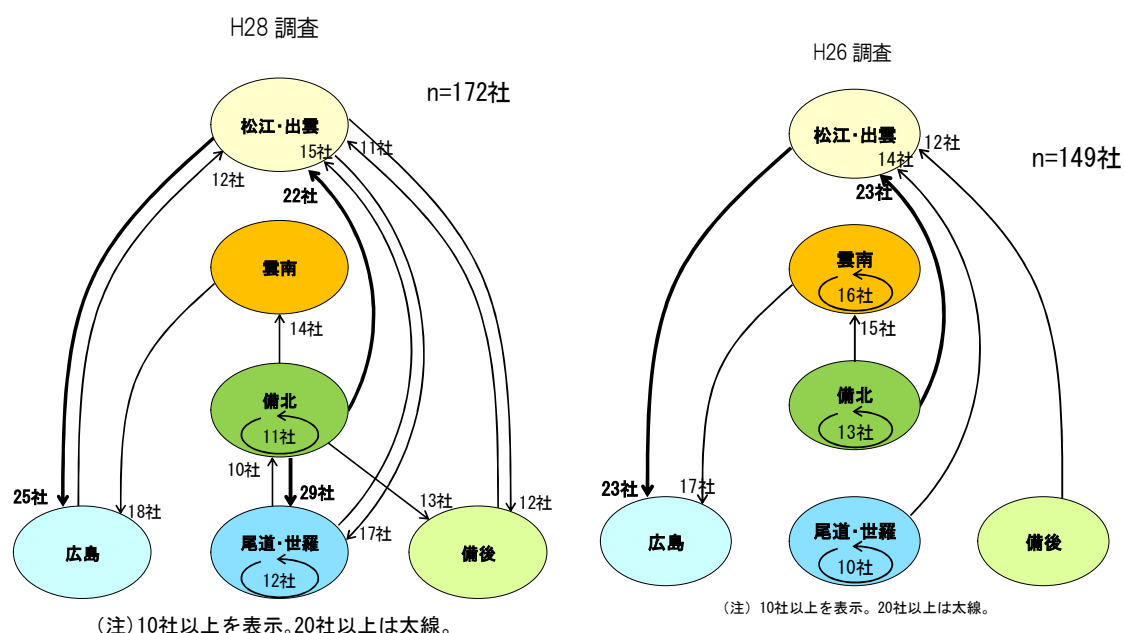
H28 調査		(社)						
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲	7	2	7	25	17	12	3	41
雲南	5	6	8	18	9	5	1	30
備北	22	14	11	3	29	13	1	42
広島	12	8	3		1		1	13
尾道・世羅	15	4	10	2	12	5		31
備後	11	2	3		4	1		15
計	72	36	42	48	72	36	6	172

着色凡例	25 以上	20～24	15～19	10～14	5～9	1～4
------	-------	-------	-------	-------	-----	-----

H26 調査		(社)						
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲	6	2	7	23	7	4	3	33
雲南	9	16	5	17	5	4		32
備北	23	15	13	3	6	3		37
広島	9	2		1		1		9
尾道・世羅	14	5	2	2	10	3		23
備後	12	3	4	2	6	2		15
計	73	43	31	48	34	17	3	149

着色凡例	25 以上	20～24	15～19	10～14	5～9	1～4
------	-------	-------	-------	-------	-----	-----

図33 取引先・商圈が拡大した地域（エリア別関係図）



(4) 取引先・商圏が拡大した地域（業種別）

- ・取引先・商圏が拡大した地域について業種別にみると、「製造業」「建設業」では中国やまなみ街道沿いの縦方向に取引先・商圏が拡大。（表 2、3、図 34、35）
- ・「宿泊業」でも松江・出雲から備北、尾道・世羅、備後、広島など山陽方面に向けて拡大。（表 4、図 36）

表 2 取引先・商圏が拡大した企業数（製造業）

H28 調査		(社)						
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲	2	1	1	5	2	2		7
雲南			1	6	4			7
備北	4	2	3		5	3	1	8
広島								0
尾道・世羅	1				1			2
備後								0
計	7	3	5	11	12	5	1	24

着色凡例	6 以上	5	4	3	2	1
------	------	---	---	---	---	---

H26 調査		(社)						
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲				2			1	3
雲南	1	1	2	6	3	1		8
備北	4	1	2					6
広島								0
尾道・世羅	2	1		1				2
備後	2	2	1	1	3	1		3
計	9	5	5	10	6	2	1	22

着色凡例	6 以上	5	4	3	2	1
------	------	---	---	---	---	---

図 34 取引先・商圏が拡大した地域（エリア別関係図・製造業）

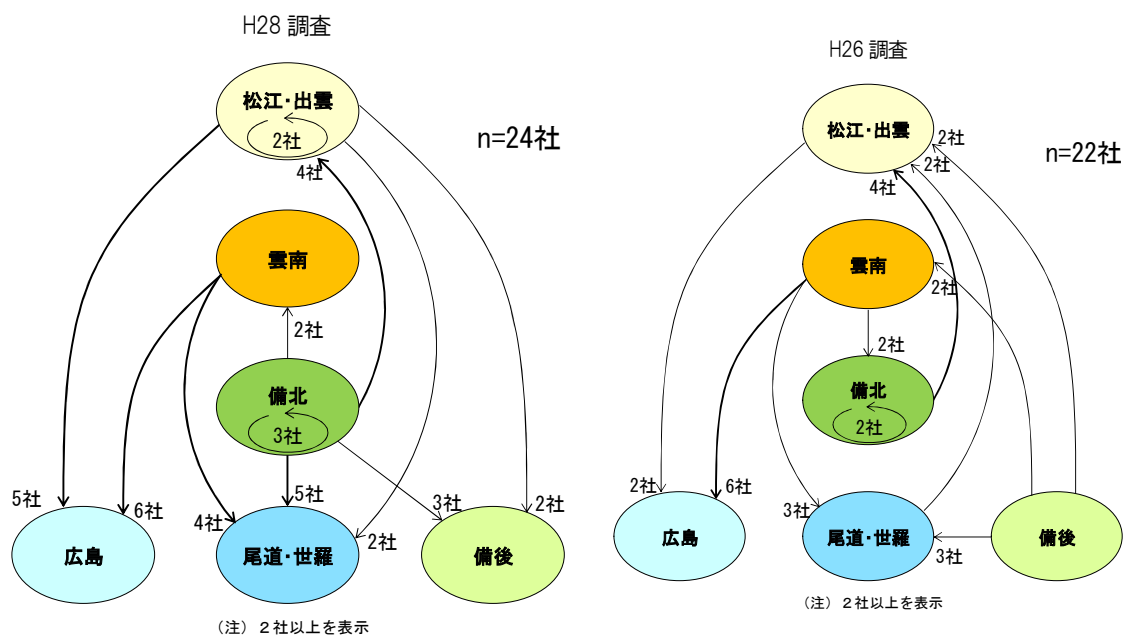


表3 取引先・商圈が拡大した企業数（建設業）

H28 調査 (社)							
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他
松江・出雲	1		1	7	2	1	1
雲南	4	3	4	8	2	3	
備北	6	4	3		9	4	
広島	4	2					
尾道・世羅	2	1	3	2	2	2	
備後	1		1			1	
計	18	10	12	17	15	11	1

着色凡例	7以上	6	4~5	3	2	1
------	-----	---	-----	---	---	---

H26 調査 (社)							
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他
松江・出雲	2			6	1		
雲南	4	9	2	5	1	2	
備北	7	2	4	1	3	2	
広島	3	1					
尾道・世羅	2						
備後	2	1	1				
計	20	13	7	12	5	4	0

着色凡例	7以上	6	4~5	3	2	1
------	-----	---	-----	---	---	---

図35 取引先・商圈が拡大した地域（エリア別関係図・建設業）

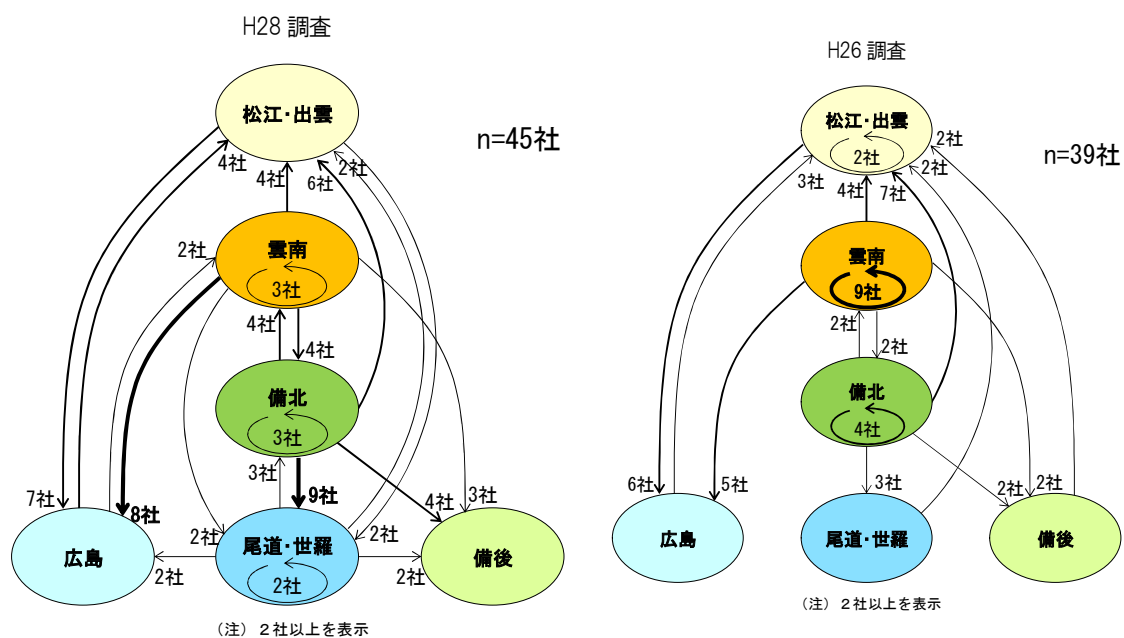


表4 取引先・商圏が拡大した企業数（宿泊業）

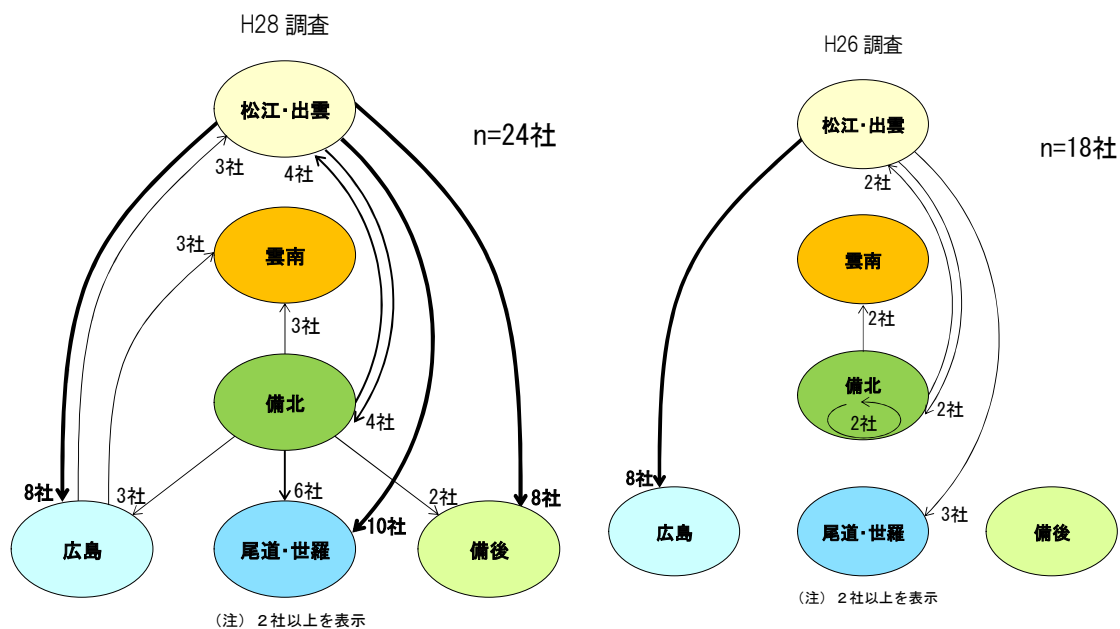
H28 調査 (社)							
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他
松江・出雲	1		4	8	10	8	1
雲南				1			1
備北	4	3	1	3	6	2	
広島	3	3	1				1
尾道・世羅	1						
備後	1						
計	10	6	6	12	16	10	3

着色凡例	10以上	8~9	6~7	4~5	2~3	1
------	------	-----	-----	-----	-----	---

H26 調査 (社)							
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他
松江・出雲	1		2	8	3	1	2
雲南	1	1	1	1	1	1	
備北	2	2	2	1	1		
広島	1						
尾道・世羅	1						
備後							
計	6	3	5	10	5	2	2

着色凡例	10以上	8~9	6~7	4~5	2~3	1
------	------	-----	-----	-----	-----	---

図36 取引先・商圏が拡大した地域（エリア別関係図・宿泊業）



4) 中国やまなみ街道全線開通による地域の変化

山陰・山陽間、大都市圏への心理的距離の短縮効果が最も大きく、松江・出雲、雲南、備北の北側で顕著な結果となっているほか、事業活動上の安心感は前回に比べ増加している。

- 中国やまなみ街道沿線企業の83%が「山陰・山陽間の心理的距離の短縮」を実感している。「事業活動上の安心感が高まった」については「そう思う」「多少そう思う」の回答が前回に比べて増加している。また、「人流・物流が活発になり、地域が活気づいた」について「そう思う」と回答した企業は全体で12%にとどまっており、前回との差異はほぼ無い。(図37)
- 地域の変化について業種別にみると、「山陰・山陽間、大都市圏への心理的距離が縮まった」について「そう思う」と回答した企業は宿泊業や建設業で特に多くなっている。また、「宿泊業」で「他地域との連携・交流機運が高まった」について「そう思う」と回答した企業が多い(28%)。中国やまなみ街道の開通に合わせて「しまなみ・中国やまなみ街道沿線 観光協会連絡協議会」が設立されるなど、観光関係の連携・交流機運が高まりを見せている。(図38)
- エリア別にみると、「山陰・山陽間の心理的距離の短縮」については松江・出雲では9割以上が「そう思う」「多少そう思う」と肯定的な回答をしている。(図39)
- また、「事業活動上の安心感」も同様に松江・出雲が7割近い回答となっている。(図40)
- 「他地域との連携・交流機運が高まった」と感じた企業(全体で55%)は、松江・出雲で最も多く、7割に達しており、他のエリアでも5割以上の企業が連携・交流機運の向上を感じている。(図41)
- 自由記述では、ストロー効果による地域へのマイナス影響を指摘する意見がある一方、高速道路の整備により他地域への事業拡大や大型商業施設の出店、山陰・山陽間の交流が深くなるなどのプラス効果が表れているとの回答が記されている。

図37 中国やまなみ街道全線開通による地域の変化

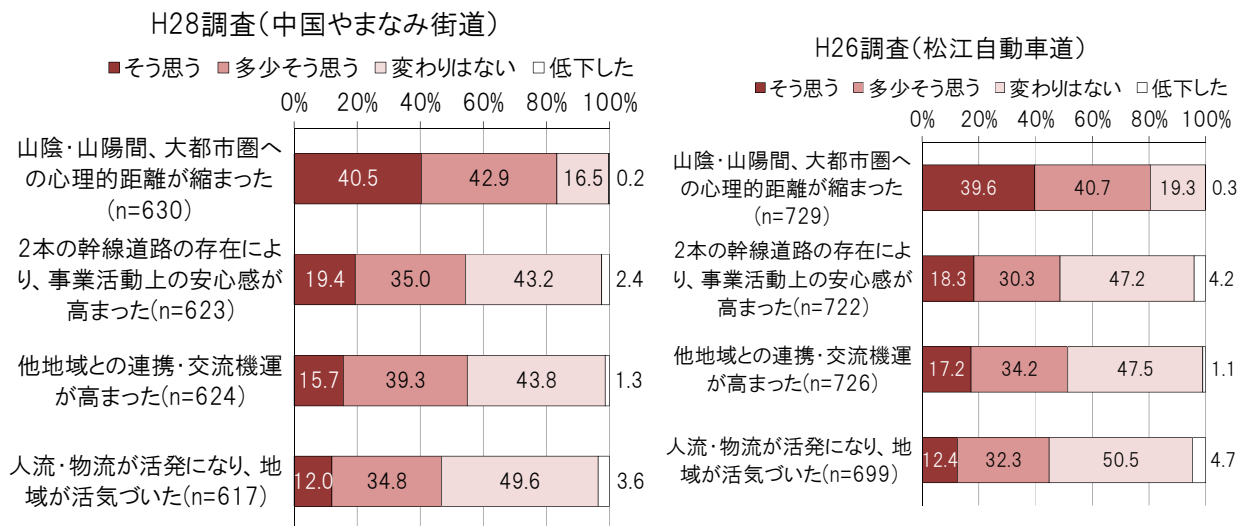


図 38 中国やまなみ街道全線開通による地域の変化（「そう思う」×業種）

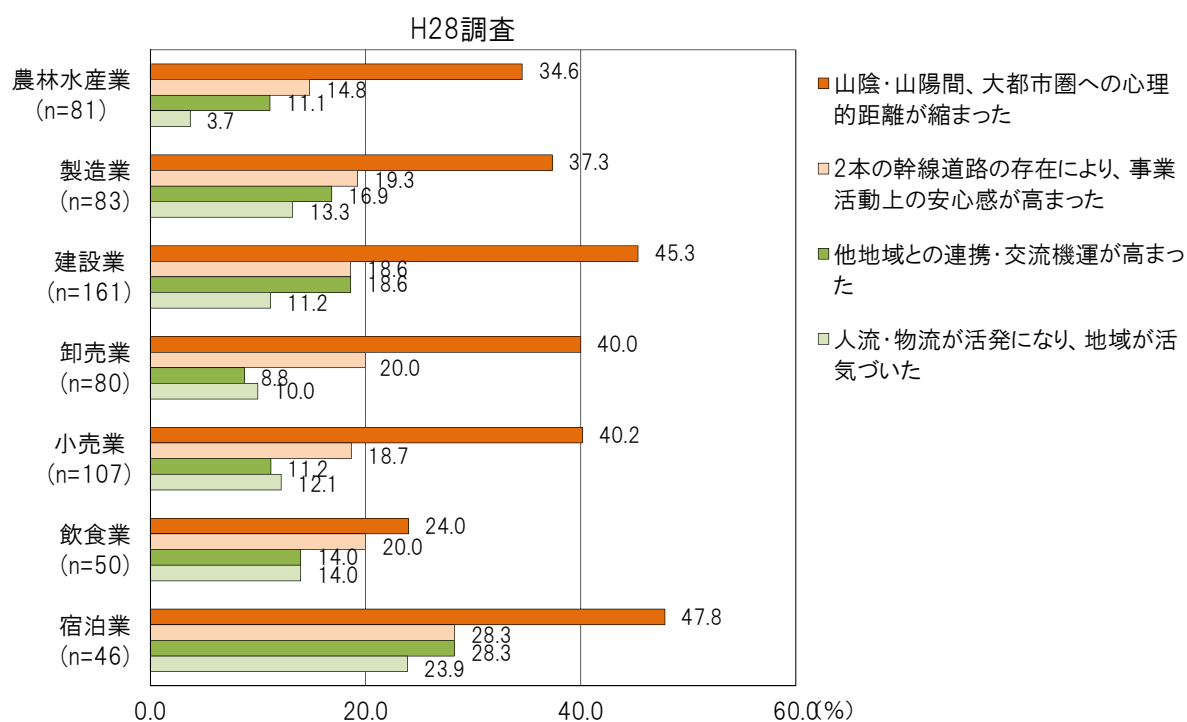


図 39 中国やまなみ街道全線開通による地域の変化（エリア別）
〔山陰・山陽間、大都市圏への心理的距離が縮まった〕

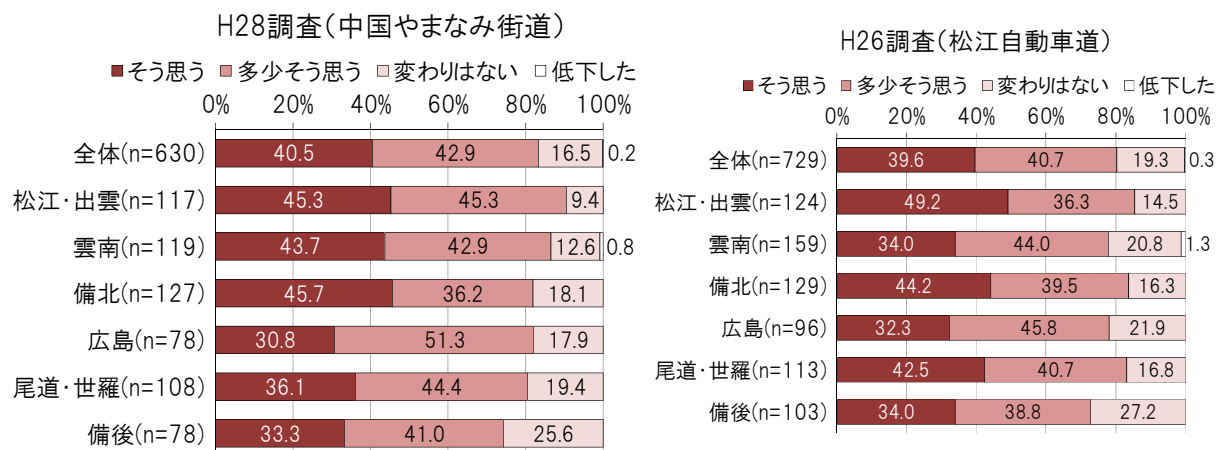


図 40 中国やまなみ街道全線開通による地域の変化（エリア別）
〔2本の幹線道路の存在により事業活動上の安心感が高まった〕

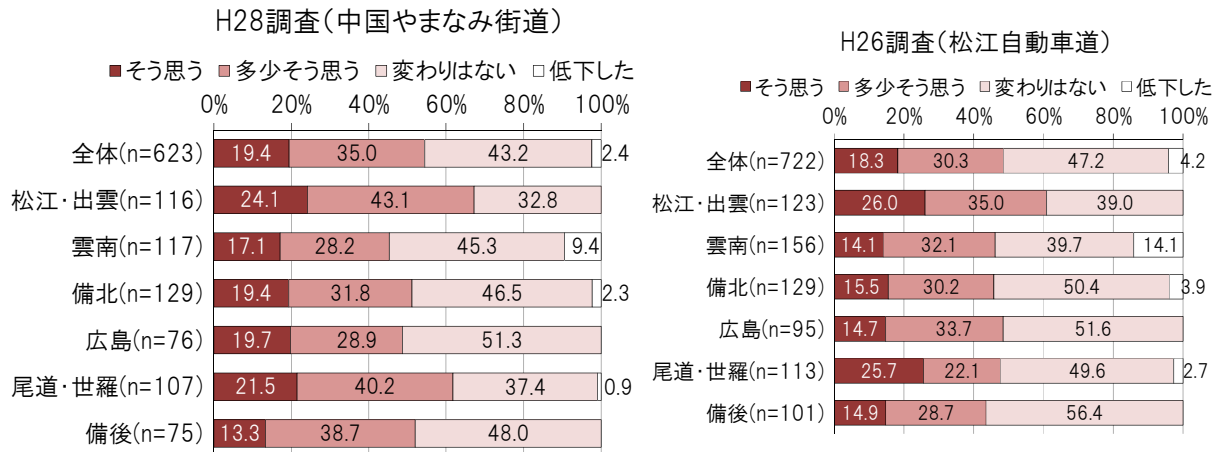


図 41 中国やまなみ街道全線開通による地域の変化（エリア別）
〔他地域との連携・交流機運が高まった〕

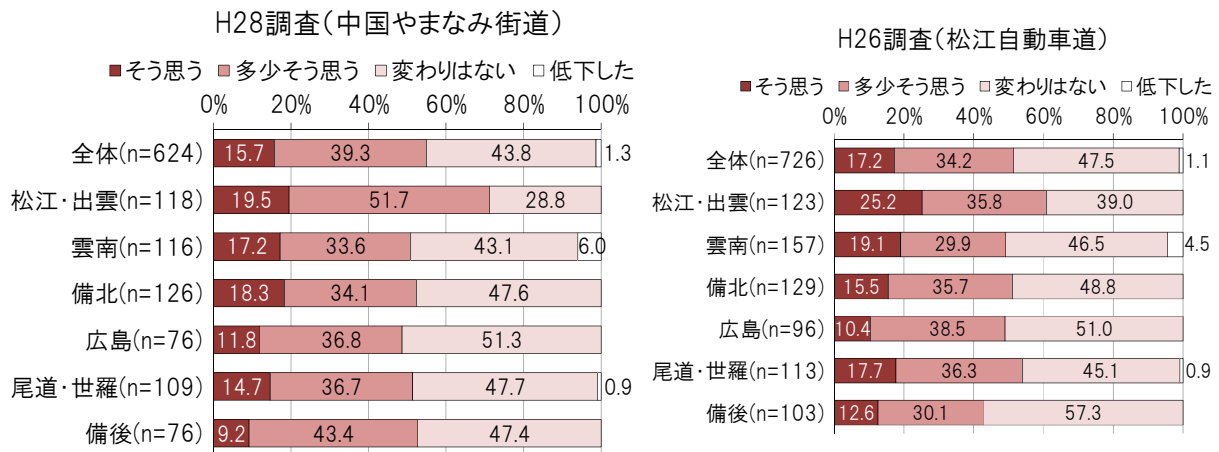
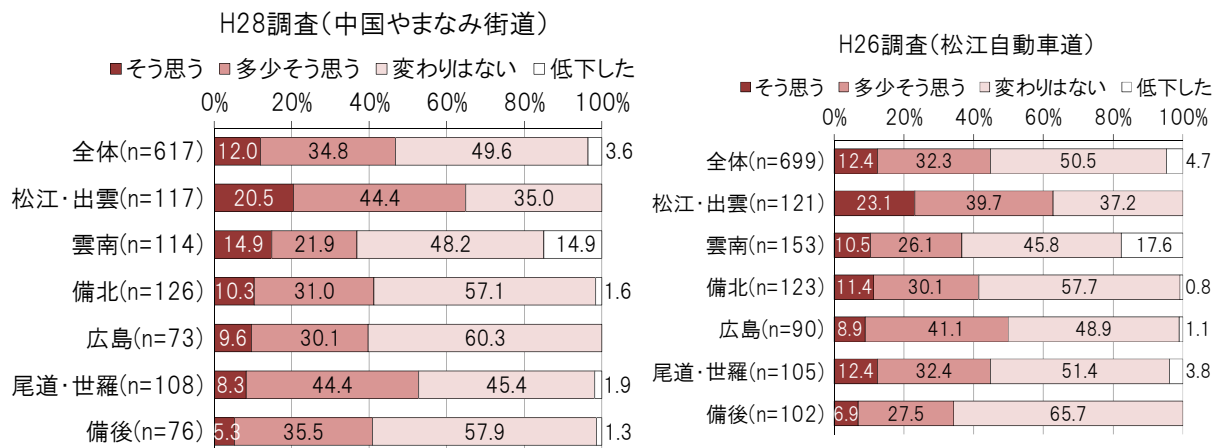


図 42 中国やまなみ街道全線開通による地域の変化（エリア別）
〔人流・物流が活発になり、地域が活気づいた〕



(「その他(上記以外の変化について)」として記載のあった内容)

中国やまなみ街道全線開通による立地地域の変化(コメント)		エリア	所在地	業種
プラス効果	観光客の増加。	松江・出雲	出雲市	飲食業
	広島市、三次市からの来客が増えた。		安来市	製造業
	山陽側の企業が多く営業活動に来るようになった。	雲南	雲南市	製造業
	利用した事がないので分からないが、中国やまなみ街道により利用の選択肢が多くなる点が良いと思われる。	広島	広島市	農林水産業
	ライオンズクラブにて交流が出来た。	尾道・世羅	尾道市	小売業
	他府県ナンバーの車が増えた。(特に島根・鳥取ナンバー)		尾道市	農林水産業
	個人的に山陰が近くなった。	備後	福山市	農林水産業
	観光産業が増えてその他の日常産業は変わらない。大型店の進出増。	備北	三次市	建設業
	山陰の得意先との交流が深まり、コミュニケーションが強くなった。		不明	不明
マイナス効果	事業活動が低下した。	雲南	飯南町	小売業
	町内への周遊者は減少した。	尾道・世羅	世羅町	農林水産業
	ストロー効果でマイナスの影響もある。	備北	庄原市	宿泊業
	在来国道沿いの街に活気がなくなった。		不明	不明
	国道 54 号沿いの商店では閉店が多いと感じている。		不明	不明
その他	早く拡幅して片側 2 車線にして欲しい。	雲南	雲南市	小売業
	中国やまなみ街道を利用するお客様があまりいらっしゃらないので変化はない。	広島	廿日市市	宿泊業
	人口が増えないことには売上げは期待出来ない。	尾道・世羅	尾道市	卸売業
	地域交流の拠点として「道の駅」の果たす役割が大きい。	備後	三原市	建設業
	申し訳ございませんが、実感がありません。		三原市	小売業
	あまり関係なし。		神石高原町	農林水産業
	国道 54 号からの各 I C のアクセスが悪い。	備北	安芸高田市	製造業

3. 今後の産業活性化・企業展開等の見通し

1) 中国やまなみ街道全線開通に伴う企業の事業展開の意向

(1) 新たな事業展開の方向

沿線企業の4社に1社（25%）が今後、何らかの事業展開を考えている。地域別には、「松江・出雲」で39%、「尾道・世羅」「備北」で30%の企業が意向を持つ。

- ・新たな事業展開意向がある企業は、全体の約25%となっており、エリア別では「松江・出雲」で約40%、「尾道・世羅」「備北」で約30%となっている。（図43）
- ・具体的な展開内容としては、「他地域の新規顧客の開拓」が15.3%で最も高く、次いで「顧客サービスの充実」11.8%、「他地域の協業・連携先の開拓」は前回から3.3ポイント増の7.2%となっており、他地域での販路拡大を視野に入れた事業展開を見据えていることがうかがえる。（図44）
- ・エリア別にみると、全エリアにおいて上位3項目は全体と同様だが、「他地域の協業・連携先の開拓」について松江・出雲、広島では前回から大幅に上昇しており、中国やまなみ街道全線開通を商機ととらえた積極的な姿勢がみられる。（図45）
- ・事業拠点の配置や拡充に関わる項目「既存の拠点等の拡充」「新たな拠点等の開設」「拠点等の移転」の合計値をみると、松江・出雲12.4%、備北9.0%の順となっている。松江・出雲は前回より9ポイント高くなっており、今後の企業展開への期待がうかがえる。反対に備北では前回より1.6ポイント低くなっている。（図45）

図43 新たな事業展開の意向を持つ企業（エリア別）

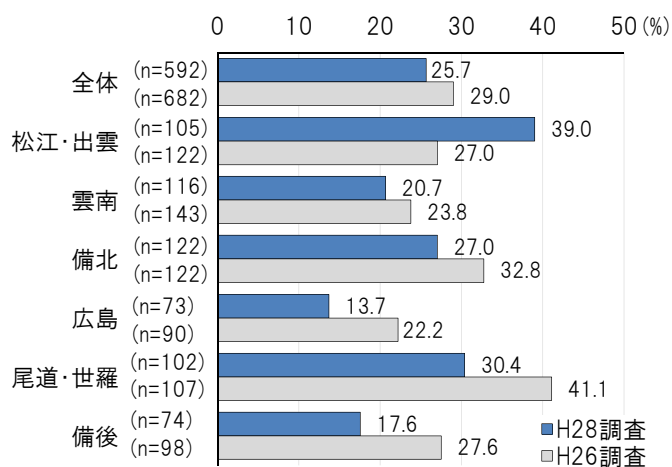


図44 新たな事業展開の意向

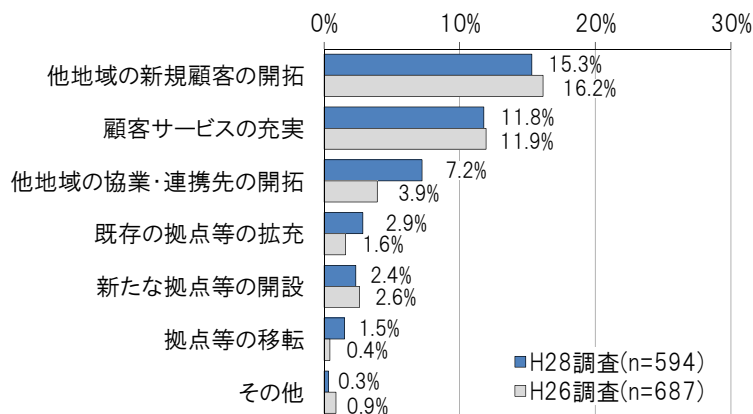
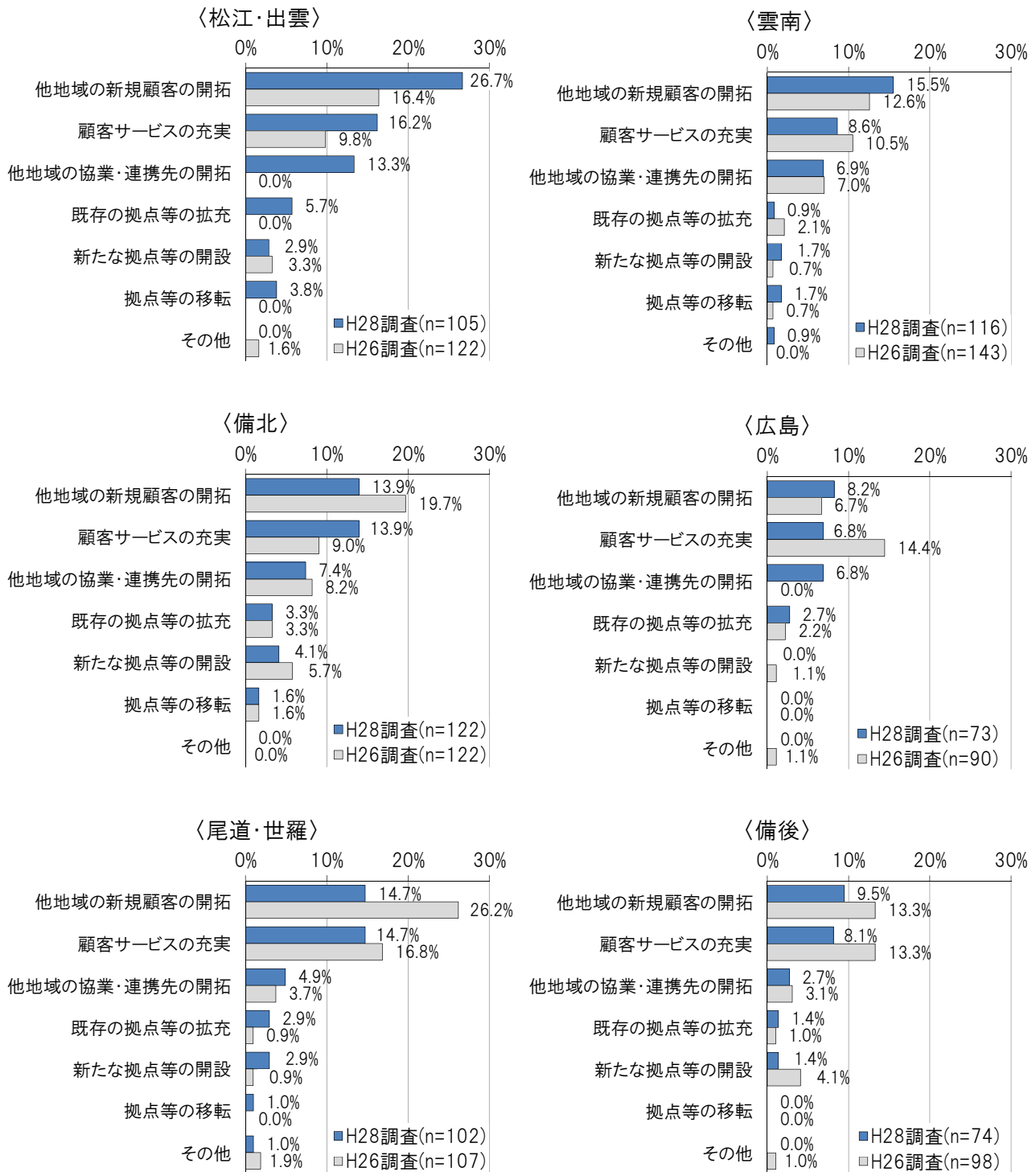


図 45 新たな事業展開の意向（エリア別）



(2) 新たな事業展開の対象地域

①他地域の新規顧客の開拓

「他地域の新規顧客の開拓」の対象地域は、松江・出雲、雲南で「広島」が第1位。松江・出雲では「四国」が第2位。山陰と四国が高速道路で直結した効果が表れている。

- ・松江・出雲、雲南では、事業展開の対象地域として「広島」が第1位であり、前回と同様の結果となっているが、松江・出雲では第2位が「四国」となっている。広島側の4エリアにとって「松江・出雲」が重要なマーケットであるという傾向は前回同様にみられるが、尾道・世羅では前回第2位であった「雲南」が減少し、「近畿」や「九州」をターゲットに見据える企業が増えている。(表5、図46)

表5 新たな事業展開の対象地域〔他地域の新規顧客の開拓〕

※複数回答
(社)

H28 調査

対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	四国	近畿	九州	その他	未定	回答数
松江・出雲	2	1	7	14	5	8	9	2	2		3	29
雲南	3	3	2	8	7	4	4	1		1		17
備北	8	5	2	1	8	9	3	2		1	1	18
広島	5	4	1							1		6
尾道・世羅	8	2	2	4	5	3	3	4	4			16
備後	3	2	3		1							6
計	29	17	17	27	26	24	19	9	6	3	4	92

着色凡例 10以上 8~9 6~7 4~5 2~3 1

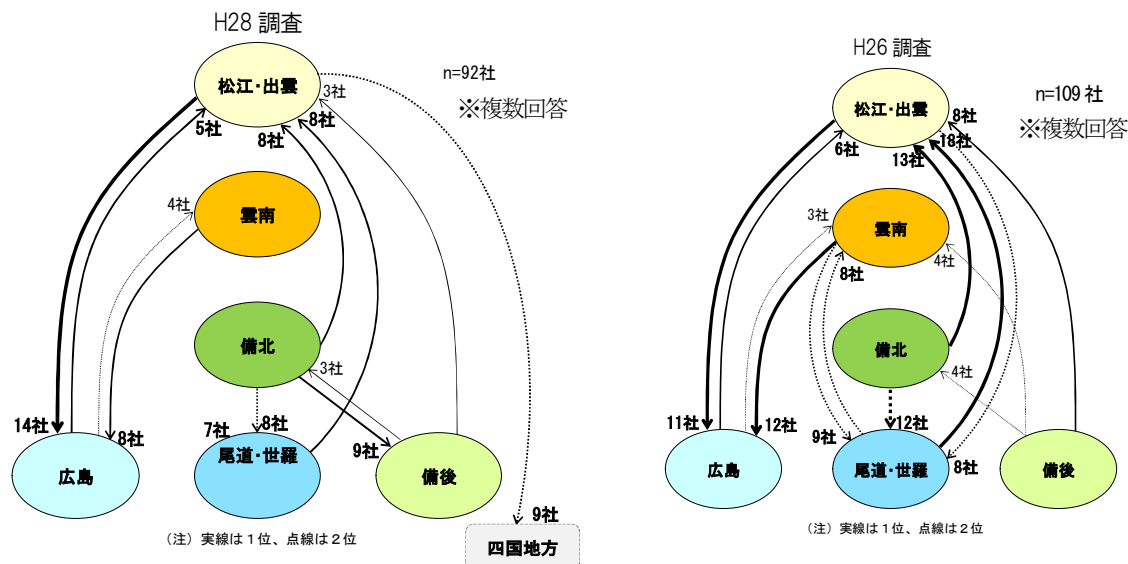
H26 調査

(社)

対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	四国	近畿	九州	その他	未定	回答数
松江・出雲	1	1	4	11	8	5	7	1	2		1	20
雲南	1	3	5	12	9	4	3	2		1		18
備北	13	8	6	1	12	7	3	1				24
広島	6	3			1							6
尾道・世羅	18	8	7	3	5	4	7	2	1	2		28
備後	8	4	4		2	1	3				1	13
計	47	27	26	27	37	21	23	6	3	3	2	109

着色凡例 10以上 8~9 6~7 4~5 2~3 1

図46 新たな事業展開の対象地域（エリア別関係図、他地域の新規顧客の開拓）



②他地域の協業・連携先の開拓

協業・連携先として、島根県側は広島エリアを、広島県側は松江・出雲エリアを主なターゲットとしている。前回に比べ回答者数が増え、新たな事業展開への意欲がうかがえる。

- ・松江・出雲、雲南が「広島」を協業・連携先の対象としており、前項目と同様の傾向がみられる。特に、前回は回答者がいなかった松江・出雲では今回 14 社が協業・連携先を他地域に開拓する意向を示している。備北、尾道・世羅、備後は「松江・出雲」が第1位で前回と同様の結果となっている。(表 6、図 47)

表 6 新たな事業展開の対象地域〔他地域の協業・連携先の開拓〕

※複数回答
(社)

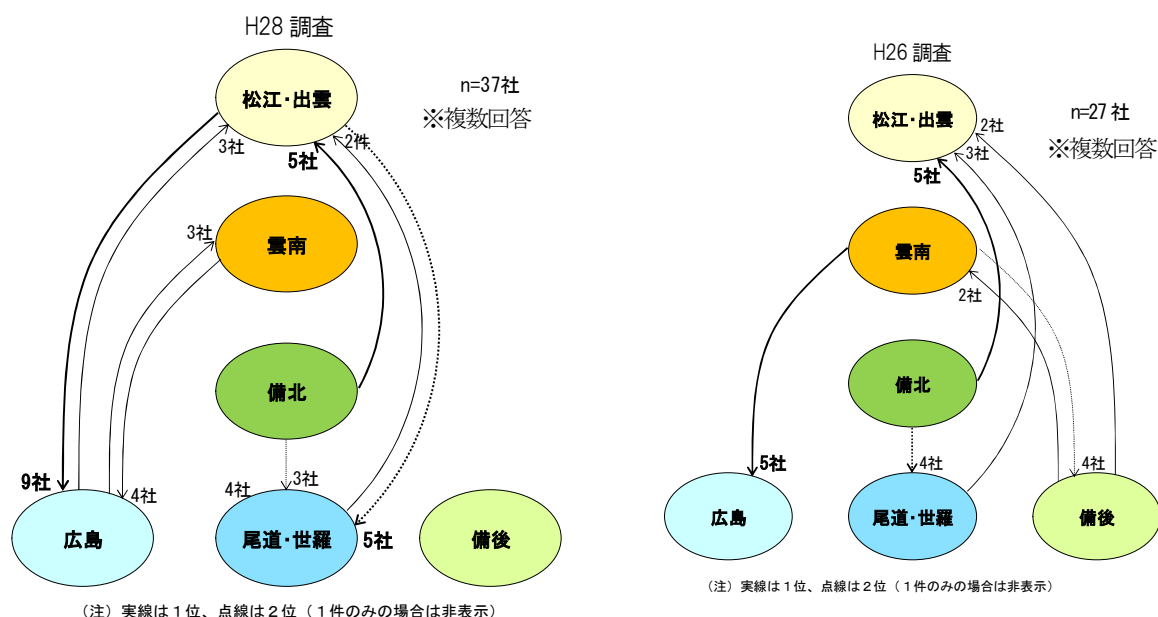
H28 調査	対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	四国	近畿	九州	その他	未定	回答数
松江・出雲		2		2	9	5	3	2	2	1		1	14
雲南		1	1	1	4	4	1	1				1	7
備北		5	2	1	1	3	1						8
広島		3	3	1									3
尾道・世羅		2			2	1	1			1			4
備後		1											1
計		14	6	5	16	13	6	3	2	2		2	37

着色凡例 10以上 8~9 6~7 4~5 2~3 1

H26 調査	対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	四国	近畿	九州	その他	未定	回答数
松江・出雲													
雲南		2	1	1	5	2	4	2	1	2		1	10
備北		5	1	3		4	2						10
広島													
尾道・世羅		3	1					1			1		4
備後		2	2	1	1	1	1						3
計		12	5	5	6	7	7	3	1	2	1	1	27

着色凡例 10以上 8~9 6~7 4~5 2~3 1

図 47 新たな事業展開の対象地域（エリア別関係図、他地域の協業・連携先の開拓）



③拠点の新設・拡充・移転先（事業所、店舗、生産・流通等）

企業の立地展開としては、備北から沿線地域への展開意向が多くみられる。また、事業展開先は「松江・出雲」が多いなど、高速道路を活用した展開がみられる。

- ・企業立地等の展開先として、島根・広島両県で「松江・出雲」を事業展開の対象とする企業が最も多いのは前回と同様だが、次いで「雲南」を挙げる企業が多くなっている。拠点の移転・拡充・新設の意向を示す企業が最も多いのは備北であり、事業展開先として「松江・出雲」「雲南」「備北」「備後」が挙げられている。（表 11）

表 7 新たな事業展開の対象地域〔拠点等の移転・拡充・新設〕

※複数回答
(社)

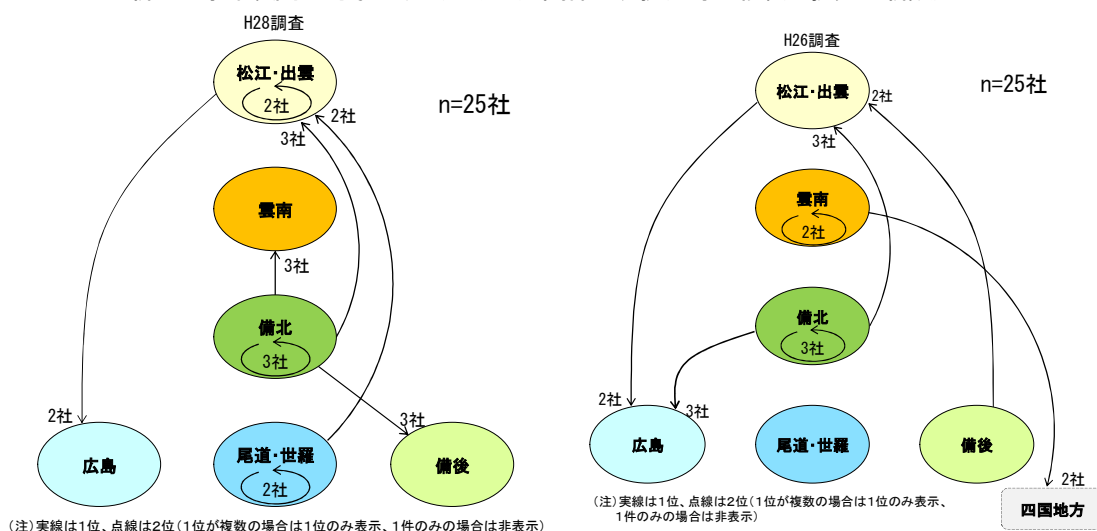
H28 調査	対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	四国	近畿	九州	その他	未定	回答数
松江・出雲		2			2	1						2	6
雲南			1									2	3
備北		3	3	3	1	2	3		1	1	1	1	8
広島		1	1										1
尾道・世羅		2			1	2					1		5
備後		1	1	1									2
計		9	6	4	4	5	3		1	1	2	5	25

着色凡例	10以上	8~9	6~7	4~5	2~3	1
------	------	-----	-----	-----	-----	---

H26 調査	対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	四国	近畿	九州	その他	未定	回答数
松江・出雲		1		1	2								4
雲南			2					2		1			5
備北		3	1	3	3	2	1		1		1		9
広島		1				1		1					2
尾道・世羅			1	1									2
備後		2		1			1						3
計		7	4	6	5	3	2	3	1	1	1	0	25

着色凡例	10以上	8~9	6~7	4~5	2~3	1
------	------	-----	-----	-----	-----	---

図 48 新たな事業展開の対象地域（エリア別関係図、拠点等の移転・拡充・新設）



2) 中国やまなみ街道の利用にあたり求めるもの

中国やまなみ街道に今後求めることとして「片側1車線（対面通行）の解消」が68.2%で最多となっており、道路整備・安全面への期待が高い。

- ・「片側1車線（対面通行）の解消」が68.2%で最多となっている。次いで「緊急事象（事故・大雪等の異常気象等）対応の改善」が35.5%となっており、高速道路整備・安全面への期待が高くなっている。自由意見からは、給油所やトイレ等の利便性を求める意見がみられる。（図49）
- ・「広島空港へのアクセスの改善」についてエリア別にみると、備北が33.7%、松江・出雲でも16.6%となっている。（図50-1）
- ・「接続する山陰道の延伸によるネットワーク拡大」について地域別にみると、松江出雲が36.3%、雲南が21.8%となっている。（図50-2）

図49 中国やまなみ街道の利用にあたり求めるもの

※複数回答

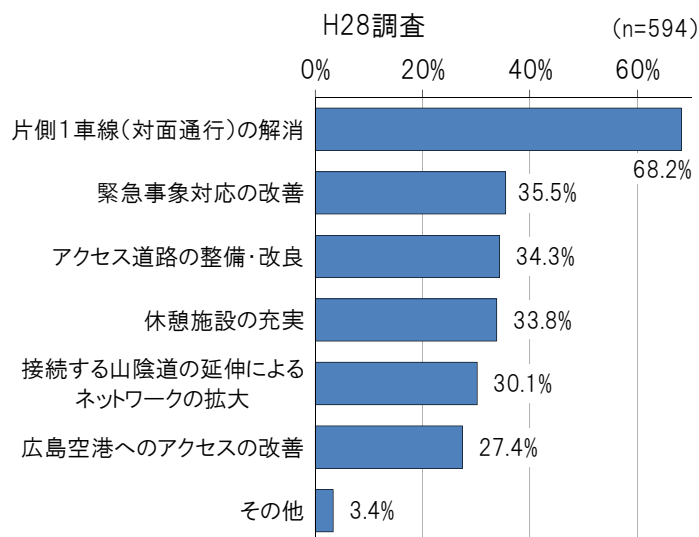


図50-1 広島空港へのアクセスの改善希望（エリア別）

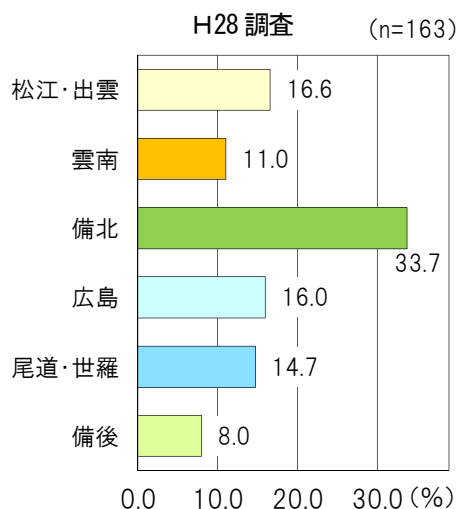
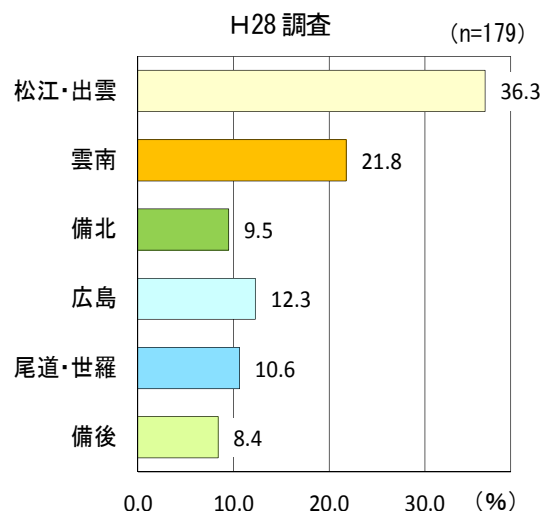


図50-2 接続する山陰道の延伸によるネットワーク拡大希望（エリア別）



(その他として記載のあった内容)

中国やまなみ街道の利用にあたり求めるもの		エリア	所在地	業種
利便性	給油場所の充実。	松江・出雲	松江市	農林水産業
	三刀屋⇄出雲間のアクセス。		出雲市	建設業
	ガソリンスタンドの設置。	雲南	雲南市	小売業
	島根と広島県境にインターの増設をお願いしたい。		奥出雲町	建設業
	観光圏の観点からの所要時間とモデルコース等の案内。 (NET、HP等)	広島	廿日市市	宿泊業
	観光に良い。		広島市	農林水産業
	尾道北ICを御調ICに名称変更してほしい。	尾道・世羅	尾道市	農林水産業
	IC(簡易でよい)の新設。	備北	庄原市	農林水産業
	トイレパーキングはあった方がいいと思います。		不明	不明
安全面	逆送防止策。	尾道・世羅	世羅町	農林水産業
	登坂車線・追越車線の追加。		世羅町	製造業
	片側1車線、緊急事象対応は、早急に改善が必要と思います。	備北	庄原市	小売業
料金	山陰道の無料化。	松江・出雲	松江市	建設業
	三刀屋・木次⇄宍道間の無料化。	雲南	雲南市	小売業
	有料化によってサービス等の向上化。		雲南市	建設業
	通行料徴収すべき。		飯南町	小売業
山陰道	山陰道の延伸等によるネットワークの拡充・拡大が不可欠である。	松江・出雲	松江市	建設業
	山陰道(出雲-浜田間)の早期全線開通による効率化、顧客拡大を期待。	松江・出雲	出雲市	宿泊業

3) 空港利用圏の変化

(1) よく利用している空港

- ・事業活動の移動手段として飛行機を使う「機会あり」と回答した企業は47.1%であり、前回よりやや低下している。(図 51)
- ・最もよく利用する空港としては、松江・出雲、雲南では「出雲空港」が前回と同様に第1位となっているが、両エリアで前回と比較して5ポイント以上低下している。(図 52)
- ・広島県の4エリアでは「広島空港」を利用する企業が最も多く概ね前回と同様だが、広島と備後では3～5ポイント低下している。(図 52)

図 52 飛行機を使う機会の有無

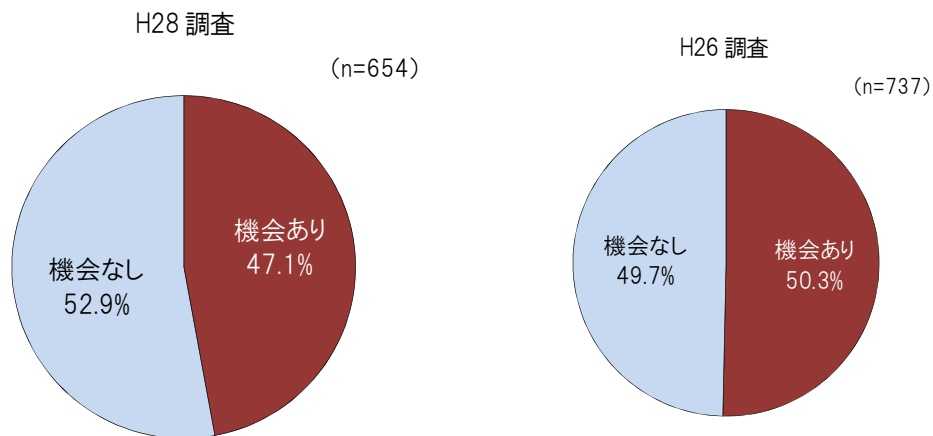
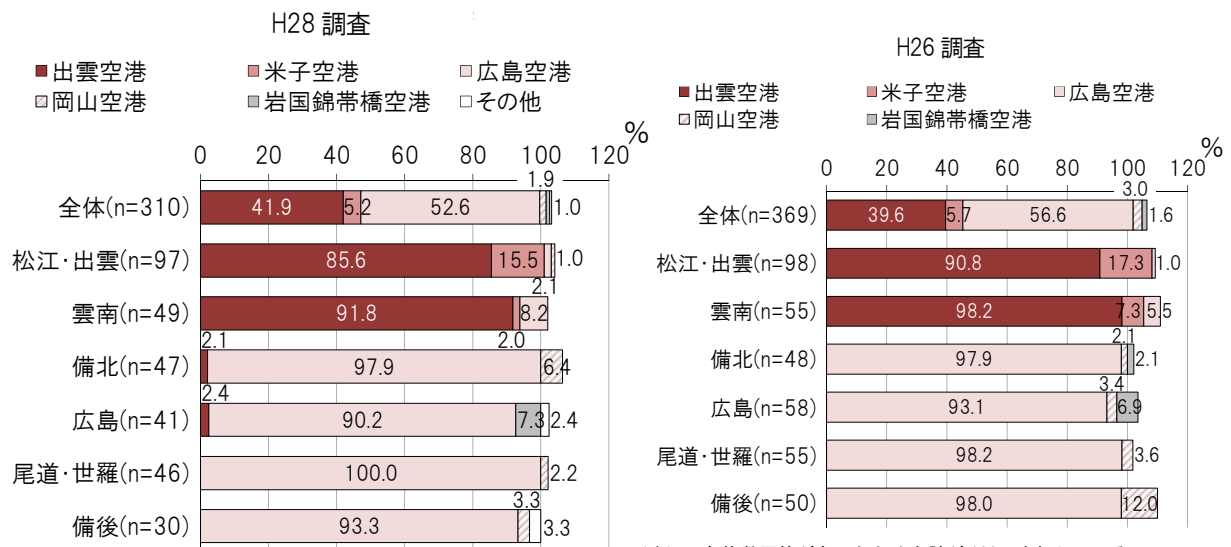


図 53 最もよく利用している空港（エリア別）



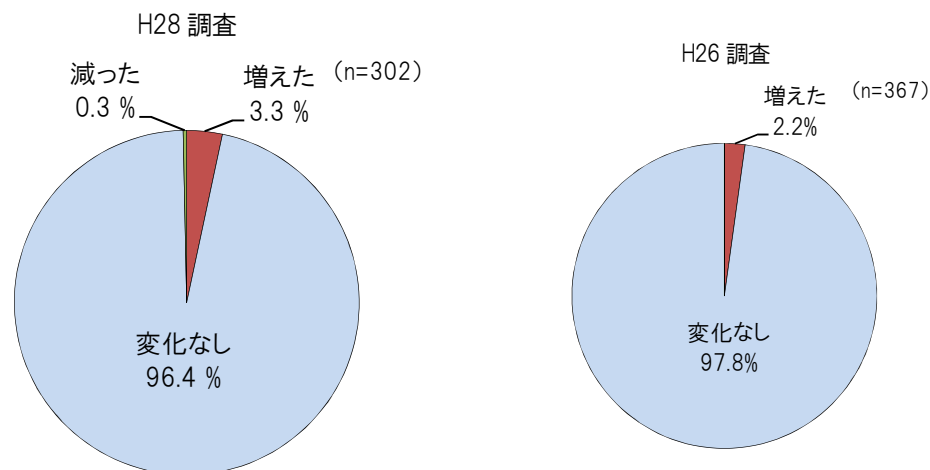
(注) 一部複数回答があったため合計が100%を超えている

(注) 一部複数回答があったため合計が100%を超えている

(2) 中国やまなみ街道全線開通による飛行機の利用頻度の変化

- ・事業活動で飛行機を利用する機会があると回答した企業のうち、利用頻度が増えたとの回答は前回よりやや高い3.3%であった。(図53)

図54 飛行機の利用頻度の変化



(3) 中国やまなみ街道全線開通による利用空港の変化

- ・「変化あり」と回答した企業は前回よりやや高い4.7%であった。特に、松江・出雲、雲南で新たに「広島空港」を利用すると回答した企業がそれぞれのエリアで5社と、前回から大幅に増加している。(図54、表8)

図55 利用空港の変化

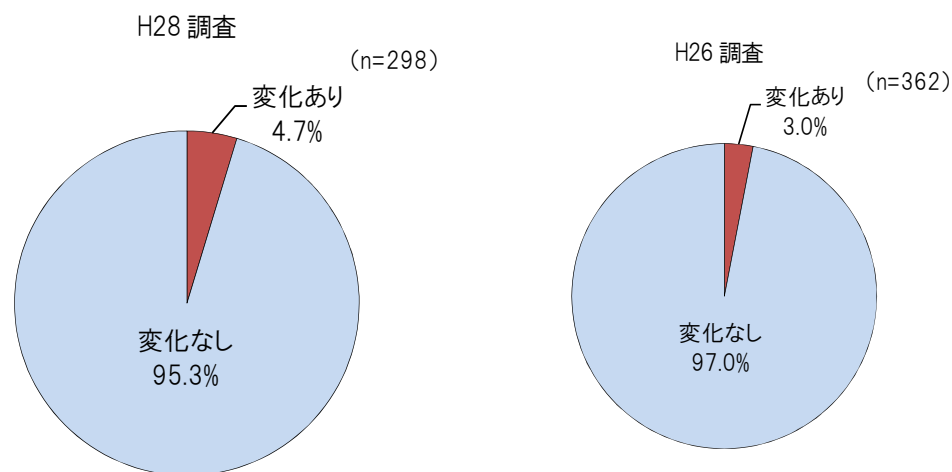


表 8 中国やまなみ街道の全線開通による新たな利用空港

H28 調査 (社)					H26 調査 (社)					
新たな利用空港 回答企業	米子 空港	広島 空港	岡山 空港	回答 数	新たな利用空港 回答企業	出雲 空港	米子 空港	広島 空港	岡山 空港	回答 数
松江・出雲		5		5	松江・出雲		1	1		2
雲南	1	5		6	雲南	2	1			3
備北	1	1	1	3	備北				1	1
広島					広島					
尾道・世羅					尾道・世羅					
備後					備後			1	1	1
計	2	11	1	14	計	2	2	2	2	7

(4) 空港利用に関する自由意見

- ・現在整備が進められている広島中央フライトロードの部分的な運用開始により、利便性が向上したとの意見がある一方、中国やまなみ街道・山陽自動車道との相互連絡を待望する意見も多くみられる。
- ・空港を利用する際に中国やまなみ街道を利用しないとの意見も散見される。

空港利用で感じたこと		エリア	所在地	業種
プラス面	世羅からの広島中央フライトロード開通により広島空港の利用は多くなると思う。	松江・出雲	松江市	宿泊業
	広島空港へのアクセス向上により国際便利用が容易になった。		出雲市	宿泊業
	利便性向上。	尾道・世羅	尾道市	宿泊業
	広島・岡山の空港利用がスムーズになった。	備後	福山市	製造業
	時間が早く移動できる。	備北	庄原市	製造業
	吉舎までの時間短縮に効果あり。吉舎から空港までは従来通り。		庄原市	宿泊業
	中国への出張で岡山空港から仁川空港を利用できるなど、中国への利便性が増した。又、岡山空港の無料駐車場で長期出張の経費削減になった。		安芸高田市	製造業
マイナス面	広島空港へのアクセスに一般道を途中から通ることでメリットが半減した。高速道直結を希望する。	松江・出雲	松江市	卸売業
	広島空港のフライトロードまでがアクセスが悪い。		松江市	宿泊業
	広島空港への案内板の数が少ない(特に中国やまなみ街道からフライトロードへの道)。	雲南	雲南市	小売業
	広島空港を利用する際、山陰側から行く場合は山陽道まで行ってからになるため、大回り。世羅ICで降りると道が狭く時間的に変わらない。幹線道路の整備必須。		雲南市	製造業
	広島空港へのアクセスが悪い事。		雲南市	小売業
	休憩所(トイレ)がない。	広島	広島市	小売業
	広島空港からやまなみ街道へのアクセスが悪い。広島空港着のお客様への説明が難しく、また世羅町フルーツロードとの連絡が悪い。空港からやまなみへというイメージがない。	尾道・世羅	世羅町	農林水産業

空港利用で感じたこと		エリア	所在地	業種
マイナス面	尾道自動車道とフライトロードを直結して欲しい。フライトロードの利用価値ももっと上がると思う。現在の利用者は少なく、県内居住者でもフライトロードがどこにあるか知らない人が多い。	尾道・世羅	世羅町	農林水産業
	追い越し車線がなさすぎる。	備後	福山市	卸売業
	庄原からフライトロードにつなぐ道が不便（フルーツロードの改善）。	備北	庄原市	農林水産業
その他	出雲ー広島空港間の直通バスを希望します。	松江・出雲	出雲市	宿泊業
	広島空港の駐車料金の無料化。	雲南	雲南市	製造業
	一部有料区間があるが、全線無料にして欲しい。		飯南町	建設業
	フライトロードへのアクセス。		奥出雲町	製造業
	宮島から一番便利な空港は、岩国錦帯橋空港です。（1時間以内でJR又は車で行けます。）その他の空港は不便ですので、お客様や出張は岩国空港を利用しています。	広島	廿日市市	宿泊業
	国道2号バイパスまで延長すれば利便性が大きく高まる。	尾道・世羅	世羅町	農林水産業
	三次から広島空港へ行く場合、やまなみは利用しない。広島空港へのアクセス改善に期待。	備北	三次市	小売業
	道路標識を分かり易くすると良い。		三次市	製造業
	フライトロードとやまなみ街道の接続。		三次市	建設業
	時間があまり変わらない。		庄原市	卸売業
	広島空港～フライトロードとやまなみ街道とのリンクをしていただきたい。		庄原市	小売業
街道との関連・空港利用なし	空港利用はありません。	松江・出雲	松江市	建設業
	個人的には大歓迎。		出雲市	建設業
	この道路を利用して空港へ行くことはありません。		安来市	製造業
	やまなみを利用して空港を利用したことがない。普段から国道だけ。	雲南	飯南町	農林水産業
	空港へのアクセスに関連なし。	広島	坂町	小売業
	山陽道利用なので変化なし。	尾道・世羅	尾道市	小売業
	大和町から出ているフライトロードを利用するため、やまなみ街道は利用しない。		世羅町	農林水産業
	中国地方の空港利用はありません。			
	空港へ行くのにやまなみは利用しない。	備後	福山市	製造業
	三次～広島空港をもう少し時間を短くしてほしい。		福山市	卸売業
	フライトロードとのアクセスがないので、やまなみを利用しない。	備北	三次市	建設業
	庄原から広島空港へ行く場合、中国やまなみ街道を利用しません。		三次市	小売業
			庄原市	小売業
	空港アクセスにあまり関係ない。		安芸高田市	小売業

4) 港湾利用圏の変化

(1) よく利用している港湾

- ・事業において輸出入で港湾を利用する「機会あり」と回答した企業は全体の7.2%にとどまっている。
(図 55)
- ・エリア別にみると、松江・出雲では半数以上の企業が「境港」を利用しているのに対し、広島では全ての企業が「広島港」、尾道・世羅では6割以上の企業が「福山港」を利用している。(図 56)

図 56 輸出入で港湾を使う機会の有無

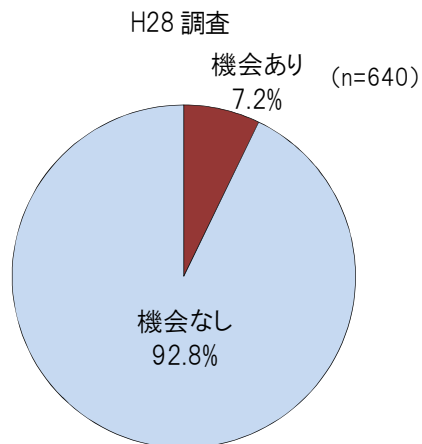
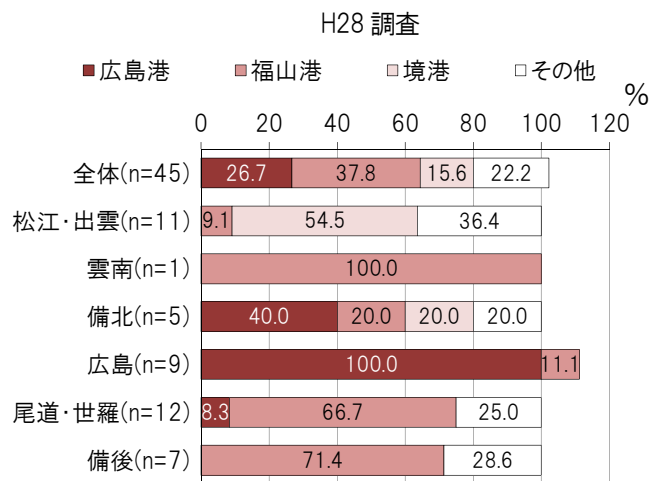


図 57 最もよく利用している港湾（エリア別）

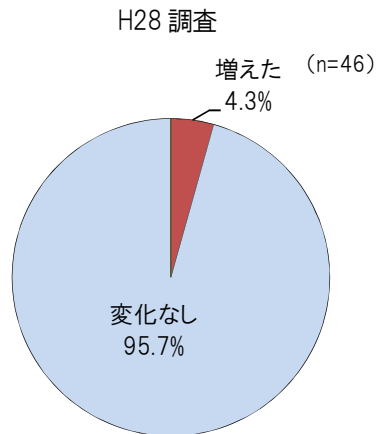


(注)一部複数回答があるため合計が100%を超えている

(2) 中国やまなみ街道全線開通による港湾の利用頻度の変化

- ・港湾の利用頻度が「増えた」と回答した企業は2社のみとなっている。(図 57)

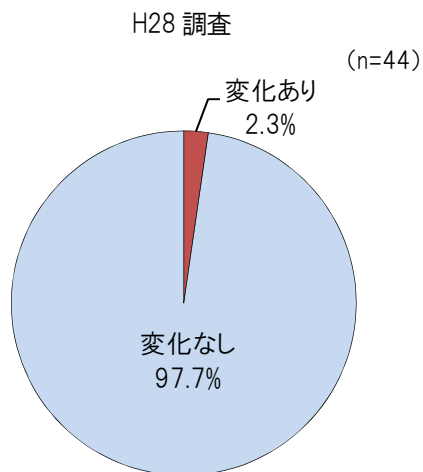
図 58 港湾の利用頻度の変化



(3) 中国やまなみ街道全線開通による利用港湾の変化

- ・「変化あり」の回答は1社(備北エリア、建設業)のみであり、利用港湾に関する回答は無かった。(図 58)

図 59 利用港湾の変化



5) 中国やまなみ街道の利活用に関する自由意見

・自由記述についてまとめると、以下のような意見・指摘があった。次頁以降には回答内容一覧を示す。

【道路利用】

◇高速道路整備

- ・前回から引き続き、片側1車線（対面通行）の解消を求める意見が特に多い。（主な理由としては、渋滞や事故、逆走など）
- ・サービス施設やガソリンスタンドの設置、インターの増設を希望する意見も数多くみられる。

◇料金問題

- ・全線無料化を希望する意見がある一方、有料にしてでも道路の保守・充実を求める意見もある。

◇高速道路利用

- ・高速道路の利便性を具体的にPRする必要性や、中国やまなみ街道ならではのイベントを望む意見がある。

◇一般道路整備

- ・アクセス道路の改良や、フライトロードへの接続を求める意見がみられる。

◇道路情報・標識

- ・利便性や安全性向上のための道路標識を求める意見がある。

【産業振興】

◇観光振興

- ・中国やまなみ街道の特性を十分に生かしながら、島根県、広島県だけでなく四国や岩国を含む広域観光圏でお互いの観光情報を共有し合い、更なるにぎわいづくりへとつなげていくことを望む意見がある。

◇農林水産振興

- ・主に漁業従事者が商圏拡大に寄せる期待が大きい。

◇企業誘致

- ・雲南において、産業活性化に向けた高速道路の活用が不十分であるという意見がある。

◇その他の産業振興

- ・高速道路を利用することで事業の効率化を図ろうとする意見がみられる。

【地域経済】

◇地域経済の沈滞化

- ・「過疎化が進んだ」「人の流入が松江・出雲に集中している」「在来国道の交通量が激減し、地域へのマイナス影響は甚大」など、雲南エリアをはじめとした中山間地域における空洞化現象を訴える意見が数多くみられる。

◇地域連携

- ・更なる地域活性化のために地域内での連携及び高速道路延伸等によるネットワークの整備促進が不可欠であるという意見がみられる。

4. 中国やまなみ街道の全線開通後の波及効果まとめ

前項までに報告した企業アンケート調査による中国やまなみ街道全線開通後の企業活動等への影響、今後の意向等についてまとめると、以下のとおり整理される。

中国やまなみ街道全線開通による効果	全線開通による利用率の増加	・物流で7.5ポイントの上昇、営業・出張では8.7ポイントの上昇 ・今回開通の尾道・世羅で+21.5ポイントと大幅増。備北・備後でも10ポイント以上の増加。沿線全線での活発な利用がうかがえる
	在来国道より良くなったと実感	・利用者のほぼ全員が「移動時間の短縮効果」を実感（95%） 「時間が読める（定時性確保）」「ドライバーの疲労軽減」の声も多数
	事業活動への効果・影響の発現を認識	・4割の企業が「物流効率、顧客・取引先への訪問効率の向上」を認識 ・物流に先駆け、観光業では「取引先・商圏の拡大」効果発現を認識
	取引先・商圏が拡大	・松江・出雲、雲南から広島、備北から尾道・世羅など、拠点都市間の連携が進むなど取引先・商圏エリアが拡大しつつある
企業が立地する沿線地域での変化	心理的距離の短縮	・8割以上が陰陽間、他都市圏との「心理的距離の短縮」を実感
	他地域との連携・交流機運の高まり	・5割以上の沿線企業が「他地域との連携・交流機運の向上」を実感、松江・出雲では7割以上
中国やまなみ街道全線開通に伴う今後の事業展開	新たな事業展開への意向	・沿線企業の1／4が今後、「販路拡大等を視野に入れた新規事業展開」を見据えている
	新規顧客の開拓	・「他地域の新規顧客開拓」意向は山陰側から広島への意向が第1位 ・同道を活用した事業拡大意向が広範囲・多業種で醸成されつつある
	協業・連携先企業の開拓	・「相互の強みを活かしたWin-Win連携を強化」「全線開通後、連携や取引の申入れが増えた」など協業・連携先の開拓意向を持つ事業者あり
中国やまなみ街道の利活用にあたっての要望・期待	安全面への配慮	・「片側1車線の解消」が最多、次いで「緊急対応の改善」
	広島空港へのアクセス	・広島空港アクセス改善への期待が山陰側でもみられる
	山陰自動車道への期待	・松江・出雲地域を中心に山陰のネットワークの拡大を期待

第3章 中国やまなみ街道の全線開通に伴う沿線地域での波及効果検証

1. 企業ヒアリング調査概要

- ・企業アンケート調査に協力頂いた企業を中心に、事業規模・内容を勘案し、平成28年8月～10月に以下の13社に対してヒアリングを行った。

	エリア	所在地	業種	訪問日 (H28)
1	松江・出雲	島根県松江市	建設業	8月5日 (金)
2	松江・出雲	島根県松江市	宿泊業	8月5日 (金)
3	松江・出雲	島根県出雲市	製造業	8月4日 (木)
4	松江・出雲	島根県出雲市	製造業	8月4日 (木)
5	雲南	島根県雲南市	農林水産業	8月4日 (木)
6	雲南	島根県雲南市	卸売業	8月5日 (金)
7	広島	広島県安芸郡坂町	卸売業	8月9日 (火)
8	尾道・世羅	広島県尾道市	卸売業	9月28日 (水)
9	尾道・世羅	広島県尾道市	卸売業・宿泊業	9月28日 (水)
10	尾道・世羅	広島県世羅郡世羅町	農林水産業 (観光施設運営)	9月28日 (水)
11	備北	広島県庄原市	建設業	10月6日 (木)
12	備北	広島県庄原市	農林水産業 (観光施設運営)	10月6日 (木)
13	備北	広島県庄原市	観光施設	10月6日 (木)
14	松江・出雲	島根県松江市	行政機関	12月14日 (水)
15	松江・出雲	島根県松江市	経済団体	12月14日 (水)
16	松江・出雲	島根県松江市	調査機関	12月14日 (水)

2. 企業ヒアリング調査結果

(1) 中国やまなみ街道全線開通による効果・影響

①利用状況

松江・出雲、備北、尾道・世羅等、各エリアの事業者から、中国やまなみ街道全線開通に伴い、物流ルートの変更や行動範囲・事業範囲が拡大した等の声があった。

<利用状況（ルート変更等）>

- ・海外への製品輸出は神戸港から出しているが、その際は中国やまなみ街道を使うようになった。（松江・出雲、製造業）
- ・広島へ行く際は、三次まで中国やまなみ街道を使い、そこから中国道で広島へ向かっている。松江線がでただけで相当のメリットがあった。（松江・出雲、建設業）
- ・尾道道開通後は、世羅の仕事で毎日利用した。（備北、建設業）
- ・来場者のほぼ100%が松江道を利用しており、全通後は福山や愛媛からの客が増えた。（備北、観光施設）
- ・山陰から鮮魚を仕入れる際、以前は岡山を経由して入荷していたが、距離とコストの問題があり、中国やまなみ街道にルートを変えた。（尾道・世羅、卸売業）

<行動範囲の拡大>

- ・中国やまなみ街道開通の影響は非常に大きく、交流人口が増え、行動範囲も広がった。（松江・出雲、製造業）
- ・道路整備で行動範囲が広がり、より便利になった。（尾道・世羅、卸売業）

②開通前（在来国道）よりも良くなった点

開通前と比べた変化として、時間短縮、定時性、ドライバーの疲労軽減の3つが挙げられたほか、物流面・防災面での効果を挙げる声があった。

<時間短縮効果>

- ・広島と出雲を結ぶ高速バスは、乗車率が高い。以前に比べて時間が短くなり、格段に楽になった。（松江・出雲、製造業）
- ・広島が近くなり、時間的なメリットが大きい。（雲南、卸売業）
- ・一番の効果は時間短縮。（尾道・世羅、卸売業）
- ・時間短縮効果が大きく、納入先への到達時間が20～30分程度早くなった。（尾道・世羅、卸売業）
- ・三次から福山までは早くなった。また、高速道路料金も安い。（広島、卸売業）

<定時性の確保>

- ・中国やまなみ街道の効果として一番大きいのは定時性の確保。時間が読めるということが大事。（松江・出雲、製造業）
- ・平均速度、定時性など利便性が全く違い、山陽側へ行きやすくなった。一般道を通ることが無くなった。（松江・出雲、建設業）
- ・高速道路ができることにより、時間が読めるようになったことが重要。（松江・出雲、建設業）
- ・時間が読めるようになったことが最大のメリット。遠回りや多少の料金がかかっても、高速道路を使い、確実に到着することが重要。（広島、卸売業）

<ドライバーの疲労軽減効果>

- ・高速道路は早さも大事だが、ドライバーの疲労軽減効果も大きい。（雲南、卸売業）
- ・時間がかかると疲れるので、ドライバーの疲労軽減効果も大きい。（尾道・世羅、卸売業）

- ・安全面・ドライバーの疲労度も違う。(尾道・世羅、卸売業)
- ・悪天候時のドライバーの負担軽減効果も大きい。(広島、卸売業)

＜物流面・防災面等、全体的な効果＞

- ・中国やまなみ街道開通後は、大雪時以外は順調に納品されており、取引先にも我が社にも非常にプラスに働いている。(松江・出雲、製造業)
- ・中国やまなみ街道によって外部からの進出が容易になり、コンビニができ、物流が良くなった。(雲南、卸売業)
- ・土砂災害で福山に向かう国道 182 号が通行止めになった際、中国やまなみ街道は通行できた。防災面でも効果があると思う。(備北、建設業)
- ・三次の工業団地が完売するなど、中国やまなみ街道開通後は三次に集積するようになり、備北エリアの活性化につながった。(備北、建設業)
- ・受注が逼迫するお歳暮時期や、雪や渋滞の影響で出荷時間が迫るときなどは、中国やまなみ街道が非常に重要になる。(尾道・世羅、卸売業)
- ・物流としては拠点間の大動脈が大事であり、広島～松江間の大動脈が高速道路で結ばれるという点で、松江道は非常に効果があった。(広島、卸売業)
- ・冬場に安心して通れるようになった。(広島、卸売業)

③取引先・商圏の拡大

中国やまなみ街道全線開通に伴い、取引先・商圏の拡大や営業範囲の拡大が行われたという声が多く、観光関連の営業範囲や観光客の移動範囲も拡大しているという声があった。

＜取引先・商圏の拡大＞

- ・現在、製作を検討している新商品の素材は、移動が楽になったことから、福山から仕入れることにした。(松江・出雲、製造業)
- ・中国やまなみ街道全通後、連携や取引の申し入れは山陽側から増えた。特に岡山から積極的なアプローチが増えた。(松江・出雲、製造業)
- ・福山に取引先があり、近くなったことで移動が楽になり、事業の効率化に貢献している。(松江・出雲、建設業)
- ・飛躍的に商圏が広がった。これまで考えていなかった福山と取引が始まった。総人口減少で業界自体の規模拡大は難しいが、中国やまなみ街道を活用して、備後・備北エリアに商圏を拡大していきたい。(雲南、農林水産業)
- ・以前は山陰の商圏は限られた範囲だったが、現在は鳥取市内まで広がった。(尾道・世羅、卸売業)

＜営業範囲の拡大＞

- ・片道 2 時間以内が商圏となっていることから、開通によって広島県及び岡山県が幅広くカバーされるようになった。(松江・出雲、建設業)
- ・中国やまなみ街道(松江道)開通後に、出雲営業所を開設。島根の土木工事案件が 10 件程度でできるようになり、売上げには大きくプラスになっている。(備北、建設業)
- ・2 件程度だった一日に訪問できる山陰の営業先が、中国やまなみ街道開通後は 3、4 件に増えた。(尾道・世羅、卸売業)

＜観光関連の営業範囲の拡大、観光客の行動範囲の拡大＞

- ・中国やまなみ街道の開通に伴い、営業範囲を四国まで拡大した。四国からの宿泊客も増えている。(松江・出雲、宿泊業)

- ・全通後は、岡山、倉敷、福山、尾道辺りからの来場者が増えた。(備北、農林水産業(観光施設運営))
- ・山陰からの宿泊客が増えている。開通後、旅行会社からは尾道も含めた形で提案してもらっており、従来、米子道・岡山道を使って山陽側に来ていた人たちが、やまなみ街道を使って来てくれている。(尾道・世羅、宿泊業)

④雇用範囲の拡大

高速道路整備による通勤圏の拡大を効果として挙げる企業も多く、特に無料の高速道路であることが日常的な通勤に利用しやすい点として評価を得ている。

- ・米子、鹿島、大田、奥出雲あたりから通勤している人がある。山陰道があると石見地方の人も出雲は通勤圏となる。また、山陰道が無料化されると、米子からも通勤しやすくなる。(松江・出雲、製造業)
- ・労働力の確保が課題。中国やまなみ開通後は広島へ2時間半で行けるようになったこともあり、若年層が地元企業へ就職し、地元へ定着してくれることを期待している。(松江・出雲、製造業)
- ・広島土木作業員に島根まで行ってもらえるようになった。(備北、建設業)
- ・中国やまなみ街道の開通により、三刀屋や出雲の土木仕事に対して広島県内(三次、庄原、神石高原)の協力会社から派遣される作業員が通勤しやすくなり、受注をとりやすくなった。(備北、建設業)
- ・しまなみ海道開通後、尾道から因島が遠いという認識は無くなった。中国やまなみ街道により世羅も近くなり、今後の採用等では、中国やまなみ街道の開通効果が出てくると思っている。(尾道・世羅、卸売業)
- ・従業員のほとんどは尾道沿岸部や因島、向島など海側の人だが、無料の中国やまなみ街道を利用して通勤することが可能であり、今後、世羅からの通勤者が増える可能性はある。(尾道・世羅、卸売業)

⑤マイナス効果

中国やまなみ街道全線開通のマイナス面として、地元小売業の落ち込み、限定的な効果を挙げる意見があった。

- ・高速道路開通のリスクとして、広島や岡山の同業他社も競争相手となるが、適正な競争と連携が生まれることは本来のあるべき姿であり、歓迎したい。(雲南、農林水産業)
- ・地元の小売業の落ち込みはデメリットとしてあるが、対策をしていないので仕方が無い。高速道路ができることは分かっていたことであり、対策をとっていないことが問題。(雲南、卸売業)
- ・地元が道路を活用しようと努力していないため、中国やまなみ街道の効果は限定的だと感じている。(雲南、卸売業)
- ・人の流れとしては、限定されるようになった。インターチェンジしか降りるところが無いので、道の駅たかのかで降りるが、それ以外には寄らないという状況になっている。(備北、農林水産業(観光施設運営))

(2) 企業が立地する沿線地域における変化

①心理的距離の短縮

全線開通に伴い、実際の時間短縮効果も相まって、山陽と山陰との心理的距離が短縮したという声があった。

- ・山陽側と心理的な距離が近くなった。(松江・出雲、製造業)
- ・松江から広島までがとても近くなり、道路開通のメリットは大きい。(松江・出雲、宿泊業)
- ・これまでは感覚的に県境を越えることができなかったが、中国やまなみ街道開通により、島根県の見え方が変わった。2時間を超えると遠い印象になるが、1.5時間圏内となり、行きやすくなった。(備北、建設業)
- ・一番のメリットは心理的な距離が近くなったということ。松江、出雲でも感じていると思う。(尾道・世羅、農林水産業(観光施設運営))

②他地域との連携・交流機運の高まり

協議会設置やイベント開催等、沿線の他地域、特に県境を越えた広域連携の動きが広がっていることを実感する声が多かった。

- ・中部圏や首都圏など遠方の旅行会社へ営業する際、山陰を含めた広域的な周遊ルートを提案できるようになった。(備北、農林水産業(観光施設運営))
- ・中国やまなみ街道沿線の民間事業者で集まり、「山陰・山陽花めぐり街道協議会」の連携を強めている。(備北、農林水産業(観光施設運営))
- ・全通前は難しかった県境を越えた広域連携が、全通後は特に広報面で進み、より広範囲に発信できるようになった。(備北、農林水産業(観光施設運営))
- ・広島県の道の駅は交流会があり、道の駅同士の交流は増えている。国土交通省主導で全体のイベントができると良い。また、道の駅同士は、もともと駅長レベルの交流はあったが、最近は現場レベルのスタッフのミーティングをはじめた。(備北、観光施設)
- ・経済同友会として松江と交流しており、視察に行ったが、島根県は中国やまなみ街道開通を見越して早い段階から企業誘致をPRされており、県が積極的に動いていると感じた。(尾道・世羅、卸売業)
- ・中国地方のワイナリー同士での果実酒協議会の立ち上げや、陰陽が連携して花めぐり協議会を作るなど、中国やまなみ街道沿線のつながりはかなり良くなった。(尾道・世羅、農林水産業(観光施設運営))
- ・中国やまなみ街道沿線だけでなく、しまなみ海道まで含んだ「しまなみ・やまなみ」でのイベントや会合が増えた。(尾道・世羅、卸売業)

(3) 中国やまなみ街道全線開通に伴う今後の事業展開

①新たな事業展開への意向

今後の意向として、中国やまなみ街道沿線に留まらず、広域的な視点に立った事業展開の意向を示す企業があった。

- ・現在石川県にある生産拠点を、(大阪からのアクセスがほぼ変わらない) 出雲に置くことを検討している。(松江・出雲、製造業)
- ・東北や九州は自動車の一大拠点になっている。九州より大阪に近い中海・宍道湖圏域は可能性がある。(松江・出雲、製造業)
- ・リスク分散の観点から、今後岡山エリア方面への商圏拡大も検討していきたい。(松江・出雲、製造業)
- ・瀬戸内の食品などについて山陰での販路開拓を手伝うなど、山陽方面からの物流を手伝うという発想が良いと思う。また、帰りの荷物として地元産品を載せてもらうようにすると、コストが抑えられる。(雲南、卸売業)
- ・中国やまなみ街道を活用して、備後・備北エリアに商圏を拡大していきたい。(雲南、農林水産業)
- ・山陰地域へ販路を増やしていくことを考えている。(尾道・世羅、製造業)
- ・業務範囲や配送ルートが決まっており、業務範囲の拡大は考えていない。(広島、卸売業)

②新規顧客の開拓意向

商圏・取引先範囲の拡大に伴い新規顧客の開拓を図る意向がある企業は多く、そのサポートとしてビジネスマッチング等の機会の創出が期待されている。

- ・ビジネスマッチング等の機会に取引先を探している。(松江・出雲、製造業)
- ・山陰地域は人口規模が小さく商圏として考えていなかったが、中国やまなみ街道開通後は山陰からの団体バスは倍増し、来客数が増えた。今後は広域的に周遊できる対象地域として営業していきたい。(尾道・世羅、農林水産業(観光施設運営))
- ・移動時間が短縮され、同じ距離でも滞在時間が長く取れるようになり、営業先を増やすなど顧客の新規開拓ができる。(尾道・世羅、卸売業)
- ・今のところ、九州や広島との間の取引は少ないが、中国やまなみ街道開通を契機として、新たに取引先を拡大したいと考えている。(松江・出雲、製造業)
- ・今後、工場の拡張を見据えており、その際には労働力の確保、インフラ整備、取引先の拡大が条件となる。(松江・出雲、製造業)
- ・山陰道が横に繋がれば、更に営業先が増えると期待しており、今後山陰地域へ販路を増やしていくことを考えている。(尾道・世羅、卸売業)
- ・到達時間が短くなることで、より遠くまで行けるようになり、取引先の新規開拓にも力を入れており、道路整備により営業範囲が拡大している。(尾道・世羅、卸売業)
- ・今後の営業範囲としては、愛媛、香川を考えている。(尾道・世羅、農林水産業(観光施設運営))

③協業・連携先企業の開拓

中国やまなみ街道の開通を契機として、沿線事業者同士の連携を模索する動きがみられ、観光面では広域連携による営業活動へと展開している。

- ・従来から中国地方の同業の事業者同士がネットワークを組み融通し合ってきたが、中国やまなみ街道開通後は、競争よりも連携がさらに強化されている。相互の強みを活かした商品開発・販売をする方がリスクは低く、お互いに Win-Win 関係になる。連携による取扱い規模の拡大を図りたい。(雲南、農林水産業)
- ・宿泊を伴う旅行となる遠方(関東、中部、九州など)に対して、中国やまなみ街道開通後、山陰の資源と合わせて営業ができるようになった。(尾道・世羅、農林水産業(観光施設運営))
- ・沿線の盛り上がりが一過性になってはいけなと最初から思っている。盛り上がりの維持のためには、まず地元で理解されることが重要であり、道の駅では生産者(出荷者)の声を聞くことが大事だと考えている。(備北、観光施設)

(4) 中国やまなみ街道の利活用にあたっての要望・期待

①安全面への配慮

片側1車線による渋滞、事故リスク、事故や積雪時の通行止めリスクの改善を求める意見が多く挙がっている。

<片側2車線化の要望、対面通行の安全リスク>

- ・片側1車線では事故時に通行止めのリスクがある。安全のため、事故時に対向車乗り越えを防ぐ中央分離帯の設置を。(松江・出雲、製造業)
- ・片側1車線のため、時間に余裕があるプライベートの場合は使っているが、業務でのルートとして使っていない。(松江・出雲、製造業)
- ・贅沢をいえば片側2車線化を望む。片側1車線は事故に弱い点が最大の弱点といえる。(松江・出雲、製造業)
- ・片側1車線については、国道54号に比べれば全く問題ない。(松江・出雲、建設業)
- ・片側1車線では定時性が確保できない(遅くなる)片側2車線化で定時性が更に高まる。(雲南、農林水産業)
- ・片側1車線がもう少しなんとかならないか。(備北、農林水産業(観光施設運営))
- ・高齢者からは、運転するのが怖いという意見がある。後ろから煽られて、避けたら側溝に落ちたという人もおり、高齢者には安心感が無い道路となっている。(備北、観光施設)
- ・片側1車線のため、遅い車がある場合などは詰まる時があり、思ったように時間が短縮できないことがある。坂道では登坂車線があると良い。(尾道・世羅、卸売業)
- ・中央分離帯がポール1本のため、対向車と接触の危惧がある。(尾道・世羅、卸売業)
- ・時間が読めることがメリットだが、遅い車があると時間が遅くなる。ゆずり合いレーンができるとストレスが減る。(尾道・世羅、卸売業)
- ・片側1車線はたまにゆっくり走る車があると辛い。(尾道・世羅、農林水産業(観光施設運営))

<生活道路化への懸念>

- ・高速道路は少額でも有料化することで、日常利用者の過度の乗入れを抑制し渋滞緩和に寄与すると思う。(松江・出雲、建設業)

<冬季通行止めの減少>

- ・冬季の雪の通行止めについては、できるだけ減らして欲しい。通行止めがあると、「中国やまなみ街道は冬季に通行止めになることがある」とインプットされ、物流ルートとして使わなくなる。(雲南、農林水産業)
- ・問題点は特にないが、冬場の通行止めは困る。(備北、建設業)

<安全面の要望>

- ・トンネル入口に黄色い円柱が置いてあるが、車幅が狭くなり危ないため、撤去して欲しい。(尾道・世羅、卸売業)

②広島空港へのアクセス

中国やまなみ街道から広島空港へのアクセス（広島中央フライトロード整備）への期待について、広島県内だけでなく、山陰からも要望する意見があった。

- ・出雲・米子便が高いため、松江から岡山空港を利用する人も。広島空港は遠い印象があるが、無料の高速道路で繋がれば、岡山空港の代わりに広島空港を使う人が出るだろう。（松江・出雲、建設業）
- ・松江・出雲から広島空港まで無料の高速道路で行けるようになれば、広島空港利用も増えるのではないかと。連絡バスなどがあれば更に良い。（松江・出雲、製造業）
- ・広島空港は国際線や札幌便を利用。フライトロードができれば、山陰の周遊観光や東京便利用にメリットがあるだろう。（松江・出雲、宿泊業）
- ・広島空港のアクセスは改善して欲しい。現在の高速道路を使うルートは、事故や渋滞のリスクがある。多少時間がかかっても良いので、時間が読めるルートができると良い。（広島、卸売業）
- ・所要時間等の情報が事前に分かれば良い。（尾道・世羅、卸売業）
- ・フライトロードが中国やまなみ街道に直結していると、もっと分かりやすく、（遠方からのバスの運転手からルートについて問い合わせがあった際に）道案内がしやすくなる。せめて世羅町のフルーツロードに直結してもらえないか。吉舎インターチェンジや世羅インターチェンジから、広島空港の案内看板を設置するだけでも分かりやすくなると思う。（尾道・世羅、農林水産業（観光施設運営））
- ・フライトロードが繋がれば、職人に行ってもらいやすくなるので東広島の仕事を取りに行くことができるようになる。（備北、建設業）
- ・中国やまなみ街道とフライトロードが繋がればとても良いと思う。現在までの開通区間は知らない人にとっては分かりにくい。（備北、農林水産業（観光施設運営））

③山陰自動車道への期待

松江・出雲地域を中心に山陰のネットワークの拡大を希望する声が多く、港日常的な物流を担う事業者などにおいて、高い整備要望を確認。
整備効果として、雇用範囲の拡大効果、観光客流動の変化（萩との連携）、九州を商圈と捉えた事業拡大等の意見あり。

- ・島根県内には自県産の生鮮食料品を求める声が多く、浜田までの山陰道開通には大きな影響がある。（雲南、農林水産業）
- ・現在、島根の東部と西部を結ぶ物流は少ない。山陰道開通により、西部の産品も東部に入ってくるなど、物流の増加を期待。（雲南、卸売業）
- ・現在、萩まで4時間かかるところが、山陰道ができると観光客の動きが変わり、萩も周遊圏内となる。萩は世界遺産にもなり、まちも変わってきている。（松江・出雲、宿泊業）
- ・山口県、中国道まで繋がると九州へのルートができる。距離の壁が低くなり、九州を新たな商圈と捉える業者も出てくる。（松江・出雲、建設業）
- ・萩・津和野まで繋がれば、更に広域的な観光ルートを遠方の旅行会社に提案できることになり、ありがたい（尾道・世羅、農林水産業（観光施設運営））
- ・山陰道ができると、大田が通勤圏内になるなど雇用範囲の拡大に繋がる（松江・出雲、製造業）

- ・鳥取県内は大体の目途が付いた。島根県内では、既に暫定片側1車線で整備された区間の片側2車線化が課題として挙げられる。(松江・出雲 行政機関)
- ・山陰エリアは、地震の少ない地域であり、中国やまなみ街道をはじめとする交通インフラが整備されるなど企業立地向上に向けた条件面が整ってきたと言える。(松江・出雲 調査機関)
- ・圏域ごとに広域消防本部があり、救急医療体制の側面からみてもこの生活圈ネットワークは重要な意味を持つ。B/Cばかりでなく、こういった視点も重要。(松江・出雲 行政機関)

④その他

- ・三刀屋木次インターチェンジは、無料区間が終わるところであり、降りたところに物流センターを作ると利用価値が大きい。(雲南、卸売業)
- ・いつ有料になるのか、という問い合わせがあるなど、無料、直轄という点は一般の人には分かりづらいのではないかと。(備北、農林水産業(観光施設運営))
- ・道路はできたが、バス路線ができていない。福山から東城へのバス路線はあるが、中国やまなみ街道を通る福山から庄原へのバス路線が無い。(備北、農林水産業(観光施設運営))

3. 企業ヒアリング調査により得られた波及効果まとめ

前項までに報告した企業ヒアリング調査による中国やまなみ街道全線開通後の企業活動等への影響、今後の意向等についてまとめると、以下のとおり整理される。

中国やまなみ街道全線開通による効果・影響	利用状況	・松江・出雲、備北、尾道・世羅等、各エリアの事業者から、中国やまなみ街道全線開通に伴い、物流ルートの変更や行動範囲・事業範囲が拡大した等の声があった。
	在来国道より良くなった点	・開通前と比べた変化として、時間短縮、定時性、ドライバーの疲労軽減の3つが挙げられたほか、物流面・防災面での効果を挙げる声があった。
	取引先・商圏の拡大	・中国やまなみ街道全線開通に伴い、取引先・商圏の拡大や営業範囲の拡大が行われたという声が多く、観光関連の営業範囲や観光客の移動範囲も拡大しているという声があった。
	雇用範囲の拡大	・高速道路整備による通勤圏の拡大を効果として挙げる企業も多く、特に無料の高速道路であることが日常的な通勤に利用しやすい点として評価を得ている。
	マイナス効果	・中国やまなみ街道全線開通のマイナス面として、地元小売業の落ち込み、限定的な効果を挙げる意見があった。
企業が立地する沿線地域での変化	心理的距離の短縮	・全線開通に伴い、実際の時間短縮効果も相まって、山陽と山陰との心理的距離が短縮したという声があった。
	他地域との連携・交流機運の高まり	・協議会設置やイベント開催等、沿線の他地域、特に県境を越えた広域連携の動きを実感する声が多数。
中国やまなみ街道全線開通に伴う今後の事業展開	新たな事業展開への意向	・今後の意向として、中国やまなみ街道沿線に留まらず、広域的な視点に立った事業展開の意向を示す企業があった。
	新規顧客の開拓	・商圏・取引先範囲の拡大に伴い新規顧客の開拓を図る意向がある企業は多く、そのサポートとしてビジネスマッチング等の機会の創出が期待されている。
	協業・連携先企業の開拓	・中国やまなみ街道の全線開通を契機として、沿線事業者同士の連携を模索する動きがみられ、観光面では広域連携による営業活動へと展開している。
中国やまなみ街道の利活用にあたっての要望・期待	安全面への配慮	・片側1車線による渋滞、事故リスク、事故や積雪時の通行止めリスクの改善を求める意見が多く挙がっている。
	広島空港へのアクセス	・中国やまなみ街道から広島空港へのアクセス（広島中央フライトロード整備）への期待について、広島県内だけでなく、山陰からも要望する意見があった。
	山陰自動車道への期待	・松江・出雲地域を中心に山陰のネットワークの拡大を期待する声が多数。 ・整備効果として、雇用範囲の拡大、広域観光客の増加、九州を商圏と捉えた事業拡大等が期待されている。

第4章 中国やまなみ街道整備による地域経済への波及効果

前章までの調査結果及び平成 25～27 年度調査結果を踏まえ、中国やまなみ街道の整備による地域経済への波及効果及び今後の方向性について、広域、ローカル、地域内のネットワークごとに図 59 のとおり整理できる。本章では、以下の項目ごとに、効果の内容及び今後の方向性について整理する。

図 60 中国やまなみ街道の全線開通に伴う波及効果及び今後の方向性



1. 山陰・山陽間の広域的な人流・物流の拡大

1) 中国やまなみ街道全線開通による効果

(1) 観光ルート of 広域周遊化による集客範囲の拡大

観光施設における中国やまなみ街道全線開通の影響（平成 27 年度調査結果、図 60）をみると、4 割の施設が前年と比べて「良い」と評価し、過半数の施設で入館者数の増加傾向がみられる。集客範囲をみると（図 61）、中国やまなみ街道と中国道、山陽道、しまなみ海道等が接続した高速ネットワーク効果により、陰陽間の人的交流の双方向化が進んでいることがわかる。

また、観光ルートが広域周遊化したことで、近畿や四国・九州など、集客範囲が拡大し、宿泊型ツアーも創出されており（図 62）、しまなみ海道及び中国やまなみ街道沿線の観光協会の連絡協議会が設立されるなど、中国やまなみ街道沿線から他地域への波及がみられる。（図 63）

図 61 観光施設における中国やまなみ街道全線開通の影響（平成 27 年度調査、前年比）

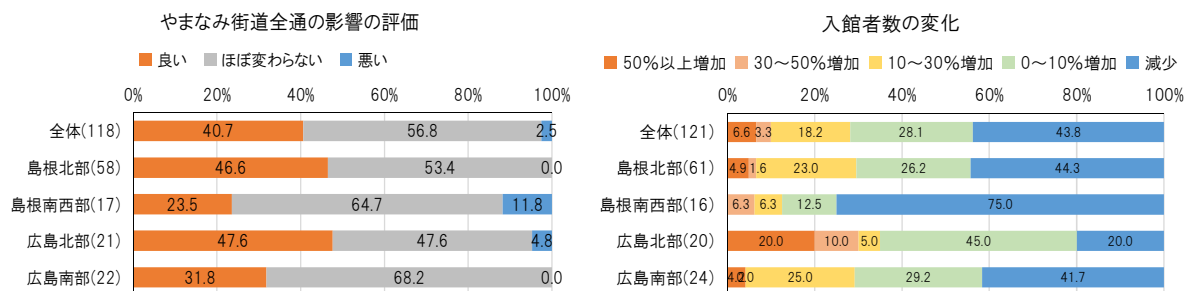


図 62 中国やまなみ街道全線開通による観光施設の集客変化（平成 27 年度調査）

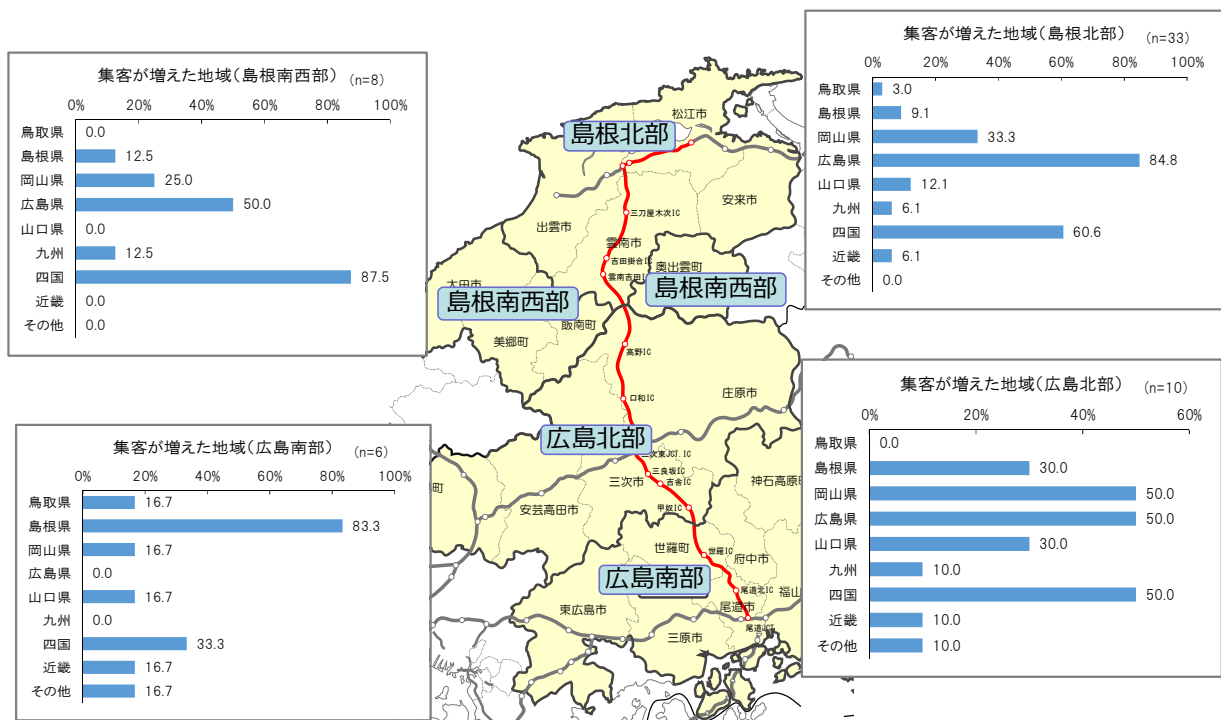


図 63 中国やまなみ街道全線開通による新たなツアー商品（平成 27 年度ヒアリング調査）

■しまなみ街道・中国やまなみ街道往復ツアー



■二つの本四架橋と中国やまなみ街道、岡山米子線により周遊するツアー

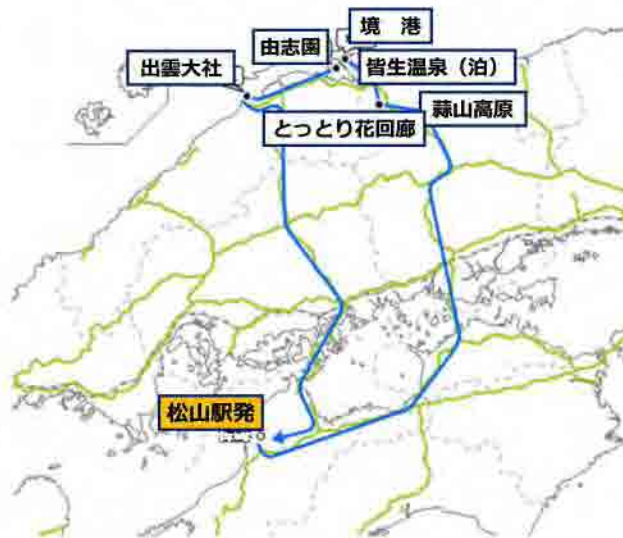


図 64 高速ネットワーク効果イメージ



【参考事例】

しまなみ・中国やまなみ沿線観光協会連絡協議会

- ・中国やまなみ街道（尾道松江線）全線開通を契機に、備後としまなみ・中国やまなみ沿線の 13 観光協会が連携。2015 年 3 月発足。事務局は尾道観光協会。
- ・twitter (@syamanami)、Facebook 等で各地の情報を発信。
- ・各地のグルメ・観光・オスススポットなどをまとめたパンフレット「しまなみ スタンプまっぷ」を発行。スタンプを集めるとプレゼントに応募ができる仕組みとなっている。



(2) 企業活動における取引先・商圏の拡大

松江道開通時点（H26 調査）と比較すると、全線開通後の中国やまなみ街道の利用率は物流で 7.5 ポイントの増加、営業・出張では 8.7 ポイントの増加となっており（図 64）、山陰・山陽の接続により更なる利用増加がみられる。道路整備後に「取引先・商圏が拡大した」企業の割合を見ると、松江道開通後（H26 調査）の 36.6%から中国やまなみ街道全線開通後（H28 調査）では 40.7%に増加（図 65）しており、約 4 割の企業が中国やまなみ街道の全線開通による「取引先・商圏の拡大」効果を実感している。また、取引先・商圏の拡大先は、松江・出雲や尾道・世羅の割合が多く、中国やまなみ街道の整備により、松江、広島、尾道、福山等、拠点都市間の交流圏が形成されつつある。

（図 66、67、表 9）

図 65 中国やまなみ街道の利用率（図 11、17 再掲）

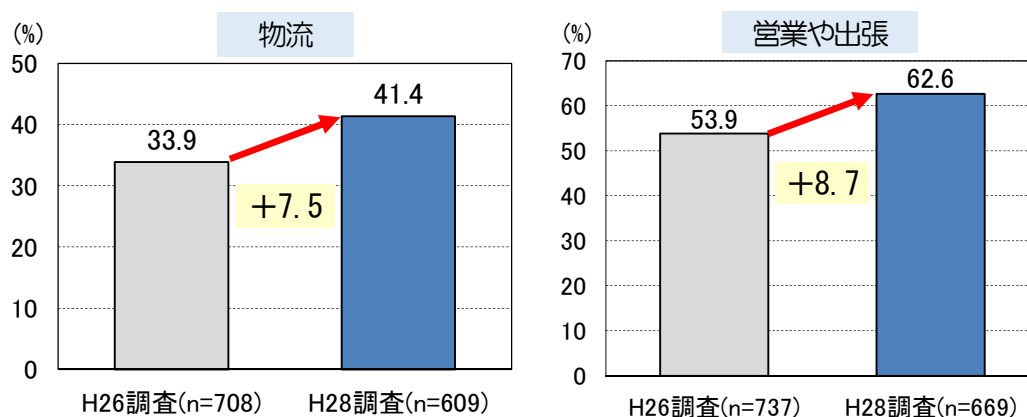


図 66 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔取引先・商圏が拡大した〕

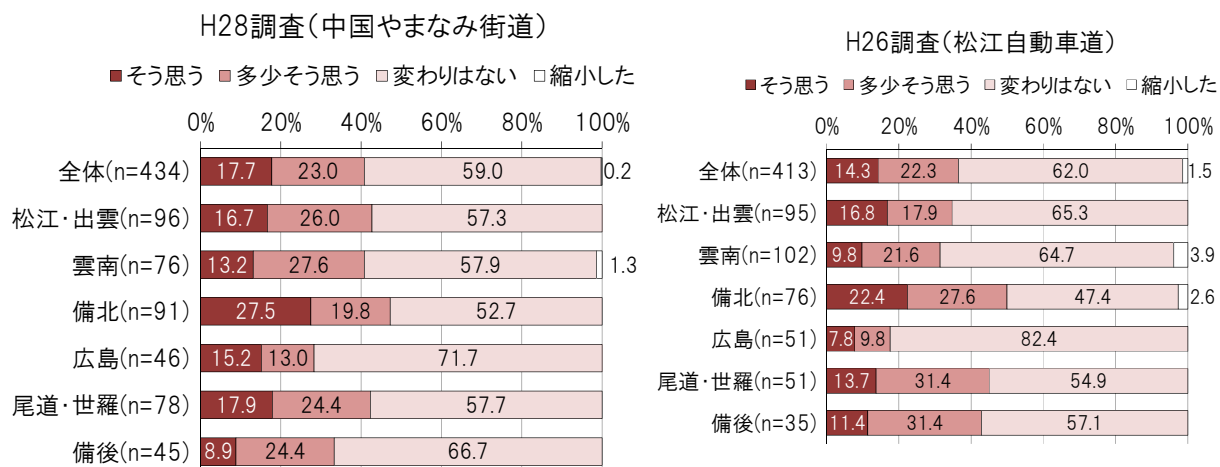


図 67 取引先・商圏の拡大対象地域（図 31 再掲）

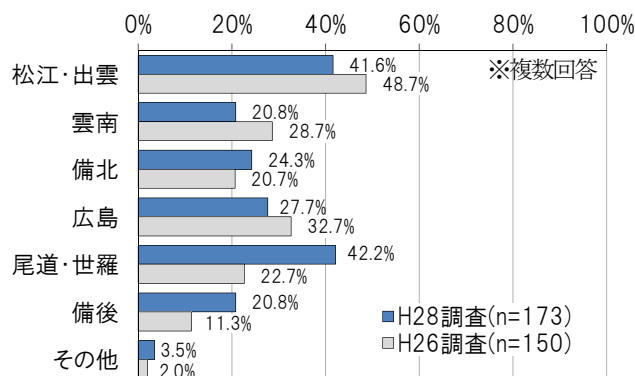


表 9 取引先・商圏が拡大した企業数（表 1 再掲） ※複数回答、所在地不明は除く

H28 調査 (社)

対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲	7	2	7	25	17	12	3	41
雲南	5	6	8	18	9	5	1	30
備北	22	14	11	3	29	13	1	42
広島	12	8	3		1		1	13
尾道・世羅	15	4	10	2	12	5		31
備後	11	2	3		4	1		15
計	72	36	42	48	72	36	6	172

着色凡例

25 以上	20～24	15～19	10～14	5～9	1～4
-------	-------	-------	-------	-----	-----

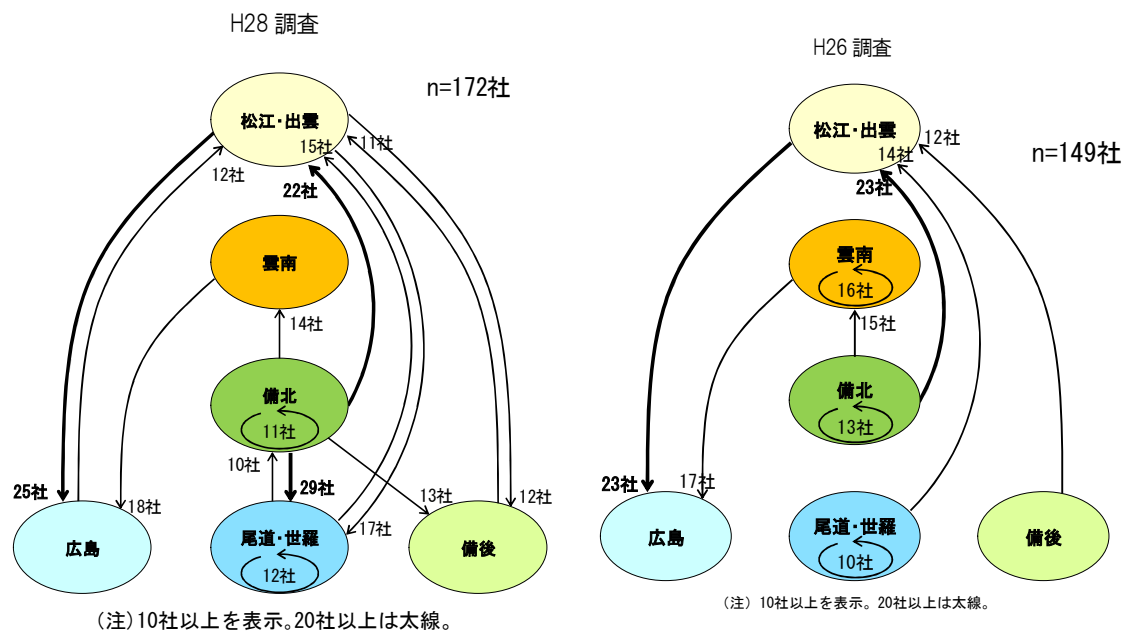
H26 調査 (社)

対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲	6	2	7	23	7	4	3	33
雲南	9	16	5	17	5	4		32
備北	23	15	13	3	6	3		37
広島	9	2		1		1		9
尾道・世羅	14	5	2	2	10	3		23
備後	12	3	4	2	6	2		15
計	73	43	31	48	34	17	3	149

着色凡例

25 以上	20～24	15～19	10～14	5～9	1～4
-------	-------	-------	-------	-----	-----

図 68 取引先・商圏が拡大した地域（エリア別関係図）（図 33 再掲）



2) 今後の方向性

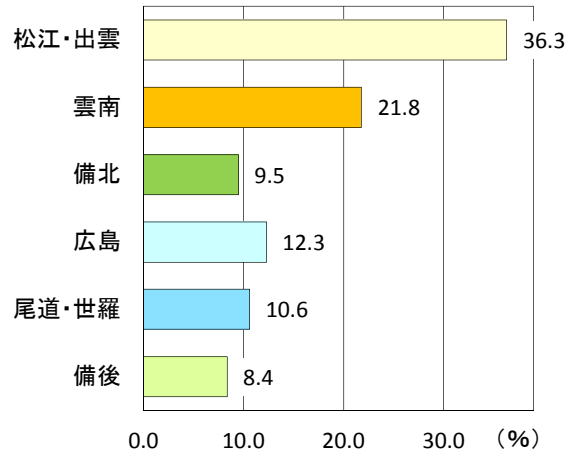
広域的な人流・物流の更なる拡大のため、以下の広域的なネットワーク形成が必要である。

(1) 中国地方の高速道路ネットワークの更なる強化に向けた山陰自動車道の整備促進

企業アンケート調査では、松江・出雲を中心に山陰のネットワーク拡大を希望しており、日常的な物流を担う事業者などにおいて高い整備要望がある。(図 68)

企業ヒアリング調査では、山陰道が整備された効果として、雇用範囲の拡大効果、観光客流動の変化(萩との連携)、九州を商圈と捉えた事業拡大等の意見がみられることから、山陰道整備により中国地方に形成される格子状の幹線道路網を活用し、陰陽間の更なる連携強化を促進、広域的な観光・産業振興の活性化を図る。(図 69)

図 69 山陰自動車道の延伸によるネットワークの拡大への期待度(エリア別)
(n=179)



【企業ヒアリングにおける山陰道整備への期待】

- ・島根県内には自県産の生鮮食料品を求める声が多く、浜田までの山陰道開通には大きな影響がある。(雲南、農林水産業)
- ・現在、島根の東部と西部を結ぶ物流は少ない。山陰道開通により、西部の産品も東部に入ってくるなど、物流の増加を期待。(雲南、卸売業)
- ・現在、萩まで4時間かかるところが、山陰道ができると観光客の動きが変わり、萩も周遊圏内となる。萩は世界遺産にもなり、まちも変わってきている。(松江・出雲、宿泊業)
- ・山口県、中国道まで繋がると九州へのルートができる。距離の壁が低くなり、九州を新たな商圈と捉える業者も出てくる。(松江・出雲、建設業)
- ・山陰道ができると、大田が通勤圏内になるなど雇用範囲の拡大に繋がる(松江・出雲、製造業)

図 70 広域的ネットワークの方向性イメージ



(2) 高速道路ネットワークと各地域の空港・港湾等の連携による、広域周遊ルートの拡大

中国やまなみ街道の全線開通により山陰と山陽が直結するとともに、しまなみ海道を經由して四国とも直結する時代を迎えた。中国地域内の拠点空港・港湾をゲートウェイとして、高速道路ネットワークを活用した地域内各地の物流ルート、広域周遊ルートを形成・拡大し、物流・人流の両面において中国地域内の広域流動化を図る。(図 70)

図 71 広域的ネットワークの方向性イメージ



(3) 広島中央フライトロードの整備による山陰側への周遊ルート形成

広島空港を利用した山陰側への観光客の周遊が考えられることや、山陰側においても広島空港利用意向があることを踏まえ、中国やまなみ街道から広島空港への分かりやすい案内標識の整備や広島中央フライトロードの整備により、広島空港利用圏の拡大、山陰方面の周遊ルート増加を促す。(図 71)

図 72 広島中央フライトロード整備による効果イメージ



2. 沿線の地域振興に関する取組の活発化

1) 中国やまなみ街道全線開通による効果

(1) 新たな道の駅等を拠点とする沿線地域の活性化

平成 25 年 3 月の松江道開通後、道の駅たたらば老番地、道の駅たかの等、松江道沿線及びその周辺の主要観光地で観光客の立ち寄り箇所が増加し、出雲市では神門通りの整備が完了するなど（図 72）、沿線全体での観光客数の増加、滞在時間の増加が図られ、その結果満足度が向上したことが平成 26 年度調査において報告されている。その後、平成 27 年 3 月の尾道道開通に合わせ道の駅世羅が新設され（図 73）、三次市にも農産物販売拠点「トレッタみよし」が整備されるなど、沿線地域において観光情報拠点、物販拠点等が更に充実した（図 74）。

全線開通効果として、ハード面の充実に加え、沿線の道の駅を地域特産品の販売拠点と位置付け、地元生産者が連携した域内バリューチェーン（農産品生産・加工・販売・PR等）を構築することにより、品質の高い野菜や地元の特産品を活かした商品開発・ブランド化が進展し、地元農業が活性化した効果があるなど、道の駅等が地域のローカルハブとしての役割を果たしながら地域毎の特色を活かした取組を展開している。

図 73 出雲市における観光客及び観光地整備の状況

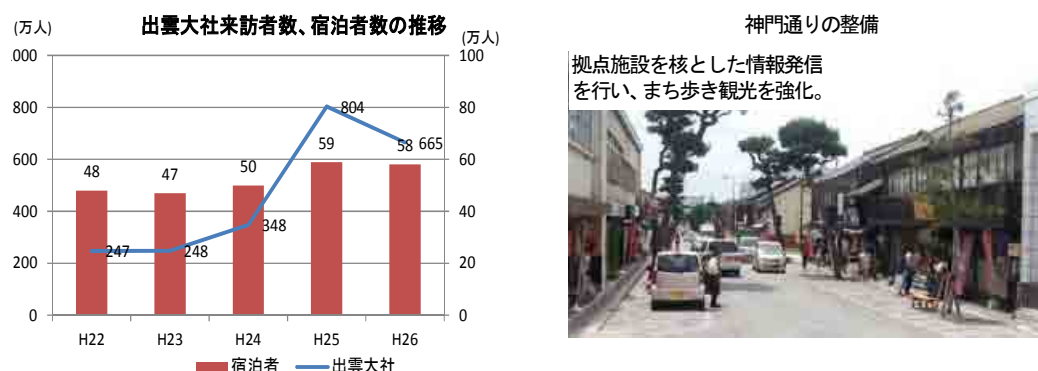


図 74 中国やまなみ街道沿線の道の駅等の整備状況



図 75 三次市東酒屋地区における観光機能の集約状況

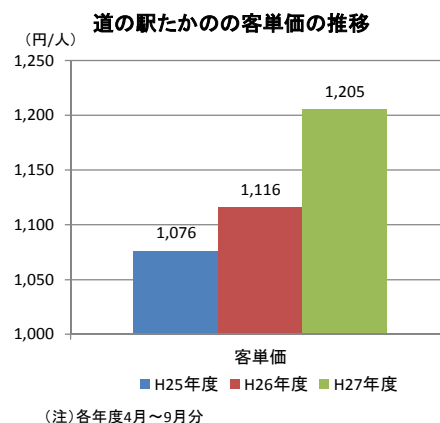


(2) 移住促進、安心・安全、観光振興などでの広域連携の展開

道の駅での雇用増、販売拠点整備による農業従事者の所得増等により沿線地域への移住促進施策の展開、雲南消防と備北消防間で松江道の交通事故時における相互応援協定の締結など、地域の安全・観光に関する広域連携の動きが生まれている。

【参考事例】地元産品の販売拠点「道の駅たかの」

- 中国やまなみ街道沿いの道の駅たかのでは、高速道路開通及び道の駅開業を地域活性化のチャンスと捉え、開通の5年前から地元で団体（高野地域づくり未来塾）を設立し、道の駅で販売する特産品を開発する「高野の逸品100プロジェクト」等を行った結果、農業従業者や加工業者の所得向上、雇用創出を生み出している。
- 平成26年時点における雇用状況は正社員とパートで41名、アルバイト10名。約8割が地元（市内）雇用となっており、リピーター客の増加・対面販売の導入などにより、年々客単価が増加している。（平成27年度調査結果）



2) 今後の方向性

整備された地域拠点を活用し、更なる地域振興を図るため、以下の取組が必要である。

(1) 沿線の道の駅等（ローカルハブ）による地域毎の特色を活かした取組の展開

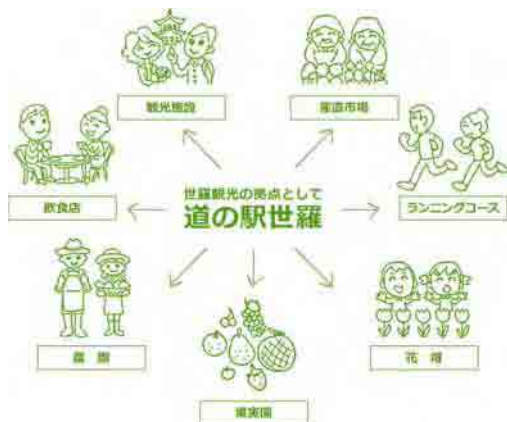
SA・PAを持たない無料の高速道路における道の駅等の担う役割として、各地域のローカルハブとして観光情報拠点機能が期待される。道の駅等を地域の観光情報拠点として活用し、関係施設等と連携した周遊促進施策を展開する。(図 75)

図 76 道の駅を起点とする周遊イメージ



【参考事例】情報発信基地「道の駅世羅」

○道の駅世羅では、世羅町観光協会が指定管理者となり、「情報発信基地」をコンセプトとして観光案内所「せらインフォメーションカウンター」を設置し、観光コンシェルジュによる対面案内などコミュニケーションを重視するなど、世羅の観光施設や産直市場、飲食店などを周遊する拠点としての役割を担っている。



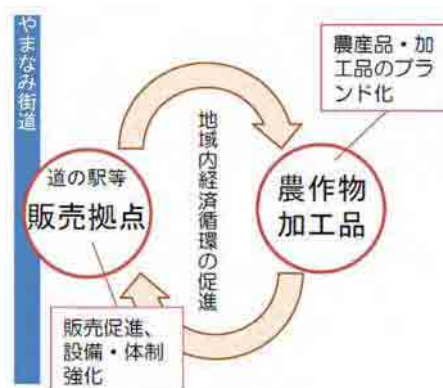
(出典) 平成 27 年度調査結果、道の駅世羅ホームページ

(2) 地域の農作物・加工品のブランド化、販売促進などによる地域内経済循環の促進

道の駅等に期待される地域産品の販売拠点機能、農産品生産、加工、販売、PR等について地元が連携して取り組む視点が求められる。販売拠点での地域産品の販売拡大を起点に、生産誘発(農業生産・加工品製造増加)、Iターンなど新規参入者の雇用等による地域内経済循環の促進を図る。

(図 76)

図 77 道の駅を起点とする地域内経済循環



(3) 高速道路(中国やまなみ街道)に並行する在来国道沿線地域の活性化に向けた取組推進

高速道路ネットワークから距離的に離れた地域においては、既に道の駅等の拠点施設を中心として、地域密着型のサービス提供(地域食材を活かしたバイキング、地域高齢者向けの食事宅配サービス等)や、一般道を活用した広域観光ルート形成等の差別化を行うことにより、地域活性化を推進する。

【参考事例】地域密着サービス提供・・・高速道路に並行する在来国道沿線の各道の駅

○中国やまなみ街道に並行する在来国道沿線の各道の駅では、地元利用者向けのサービスやイベントを強化し、リピーターの増加による活性化を図っている。

〔道の駅とんぼら〕
とんぼらの里山で遊ぶ会が
冒険の森を整備



(出典) 平成 27 年度調査結果

〔道の駅クロスロードみつぎ〕
広いテラスは地域の人々の
交流空間としても活用



〔道の駅ゆめらんど布野〕
地域向けサービスとして
宅配サービス(食事等)を実施



【参考事例】一般道を活用した広域観光ルート形成・・・道の駅掛合の里

○道の駅掛合の里では、民間運送会社が新規事業への参入という形で、レストラン・物販・緑地の指定管理者となっており、同様に指定管理を受けている「道の駅たたらば壺番地」と一体的な人員活用を行っている。日本一のパワースポットの場所として雑誌・テレビなどで紹介された須佐神社を經由して出雲大社を訪れる観光バスルートの立ち寄り地となり、松江道開通時に3割減少した来客数が中国やまなみ街道全線開通時に1割増加に転じている。



(出典) 平成 27 年度調査結果



3. 沿線の経済活動の拡大、交流・連携の進展

1) 中国やまなみ街道全線開通による効果

(1) 中国やまなみ街道を活用した営業範囲の拡大

中国やまなみ街道の整備効果として、「移動時間の短縮」「所要時間の見通しの立てやすさ」「ドライバーの疲労軽減」といった効果は高く評価されており、沿線企業では物流効率や顧客・取引先への訪問効率が向上するなどの効果が発現し、様々な業種で営業範囲が南北に拡大した。

(2) 沿線の産業・企業の連携活性化

松江道開通に合わせ、松江商工会議所と尾道商工会議所、また福山商工会議所との間で、産業交流が開始し、企業視察、ビジネス交流会、ビジネスマッチング商談会等が開催され、継続して実施されている。また、尾道・松江・松山・今治での合同会頭会議の開催等、新たな広域連携に進展がみられるなど、経済圏域を越える産業・企業交流が盛んになっており、山陰・山陽、四国間の交流促進策がより具体化した。

【参考事例】

ビジネスマッチング 商談・展示会 in 松江

〇ものづくり企業を中心に、中海・宍道湖・大山圏域内外から幅広くエントリー（無料）を募り、企業間の取引拡大、連携強化を図る山陰最大級の「商談・展示会」。中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会が主催。平成 28 年度は 11 月 16 日（水）に、くにびきメッセ大展示場で実施（6 回目）。

(3) 沿線における工業団地開発の加速

中国やまなみ街道に接続する山陰自動車道斐川 I C 近傍では出雲斐川中央工業団地が造成されるなど、高速道路ネットワークの結節点を中心に工業団地開発が加速した。

中国やまなみ街道の整備に先行して整備された尾道市の尾道流通団地は完売し、三次市では 3 社が企業立地するなど、中国やまなみ街道の整備に合わせて沿線に進出した企業は延べ 133 社、約 3,900 人の雇用創出につながっている。（図 77）

図 78 中国やまなみ街道沿線の企業進出数



【参考事例】出雲斐川中央工業団地の造成

- 〇出雲市では、出雲斐川中央工業団地を造成（約 5ha、H27 年竣工）。
- 〇出雲空港から車で 15 分、山陰自動車道斐川 I C から 3 分の距離にあり、交通アクセスに優れる。
- 〇製造業を中心に流通業も含め問い合わせは多い。

（資料）出雲市資料、ヒアリング記録



2) 今後の方向性

整備された高速道路ネットワークを活用した沿線の経済活動の拡大、交流・連携の推進のため、以下の取組が必要である。

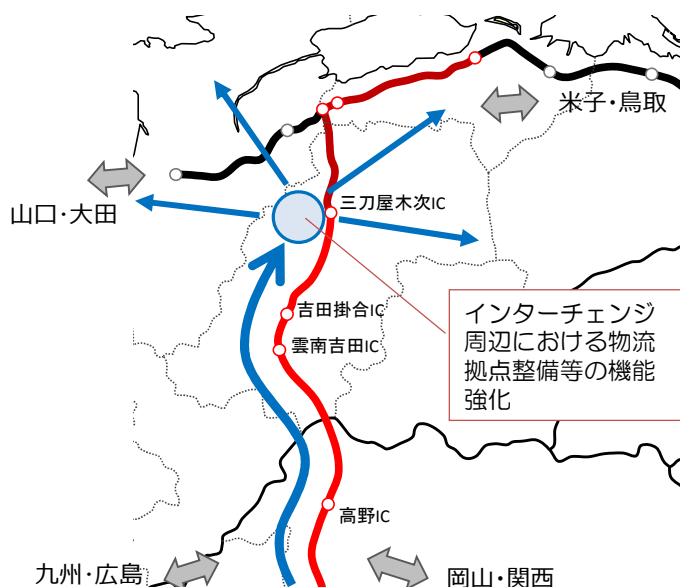
(1) インターチェンジ周辺への企業誘致、物流拠点・工業団地等の整備促進

中国やまなみ街道と山陰道・中国道・山陽道が結節するインターチェンジの近隣(例:三刀屋・三次等)において、高速道路ネットワーク効果を活かした物流拠点整備や企業誘致を促進する。

(図 78)

特に、大都市圏では首都圏直下型大地震や南海トラフ大地震等による大規模災害の発生懸念が高まっており、大企業を中心として企業のBCP(事業継続計画)の観点からの事業所再配置の動きがあることを踏まえた企業誘致が求められる。中国やまなみ街道沿線においては、大規模地震発生の可能性が相対的に低いことや、姫路鳥取線、岡山米子線、広島浜田線が並行して開通している状況にあり、リダンダンシー(多重性)の条件を備えていることを活かし、企業誘致による沿線地域の活性化を推進する。

図 79 物流拠点整備による機能強化イメージ



(2) 高速道路整備を契機とした新たな事業拡大、事業連携の活性化

ヒアリング調査によると、中国やまなみ街道沿線の農林水産業者(養鶏業・卵販売)では、高速道路開通を契機として沿線の同業他社との連携を進め、相互にWin-Winの関係を築いている事例がみられる。

今後、互いの強みを活かせる連携・協業パートナーとの関係強化が必要であり、中海・宍道湖・大山圏域と尾道・福山地域との経済交流の一層の推進が求められることから、他地域との交流・セミナー等の活用により、沿線企業(主に中小規模事業者)に対する事業拡大の支援(ローカルネットワークの構築)を推進する。また、沿線企業間の事業連携に向けた商談会等、企業マッチング・コーディネートを促す。

セミナー、商談会等の開催



(3) 暫定片側1車線区間に対する安全対策の促進

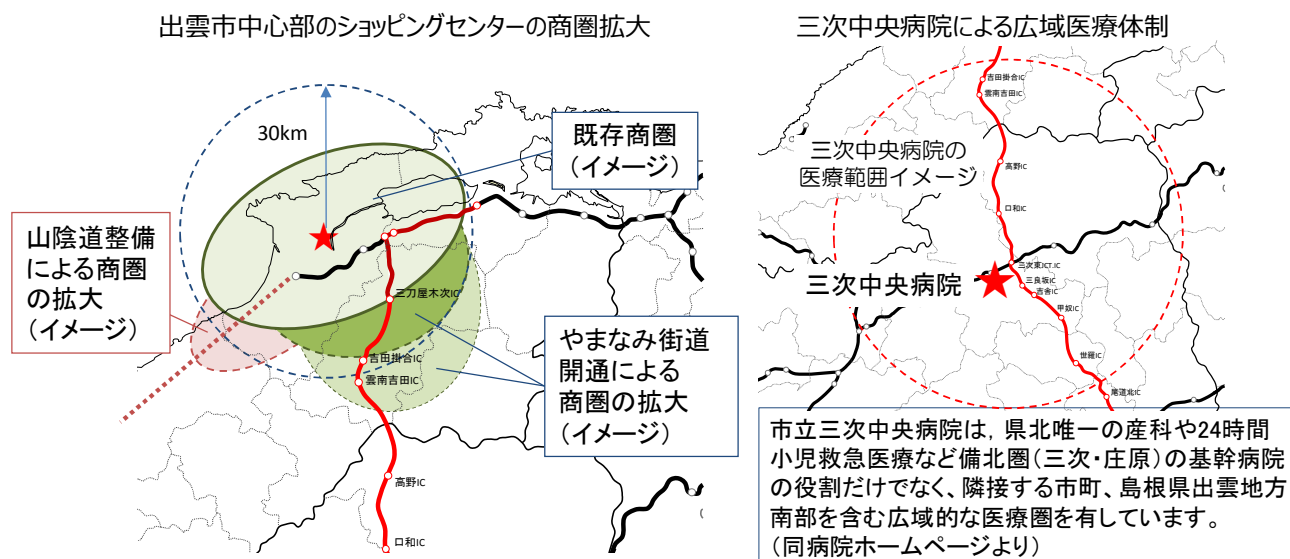
企業の物流活動を担う中国やまなみ街道において、付加車線や中央分離帯の強化、除雪基地の整備等、暫定片側1車線区間の安全性向上に向け取り組む。

4. 中山間地域における地域内ネットワークの拡大

1) 中国やまなみ街道全線開通による効果

中国やまなみ街道の全線開通に伴い、高速料金無料の特性を活かして高速道路 I C を起点とした交通アクセスが向上したことにより、通勤圏、医療圏、買物圏等の地域内ワークは同高速道路に沿って南北軸を中心に拡大した。(図 79)

図 80 買物圏・医療圏の拡大イメージ



2) 今後の方向性

沿線の中山間地域においては、高速道路整備効果を積極的に捉えた中山間地域の居住促進に向けて、以下の取組が必要である。

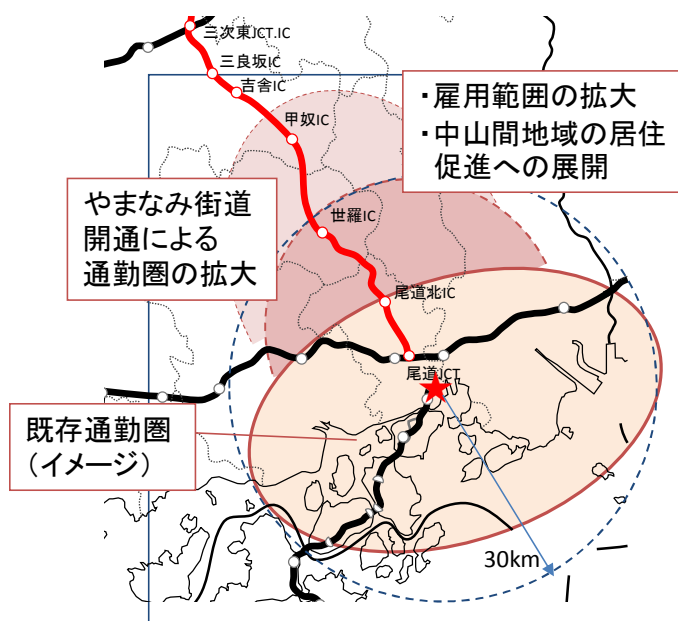
(1) 日常生活圏の拡大効果を積極的に捉えた中山間地域の居住促進への展開

「高速料金無料」の特性を活用した日常生活圏の拡大効果を積極的に捉え、移住・定住に向けたPR等、中山間地域への居住促進施策を展開する(図 80)。例えば雲南市では農園付き住宅をアピールするなど、地域の特性を活かした定住政策が推進されているところであるが、このような沿線地域の特性を活かした取組を進める。

(2) 通勤圏の拡大を活かした雇用範囲拡大(雇用確保)

無料の高速道路による通勤圏拡大メリットを活かし、中国やまなみ街道沿線の立地企業において広域からの通勤者確保を図るなど、雇用範囲の拡大を促進する。(図 80)

図 81 中山間地域の居住促進・雇用範囲の拡大イメージ



参考資料

○詳細グラフ集（本編に記載していないグラフ）

- ①中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（項目別・エリア別）
- ②中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（項目別・業種別・エリア別）
- ③取引先・商圈が拡大した企業数・地域（卸売業、小売業、飲食業、農林水産業）

○自由記述一覧

（問 10 中国やまなみ街道の利活用による産業活性化を図っていく上でのご意見）

○企業アンケート依頼文書・調査票

（中国やまなみ街道の全線開通が企業活動等に与える影響に関するアンケート調査）

○詳細グラフ集

①中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（項目別・エリア別）

図 82 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔物流効率が向上した〕

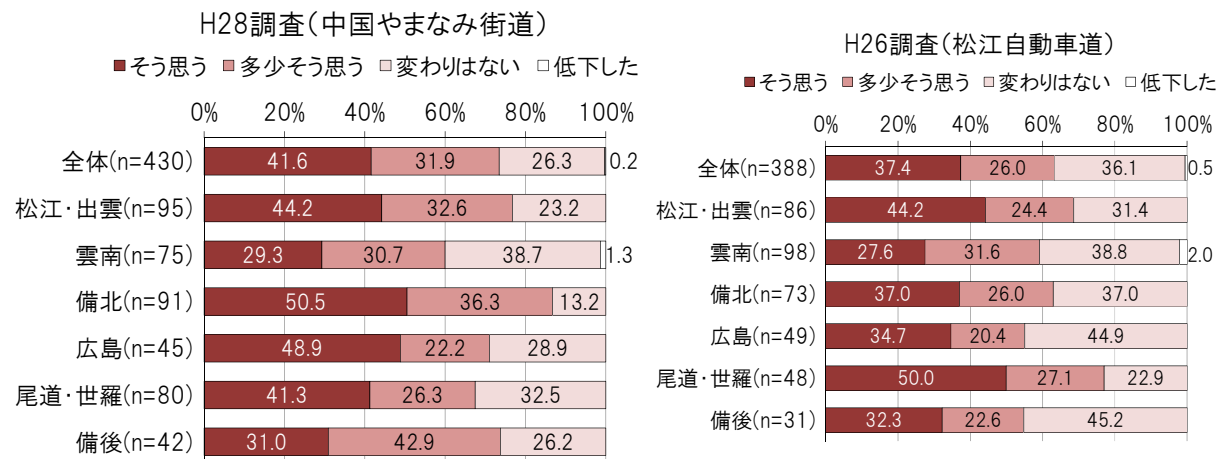


図 83 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔顧客・取引先への訪問効率が向上した〕

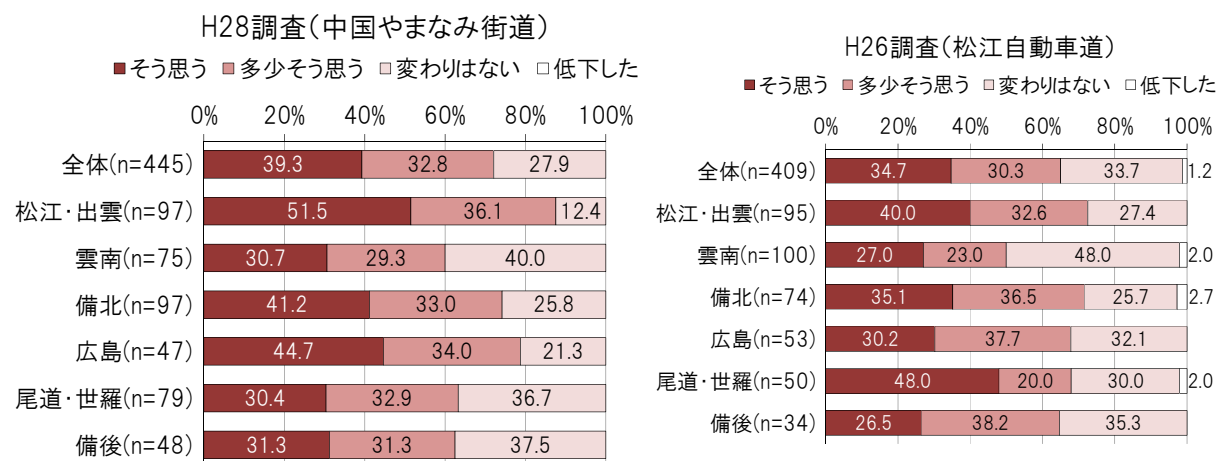


図 84 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔取引先・商圏が拡大した〕

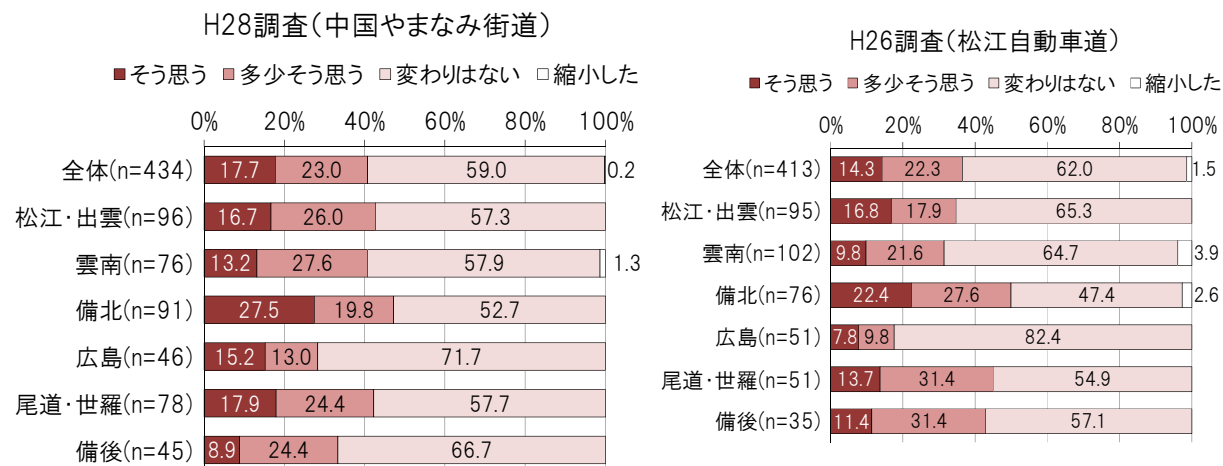


図 85 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔商談・見学等の来訪者が増えた〕

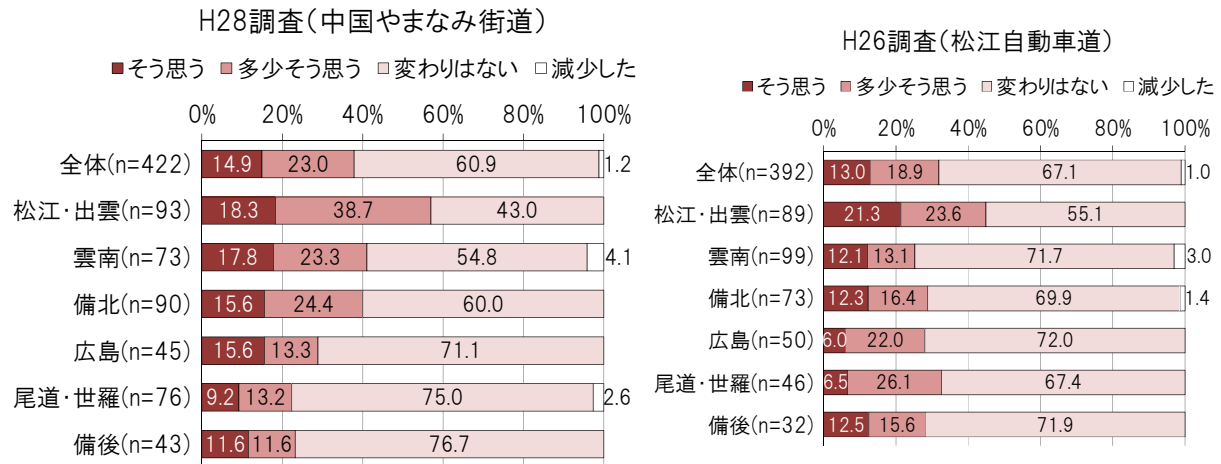


図 86 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔他社との競争が高まった〕

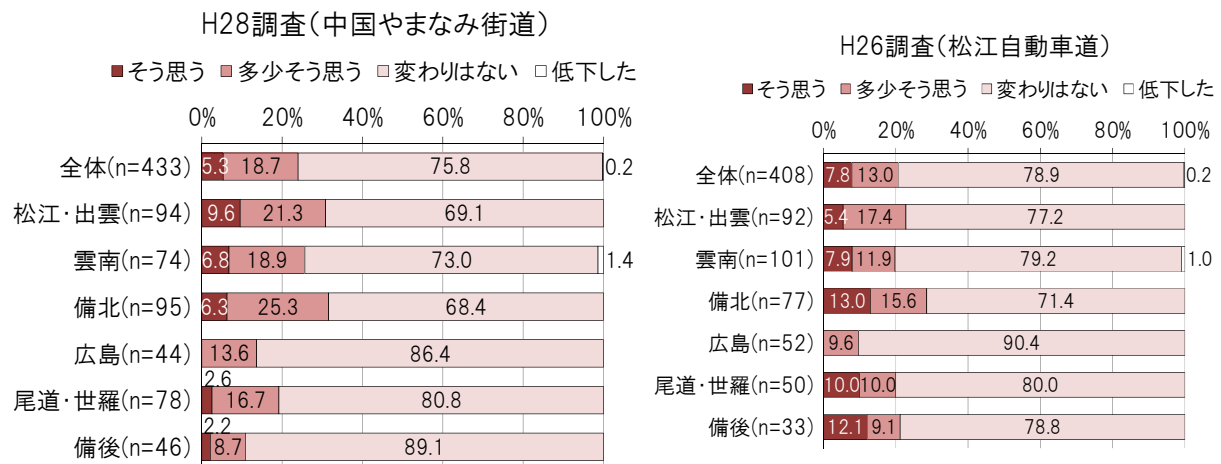


図 87 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔販売・売上げが増加した〕

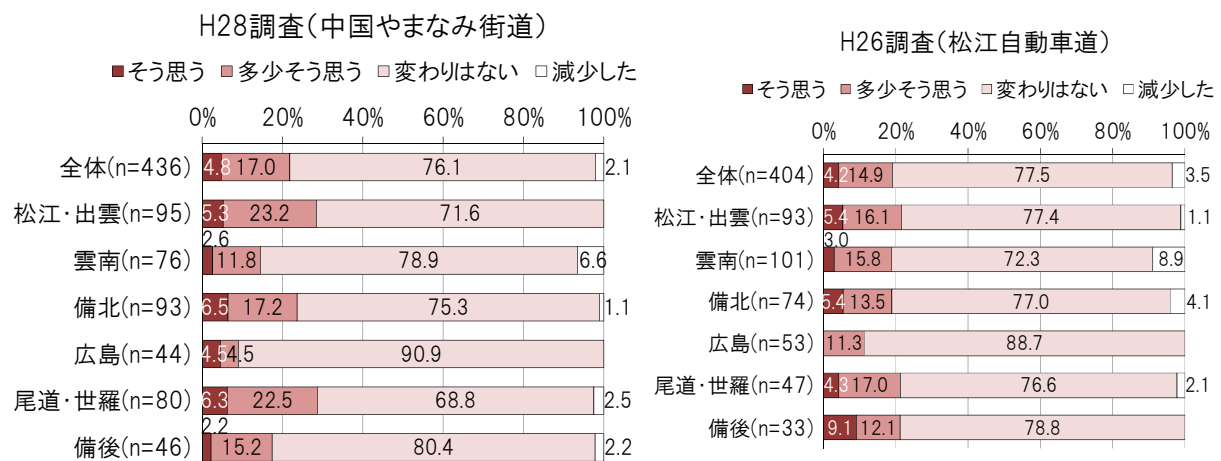
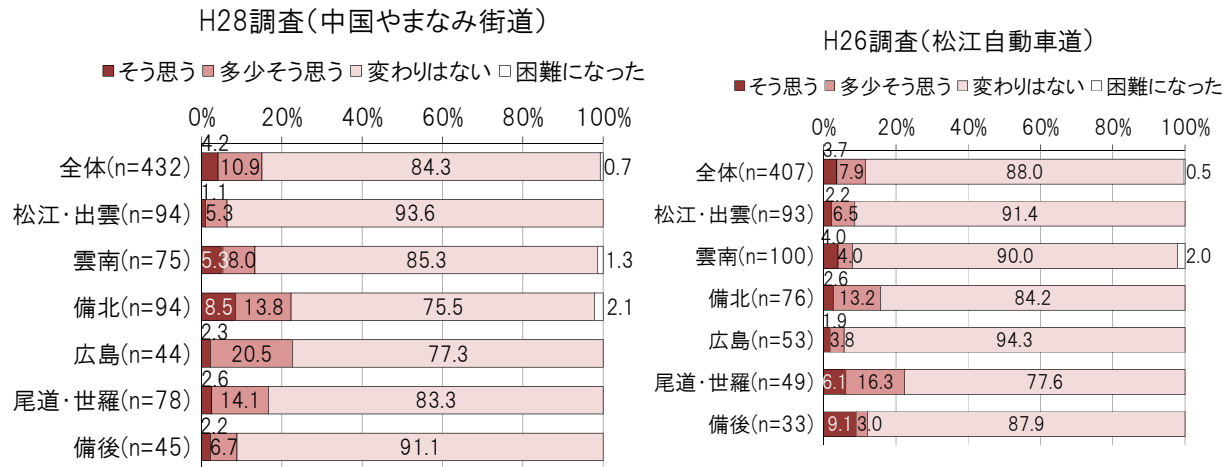


図 88 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔通勤圏が広がり人材確保が容易になった〕



②中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（項目別・業種別・エリア別）

図 89 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔商談・見学等の来訪者が増加〕「そう思う」×業種

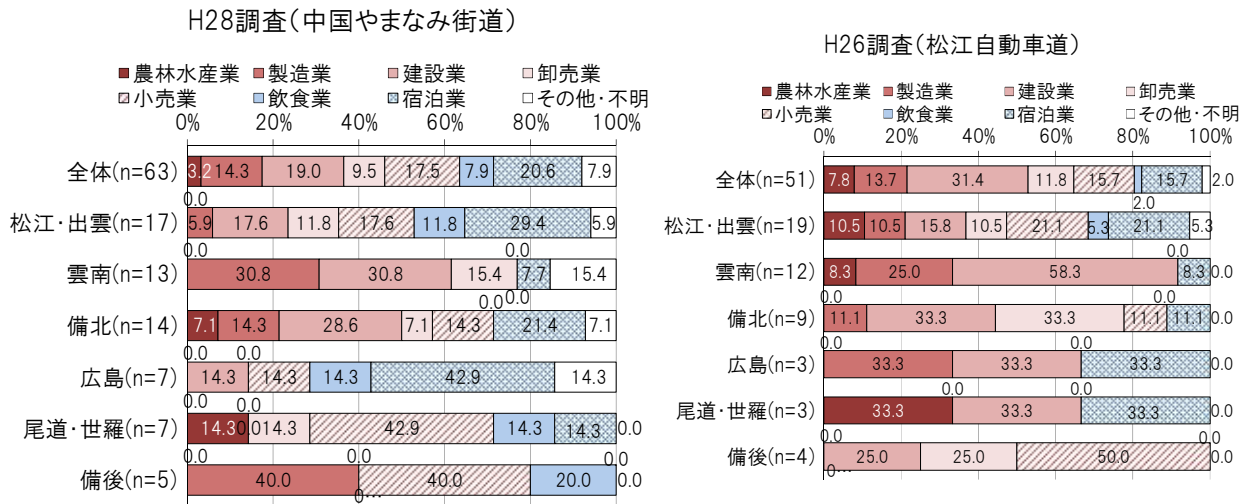


図 90 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔他社との競争が高まった〕「そう思う」×業種

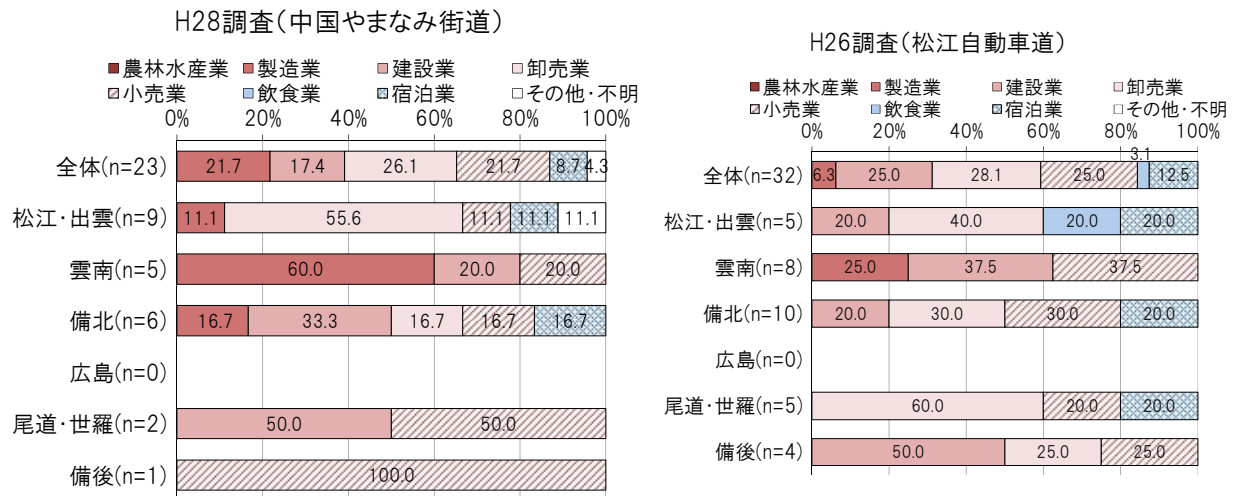


図 91 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔販売・売上げが増加〕「そう思う」×業種

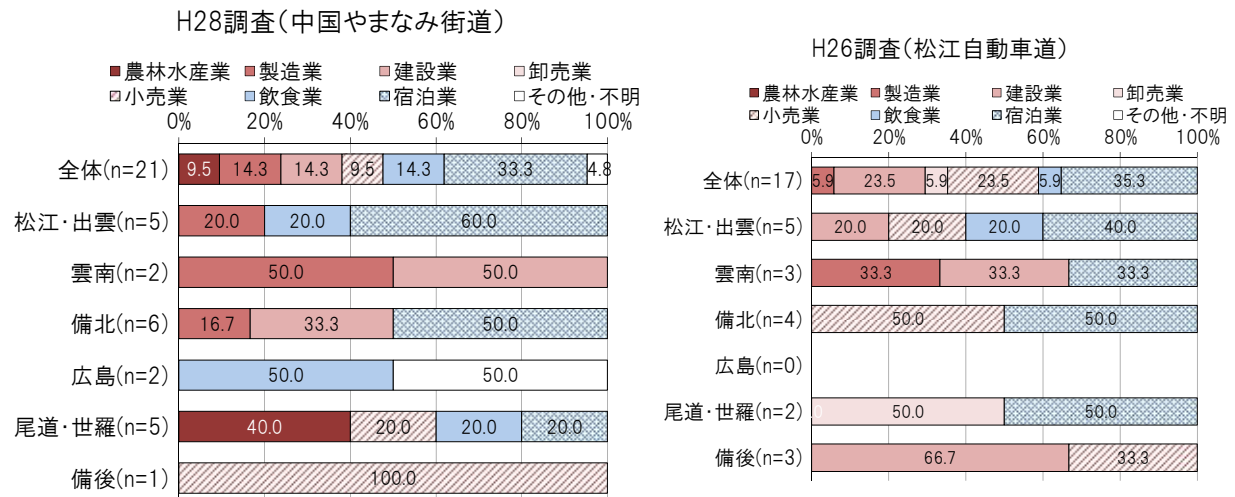
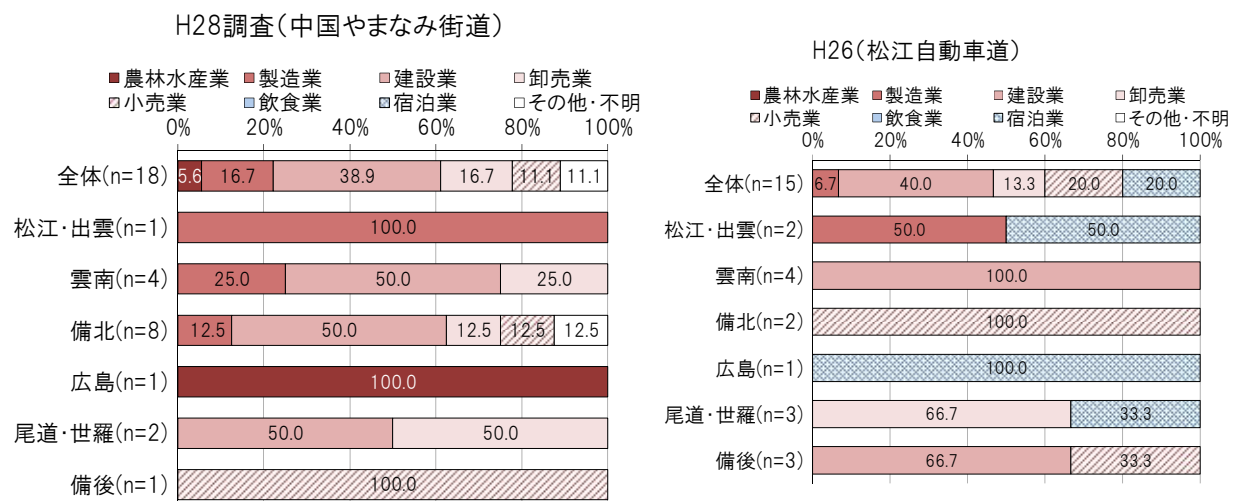


図 92 中国やまなみ街道の利用による事業活動への効果・影響（エリア別）
〔人材確保が容易になった〕「そう思う」×業種



③取引先・商圈が拡大した企業数・地域（卸売業、小売業、飲食業、農林水産業）

表 10 取引先・商圈が拡大した企業数（卸売業）

H28 調査		(社)						
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲		1	1	1		1		4
雲南			1	2	1			2
備北	2	1			2			3
広島								0
尾道・世羅	2		4		2			5
備後	3	2	2		2			5
計	7	4	8	3	7	1	0	19

着色凡例	6 以上	5	4	3	2	1
------	------	---	---	---	---	---

H26 調査		(社)						
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲	3	1	1	3				6
雲南	1	2		1				2
備北	3	3	1	1	1			4
広島								0
尾道・世羅	7	2	1	1	5	3		12
備後	2		1		1			3
計	16	8	4	6	7	3	0	27

着色凡例	6 以上	5	4	3	2	1
------	------	---	---	---	---	---

図 93 取引先・商圈が拡大した地域（エリア別関係図・卸売業）

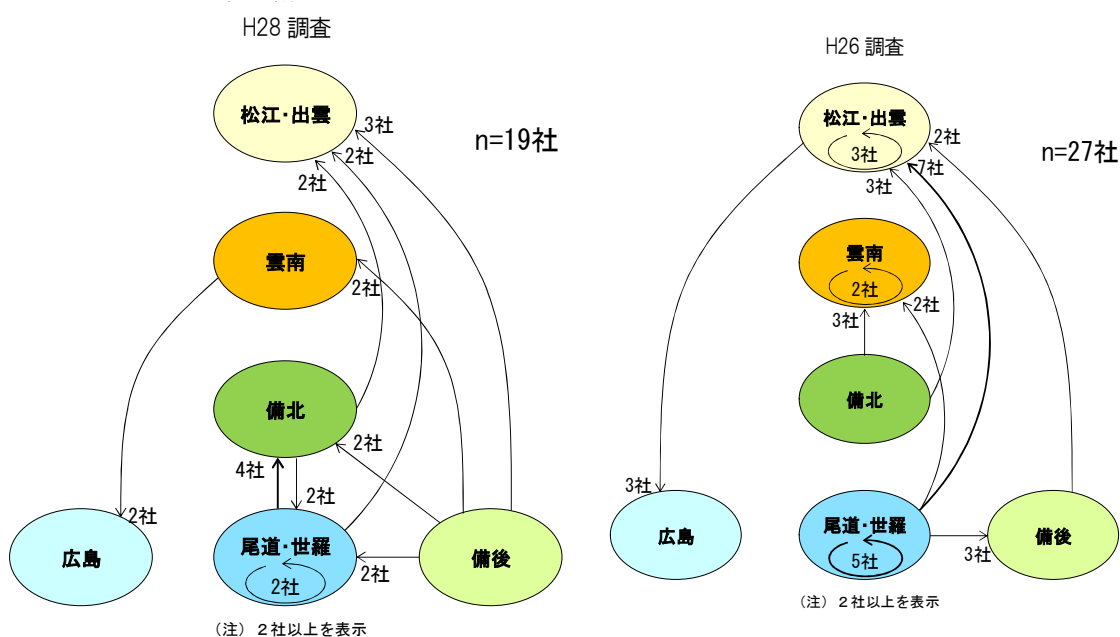


表 11 取引先・商圏が拡大した企業数（小売業）

H28 調査								(社)
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲				3	1			3
雲南	1	3						3
備北	2	3	3		5	3		8
広島	2	1	1					2
尾道・世羅	2	1	2		2	1		4
備後	6				1			6
計	13	8	6	3	9	4	0	26

着色凡例	6以上	5	4	3	2	1
------	-----	---	---	---	---	---

H26 調査								(社)
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲		1	2	1	1	1		3
雲南	1	2		2				3
備北	2	3	3		1			6
広島	2	1		1		1		2
尾道・世羅			1		2			2
備後	3				1			4
計	8	7	6	4	5	2	0	20

着色凡例	6以上	5	4	3	2	1
------	-----	---	---	---	---	---

図 94 取引先・商圏が拡大した地域（エリア別関係図・小売業）

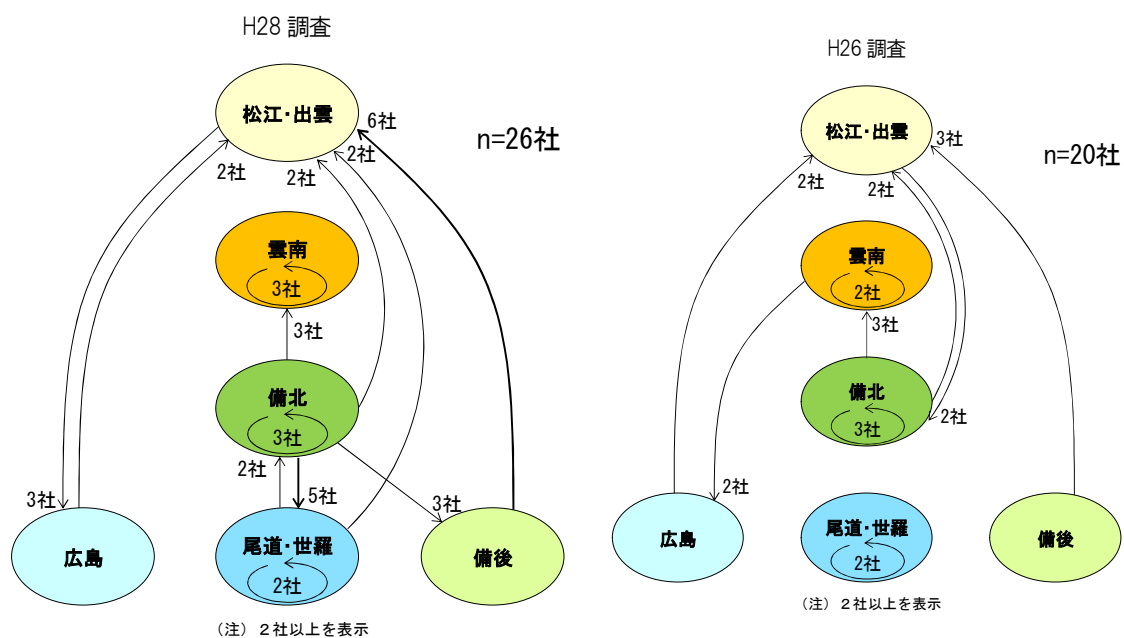


表 12 取引先・商圈が拡大した企業数（飲食業）

H28 調査								(社)
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲	1				1		1	2
雲南			1					1
備北	1	1			1	1		2
広島	1	1						1
尾道・世羅	2	1			2			3
備後					1			1
計	5	3	1	0	5	1	1	10

着色凡例	6以上	5	4	3	2	1
------	-----	---	---	---	---	---

H26 調査								(社)
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲			1	1	1	1		1
雲南	1	1		1				1
備北	2	2						2
広島	1							1
尾道・世羅								0
備後								0
計	4	3	1	2	1	1	0	5

着色凡例	6以上	5	4	3	2	1
------	-----	---	---	---	---	---

図 95 取引先・商圈が拡大した地域（エリア別関係図・飲食業）

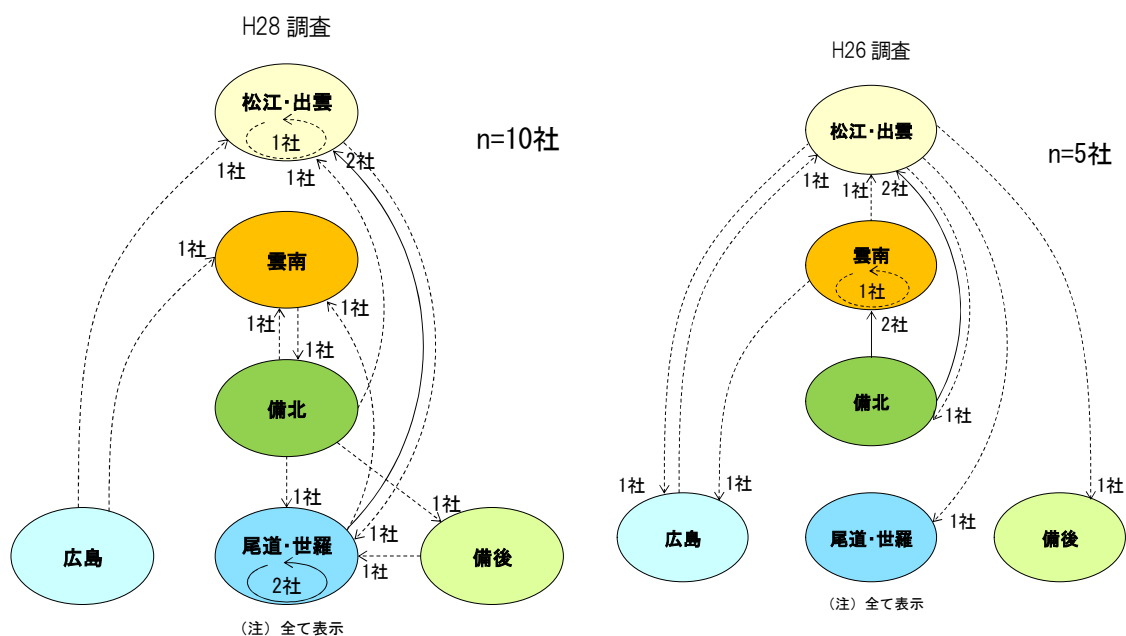


表 13 取引先・商圏が拡大した企業数（農林水産業）

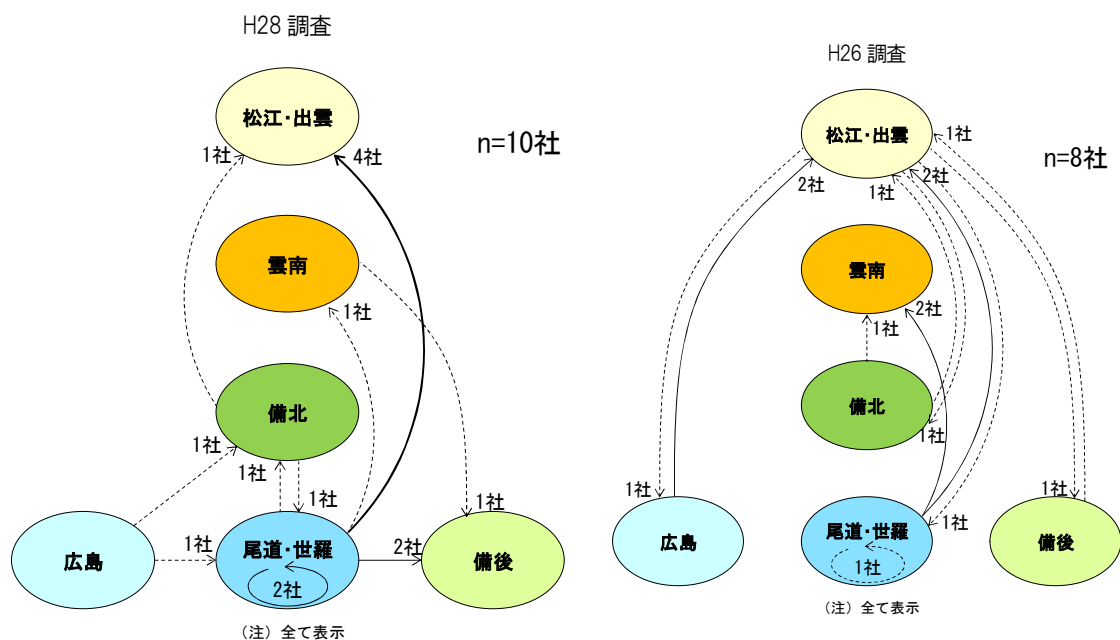
H28 調査		(社)						
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲								0
雲南						1		1
備北	1				1			1
広島			1		1			1
尾道・世羅	4	1	1		2	2		7
備後								0
計	5	1	2	0	4	3	0	10

着色凡例	6以上	5	4	3	2	1
------	-----	---	---	---	---	---

H26 調査		(社)						
対象地域 回答企業	松江・ 出雲	雲南	備北	広島	尾道・ 世羅	備後	その他	回答数
松江・出雲			1	1	1	1		2
雲南								0
備北	1	1						1
広島	2							2
尾道・世羅	2	2			1			2
備後	1							1
計	6	3	1	1	2	1	0	8

着色凡例	6以上	5	4	3	2	1
------	-----	---	---	---	---	---

図 96 取引先・商圏が拡大した地域（エリア別関係図・農林水産業）



○自由記述一覧（中国やまなみ街道の利活用による産業活性化を図っていく上でのご意見）

ご意見		エリア	所在地	業種
高速道路救済備	事業としては、観光客・ビジネス関係者の飲み会が増えました。個人的に広島に行く時使っていますが、片側1車線は重大事故が発生しやすいので、片側2車線化をお願いします。	松江・出雲	松江市	飲食業
	高速道路の片側2車線化が急務で有料化をしてでも早期実現して頂きたい。無料であるためだれでも利用し（高齢者）逆走事故等が発生している。又、片側2車線でないため正面衝突の事故も多発しているので考えてほしい。四国松山道への早期開通も大事だと思う。松山まで3.5時間以内になれば相当な経済効果が有ると思う。このGW、四国からのお客様は大変多くなっていますが便利になったため日帰りの方も多くなっていると思います。		松江市	飲食業
	片側2車線化は必須です。		安来市	製造業
	中国やまなみ街道は、現在追い越し車線が三刀屋～三次間に4か所しかありませんので、2車線化が早期に実現することを希望します。	雲南	雲南市	建設業
	サービスエリア又は道の駅のコンビニ等、休憩を重点に置いた施設が必要。豪雪時の通行止不安の解消。早期片側2車線化。		雲南市	農林水産業
	弊社は、島根県奥出雲町内で生コンクリートの販売を営んでいます。中国山脈の麓の立地の為、降雪量も多く、今年も吉田掛合IC・高野IC間が1～2日除雪の為閉鎖となり、資材の調達に若干の不安が残りました。さらに、ゴールデンウィーク等の大型連休時には、三次東JCTあたりから高野ICはもちろん吉田掛合ICまで渋滞をしております。事故・災害時（原発事故等を含）の事を考えますと大変不安に思うところです。また、民間発注の大規模工事も少なく、80%以上が公共事業の出荷に頼っております。県土木等の発注も激減し経営的にも大変苦しい状況です。以上の事から、休憩施設等の充実、早期片側2車線化を切望いたします。		奥出雲町	製造業
	山陰と山陽を結ぶ大動脈となったことは間違いないが、途中でSA、PAがないのは不便に感じる。ガソリンスタンドもなく、給油の心配もある。中山間地域を通るため、途中で携帯電話の電波が届かない地域があり改善してほしい（三次東～口和間）。対面通行が危険。	広島	坂町	卸売業
	片側1車線（対面通行）の解消。		府中町	建設業
	産業活性化とは関係ないが、高速道路の片側1車線は心理的負担が大きい。自車の故障時への対応不安や、後続車の圧迫不安などでしまなみ街道を回避することが多くなった。	尾道・世羅	尾道市	小売業
	対面通行の解消を進めてほしい。時間が読めないのも。		尾道市	建設業
	追越車線が少ない。速度が50km/時、60km/時とのろのろ走る車が時々あり、高速の意味がない。		世羅町	建設業

ご意見		エリア	所在地	業種
高速道路整備	追越車線を増やす。特に御調⇔世羅、吉舎⇔三次間。	尾道・世羅	世羅町	農林水産業
	追越車線の拡充をお願いします。		世羅町	農林水産業
	サービスエリア（休憩所）の設置をお願いしたい。		世羅町	小売業
	山陰に行くのが非常に便利になった。片側1車線につき低速度車対策（追越車線）の増設を求めたい。尾道北と世羅間のICが1つほしい。		世羅町	農林水産業
	広島県側にも降りなくてすむ休憩所があれば良い。	備後	福山市	卸売業
	対面通行は雪の多い地域では事故につながる確率が高い。事故の回避、避難がむずかしい。	備北	三次市	建設業
	片側2車線化による利便性の向上。		三次市	建設業
	片側2車線化を至急御願います。		三次市	卸売業
	事故が多く、走行の際に不安が大きいので早期の片側2車線化を進めてほしい。冬場の対策も同様に安心して走行出来る様にしてほしい。空港とのアクセスを急いでほしい（フライトロードの延伸）。		三次市	建設業
	対面通行及び高所を通っているため、事故・災害発生時に避難場所や逃げる場所がない様に思われます。対面通行はとても恐く、改善を求めたい。インター入口の本線から降りる車とパーキングエリアから本線へ戻る車が交差し、非常に危険だと思います。改善を求めます。		庄原市	小売業
	これだけ交通車両が増えて、交通人口が増大していますので対面通行ではなくて全区間片側2車線化を強く要望いたします。		庄原市	製造業
	①対面通行である（片側2車線でないので時間がかかる。事故が心配です。）②サービスエリア等（トイレ）が少ない③大雪等（特に山陰に行く場合）通行止めの不安有り。		庄原市	建設業
	片側1車線のため、事故等の時には大変に困る時がある。（冬期、雪による事故の原因もある）		庄原市	小売業
	修繕や片側2車線化などの計画はもちろんですが、中国やまなみ街道は将来的にも通行が安心かつ安定していることが必要と考えます。沿線の盛り上がりも継続的にあるべきで、そのためにも道路が50年先も確実に存在するというような安心感が欲しいです。		庄原市	宿泊業
	地域住民が使い易いように簡易のICでもいいので増設してほしい。ETC車載器のみ通行可のような。		庄原市	農林水産業

ご意見		エリア	所在地	業種
料金問題	山陰道・米子道等近隣幹線有料道路の無料化。	雲南	雲南市	製造業
	全線無料化。		飯南町	建設業
	全線を無料化にしてほしい。交通事故防止の為に片側2車線化の早期着工をお願いします。雲南吉田 IC と高野 IC との間に奥出雲インターの増設をお願いしたい。奥出雲町へのお客の誘致看板を設置してほしい。奥出雲町のお客は開通から激減している。その為に地元へ降りやすいインターを早期に着工してほしい。地元から他地区へのアクセスは良くなった。		奥出雲町	建設業
	無料なのがいい。どうせなら全線無料でしたらもっと活発に働くと思う。	尾道・世羅	尾道市	宿泊業
	接続する山陽道の無料化。		尾道市	建設業
	通行料金を無料ではなく有料にして道路の保守を確実にすることにより安全で快適な通行が永久に続く高速道路であってほしい。又、国道を利用するか高速道路を利用するか選ぶことで国道沿線と国道の衰退を少しでも防ぐことが良いと思う。		尾道市	農林水産業
	高速料金の有料化にしてサービスエリア等をつける。	備北	三次市	農林水産業
高速道路利用	組合としての利用は現在ではない。プライベートでは利用することもある。	広島	広島市	農林水産業
	観光の時は便利になりました。仕事も便利になりました。売上げ増にはなりません。なぜなら人口が増えませんか。	尾道・世羅	尾道市	卸売業
	中国道とのクロスポイントとなる利便性の具体的なPR活動が必要かと思います。	備北	三次市	建設業
	三次東 JCT の合流地点が危なく、合流時にとまどう。		三次市	建設業
	三次市内、島根ナンバーが増加している事から利用客が多くなったと思います。良い事と感じております。		三次市	建設業
	仕事での利用はありませんが、ドライブ等気軽に利用させていただいています。やまなみならではのイベントがあればうれしい。		庄原市	建設業
	企業活動では使用していませんが、プライベートで利用したという話を社員からよく聞きます。（私も使用します。）		安芸高田市	建設業
一般道路整備	出雲ー三刀屋・木次 IC（斐伊川沿い）間の道路整備。	松江・出雲	出雲市	飲食業
	アクセス道路の改良が必要です。	雲南	奥出雲町	建設業
	国道2号のバイパス沿いに接続していただきたい。また、フライトロードと接続していただきたい。	尾道・世羅	世羅町	農林水産業
	インター入口までの道路改良。	備北	三次市	農林水産業

ご意見		エリア	所在地	業種
道路情報・標識	「尾道北」インターの表示が迷いやすい。取引先から苦情がある。	尾道・世羅	尾道市	卸売業
	甲奴インターより上下町約10kmへの高速道路の道標など、上下町への案内板を希望します。	備後	府中市	小売業
	山陽道・その他の標識・看板類の表示を「尾道・松江道」から「中国やまなみ街道」へ切り替えて行く事から始めて、まず「しまなみ街道」との繋がりをイメージした意識付けのPRなら、すぐ対応できるのではないかと。	備北	三次市	小売業
	逆走車の高速への侵入を止める、侵入できないようなゲート等の設置をしてほしい。定期パトロールによる、最低速度、最高速度、車間距離などの取り締まり。高速から下りるときの合流車線の優先有無（どちらが優先なのか）の道路標示。		庄原市	小売業
観光振興	島根県への観光客増加を望みます。	松江・出雲	松江市	飲食業
	中国やまなみ街道周辺には季節ごと地域ごとでも特徴のある食物・農産物・公園・山々など自然などが多くあると思います。春夏秋冬で周辺の穴場を紹介したパンフレットを作成して下さい。山陰、山陽、四国と交流の場となるよう期待します。		松江市	小売業
	出雲〜尾道までの移動時間が短縮されたことにより、尾道へ行ってみようとは思いますが、尾道やその周辺の情報がほとんど入って来ないのが現状です。お互いの情報を共有しあうのがまずは大事かと思います。今後の発展・改善を期待しております。		出雲市	卸売業
	通行中に大自然の山・川・町・名所等の表示があれば楽しいと思います。	雲南	雲南市	製造業
	広島・宮島・岩国を結ぶ観光圏というアクセスで考えると、中国やまなみ街道をどう利用して、観光客の移動をするのが課題です。山陰と山陽を結ぶという点では便利になりましたが、尾道・福山から山陰を結ぶルートが渋滞するので、渋滞緩和の方法が問題点です。レンタカーに頼るしか方法がないので、バスの場合（広島駅→三次→松江）は18便運行ですが、尾道経由はなしです。	広島	廿日市市	宿泊業
	その地域でしか買えない物や観られない物をアピールして、それぞれの地域へ足を運んでもらえる様な魅力作りを期待しています。やまなみとしまなみ、とても素晴らしい街道（海道）だと思います。自然を大切に、調和を大切に。よろしくお願いします。	備後	三原市	宿泊業
農林水産振興	鮮魚出荷について現在松江市場、境港市場の出荷となっているのを瀬戸内地区へのお荷が出来れば（JFしまねとの協業）経営の安定化に繋がるのではと期待する。	松江・出雲	松江市	農林水産業
	物流時間削減によって鮮度を保ったまま広域エリアに島根県産（日本海産）の良質な魚を全国に届けることができるような道路であって欲しい。		出雲市	農林水産業
	山陰の魚を原材料とした食品製造を実現出来たらと思っております。色々コスト面で困難と思慮致します。	尾道・世羅	尾道市	飲食業

ご意見		エリア	所在地	業種
企業誘致	雲南市など、行政側に物流がわかる人が少ないため、せっかくこのようなすばらしい道路がついて、しかもインターまで作られているのに、その活用がきわめて不十分である。産業活性化のチャンスにきついていると思う。無料区間が終了する三刀屋インター付近は、物流センターや大規模な産直市などの立地に最適であり、早急な対応が必要と思われる。	雲南	雲南市	卸売業
	企業の誘致を図っていく。	備北	三次市	建設業
その他の産業振興	物流のターミナルを運送会社共同で作っていただければもっと商品の取扱いがよくなると思いますが、資本が無ければ不可能です。例えば松江まで国道等を利用して運送会社まで荷物を取りに行くより、中国やまなみ街道を使って（無料区間）三次まで行った方が急いでいる荷物は早く受け取れるような気がします。	雲南	雲南市	卸売業
	書店業にかかわる者として、書店が減少するなかで街道沿いの店舗で期間限定の臨時書店がオープンできないかと考えます。中高年層の活性化の一つです。	尾道・世羅	尾道市	小売業
地域経済の沈滞化	不便な地区がより不便に、過疎がより過疎に。なんらメリットなし。	雲南	飯南町	農林水産業
	やまなみ街道のほとんどが無料区間である為、人の流入が松江、出雲に集中している（島根の場合）。中山間地域の切り捨てに思えてならない。高速道路網の拡充は必要であるとは思いますが、それを利用するのは料金を支払うべきである。		奥出雲町	小売業
	当地域は、国道 314 号沿いの山間地です。奥出雲町は、広島県と接しており、冬期はかなりの降雪もあります。さて、やまなみ街道の開通により、国道 54 号同様、国道 314 号は特に週末や祝日の交通量が激減いたしました。出雲市、松江市は交流人口がかなり増加している様ですが、この地域は逆です。少子高齢化に加え、流入人口の減少でとても大変です。（質問の主旨とは異なりますが、現状をどうしてもお伝えしたく記入しました。）		奥出雲町	小売業
	国道 54 号沿いのすたれ方がすさまじい（赤名～掛合）。共存する策を考えねばならぬ。		奥出雲町	製造業
	当社は国道 314 号・432 号沿いに位置し、事業において中国やまなみ街道の影響はほとんど無い。当街道（無料）の開通に伴い特に人流にあっては減少し、地域への影響は甚大です。		奥出雲町	卸売業
	多くの人が中国やまなみ街道を利用しているが、国道 184 号沿いの店やガソリンスタンドなどの利用者は減少している。できれば世羅町内にもっと多くの人が周遊してもらえるよう、世羅インターと甲奴インターの間にもう一つインターを作ってほしい。	尾道・世羅	世羅町	農林水産業
	幹線道路が整備されることは非常に良い反面、当市（安芸高田市）の様にエアーポケット地域では行政の一段の奮起・新たな発想がなければ取り残され沈滞化されていく懸念が非常に大きい。	備北	安芸高田市	製造業

ご意見		エリア	所在地	業種
地域連携	中国やまなみ街道全線開通の効果を一過性のもので終わらせず、将来にわたって継続させ、さらなる地域活性化につなげていくことが大切。そのためには当圏域（中海・宍道湖・大山圏域）が連携して地域の魅力をさらに高めていくとともに、中国やまなみ街道の対面通行（片側1車線）の解消や当街道と接続する山陰自動車道の延伸等によるネットワークの充実・拡大が不可欠である。	松江・出雲	松江市	建設業
	スマートIC等で現在つながっていない地域とつなげていく。人の流れを作らないと産業の発展はない。	雲南	雲南市	製造業
その他	広島空港の活用。	松江・出雲	松江市	宿泊業
	山陰道、出雲－浜田間の早期全通、これにより今以上の効率化・顧客拡大が見込まれる。		出雲市	宿泊業
	広島県内高野（道の駅たかの）より尾道までの間、路線上にトイレがなく不便である。施策的に下道への誘導の方向にあるとは思いますが、雲南市に設置されたような「トイレP」があればより便利と思う。同時に道路沿線情報等あればうれしい。		出雲市	宿泊業
	サービスエリアの増設・充実で他府県からの利用者の増加が見込めるのでは。他の人気があるサービスエリアの内容と比べると県内のサービスエリアの質は数段落ちます。何に特化するのか地域毎に打ち出すべきです。ガソリンスタンドは早急に充実させるべきです。それが安心・安全にもつながるのでは。なれない土地でなおかつローカルのガソリンスタンドを探すのは至難の技です。	雲南	雲南市	小売業
	これからも今のサービスを保持しながら新たなサービスの拡充に取り組んでいただければ幸いです。		雲南市	製造業
	トラックはやまなみ街道は通りません。	広島	呉市	農林水産業
	県東部に限らず西部・南部を直で続ける道を付けてほしい。その上で、県西部・南部から島根までの道路を活用してまちを活性化していきたい。		熊野町	農林水産業
	有料区間を通らず尾道から乗れるといいのですが。	尾道・世羅	尾道市	小売業
	御調と世羅の間、宇津戸にもICが欲しい。		尾道市	卸売業
	SAが少ない		尾道市	小売業
	福山は、新幹線の便も良いことから、中国やまなみ街道の全通により、機能的に陸路（鉄道・道路）の十字路になったと思うので大いにPRしていきたい。	備後	福山市	宿泊業
	取引先が山陰地方には少なく訪問する機会がない。		福山市	製造業
	税金のむだ使いで優先順位をもう少し考えるべきだと思います。		神石高原町	農林水産業
	全て農協経由のため高速道路との関係は直接にはない。	備北	三次市	農林水産業
	交通の便が良くなり通過が多い。庄原まで来ない。		庄原市	飲食業
	仕事はサービス業（自動車整備販売）。仕事柄、広島に出るのが多いのでほかの道はあまり使用したことはない。広島は陸運局へ行くのが多い仕事です。中国やまなみ街道を使うことはほとんどありません。その他の仕事のことは全部三次で済ませます。開通して1回福山まで使用したことがあります。今の所、中国自動車道を使用するのみです。	備北	庄原市	小売業

中国やまなみ街道の全通が企業活動等に与える影響 に関するアンケート調査へのご協力のお願い

各 位

公益社団法人中国地方総合研究センター
広島市中区小町4番33号

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当センターは中国地方の県・市町・企業等により設立された公益法人のシンクタンクとして、中国地方の発展のための様々な調査研究を行っておりますが、平素は当センターの事業活動に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、中国やまなみ街道（中国横断自動車道尾道松江線）は、平成27年3月に全通し、1年を経ました。ご承知のように、ほとんどの区間（図中の赤色の区間）が国の新直轄事業として建設されたため、「無料」で通行できるという特徴があります。

これからは中国やまなみ街道等の高速道路を生かして、企業活動と地域経済の活性化を促進していくことが重要と考えているところです。

こうした観点から、当センターでは平成25年度より中国経済連合会等と連携して調査研究を進めており、このたびその一環として本アンケート調査を実施させて頂くことといたしました。

本調査は、島根県・広島県内の主要企業約2,100社を対象として実施するもので、皆様からのご回答をもとに、地域での開通効果の高め方や今後の交通インフラ整備等について提言していきたいと存じます。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

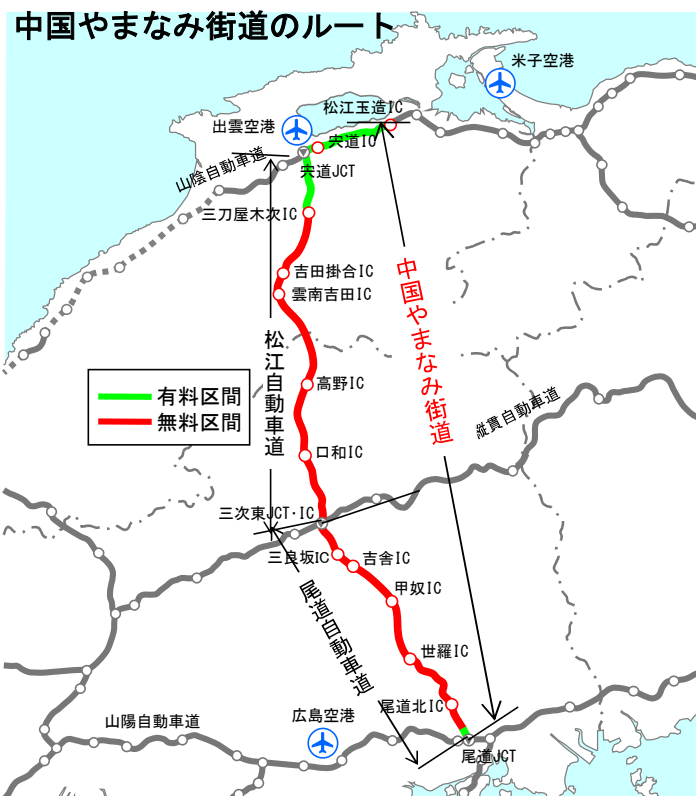
※ 本調査の結果は、当研究センターで集計・分析を行なうとともに、外部に個別データが漏れることのないよう、厳密に管理・保管いたします。また、個人情報は当研究センターの個人情報保護方針（http://www.crrc.or.jp/cs_kojinj.htm）のもと、適切に取り扱います。

【お願い】 返信用封筒(切手不要)にて**平成28年4月30日（土）まで**にご返送ください。

なお、メールでのご回答を希望される方は、お手数ですが次のメールアドレス先にご連絡ください。ワード版のアンケート票を送らせて頂きます。 e-mail : yoshihara@crrc.or.jp (吉原宛)

【お問い合わせ先】

担当：吉原・徳永 〒730-0041 広島市中区小町4-33中電ビル3号館5F
TEL：082-245-7900 FAX：082-245-7629



中国やまなみ街道の全通が企業活動等に与える影響
に関するアンケート調査

問1 貴社の事業において、中国やまなみ街道をこの1年間（平成27年4月～平成28年3月）に利用されましたか？ 利用された場合は利用頻度を合わせてお答えください。

	利用の有無	利用した場合の利用の頻度（最も近いもの一つに○）		
(1)物流 (外部委託の場合も含みます)	1.利用した  2.利用しなかった	1. ほぼ毎日	2. 週に2～3回程度	3. 週に1回程度
		4. 月に2回程度	5. 月に1回程度	6. 年に数回程度
(2)営業や出張	1.利用した  2.利用しなかった	1. ほぼ毎日	2. 週に2～3回程度	3. 週に1回程度
		4. 月に2回程度	5. 月に1回程度	6. 年に数回程度

問1(1)(2)のいずれかで「**利用した**」と回答された方は、以下の問2、問3へ進んでください。
問1(1)(2)とも「**利用しなかった**」と回答された方は、**次ページ**の問4へ進んでください。

問1(1)(2)のいずれかで「**利用した**」と回答された方は、以下の問2、問3へ進んでください。
問1(1)(2)とも「**利用しなかった**」と回答された方は、**次ページ**の問4へ進んでください。

問2 中国やまなみ街道を利用されてみて、開通前の在来国道（国道54号、国道184号等）の通行と比較して、良くなったと思うものに○をつけてください。（あてはまるもの全てに○）

1. 移動時間の短縮
2. 所要時間の見通しの立てやすさ(定時性)
3. ドライバーの疲労軽減
4. (急カーブ・危険箇所等の減少による)走行のしやすさ
5. 交通事故の不安減少
6. 休憩施設の充実
7. 道路情報の充実
8. 積雪時の通行
9. その他()

問3 中国やまなみ街道の利用によって、貴社の事業活動にどのような効果・影響があったとお考えですか？
開通前の在来国道（国道54号、国道184号等）を通行していたときと比較して、お答えください。

(1)物流効率が向上した	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 低下した
(2)顧客・取引先等への訪問効率が向上した	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 低下した
(3)商談・見学等の来訪者が増えた	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 減少した
(4)取引先・商圈が拡大した	<u>1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 縮小した</u> ↓ どのエリアでしょうか？（あてはまるもの全てに○） ① 松江・出雲エリア（松江市、出雲市、安来市 等） ② 雲南エリア（雲南市、飯南町、奥出雲町等） ③ 広島エリア（広島市、呉市、東広島市、廿日市市、大竹市、竹原市、安芸郡等） ④ 尾道・世羅エリア（尾道市、世羅町等） ⑤ 備後エリア（福山市、三原市、府中市、神石高原町等） ⑥ 備北エリア（三次市、庄原市、安芸高田市等） ⑦ その他 （ 都道府県）
(注)エリア名は尾道松江線のルートを考慮し便宜的に設定したものです	
(5)通勤圏が広がり人材確保が容易になった	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 困難になった
(6)他社との競争が高まった	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 低下した
(7)販売・売上げが増加した	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 減少した
(8) その他 （上記以外の効果・影響について、お気づきの点をお書き下さい）	

問4 中国やまなみ街道が全通したことで、貴社が立地する地域にどのような変化があったとお感じになっておられますか？

(1) 2本の幹線道路（中国やまなみ街道と在来国道）の存在により、事業活動上の安心感が高まった	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 低下した
(2) 山陰・山陽間、大都市圏への心理的距離が縮まった	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 低下した
(3) 他地域との連携・交流気運が高まった	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 低下した
(4) 人流・物流が活発になり、地域が活気づいた	1. そう思う 2. 多少そう思う 3. 変わりはない 4. 低下した
(5) その他（上記以外のことで、お気づきの点がありましたら教えてください）	

問5 中国やまなみ街道の全通により山陰・山陽・四国が高速道路で直結するとともに、関西地域や九州地域ともネットワーク化が図られました。貴社ではこうした高速道路網を活かして何らかの新たな事業展開をはじめられましたか、もしくは今後お考えでしょうか？（あてはまるもの全てに○）

また、選択肢2～6に○をつけた場合は、それぞれ対象としてお考えのエリアを下表から選んで、数字をご記入ください（複数回答可）。

1. 顧客サービスの充実（訪問・配送頻度の増など）
2. 他地域の新規顧客の開拓 → 【対象エリア：_____】
3. 他地域の協業・連携先の開拓 → 【対象エリア：_____】
4. 拠点等の移転（事業所、店舗、生産・流通等） → 【対象エリア：_____】
5. 既存の拠点等の拡充（事業所、店舗、生産・流通等） → 【対象エリア：_____】
6. 新たな拠点等の開設（事業所、店舗、生産・流通等） → 【対象エリア：_____】
7. その他（_____）
8. 新たな事業展開は特に考えていない



【対象エリア選択肢】

- ① 松江・出雲エリア（松江市、出雲市、安来市等）
- ② 雲南エリア（雲南市、飯南町、奥出雲町等）
- ③ 広島エリア（広島市、呉市、東広島市、廿日市市、大竹市、竹原市、安芸郡等）
- ④ 尾道・世羅エリア（尾道市、世羅町等）
- ⑤ 備後エリア（福山市、三原市、府中市、神石高原町等）
- ⑥ 備北エリア（三次市、庄原市、安芸高田市等）
- ⑦ 四国地域
- ⑧ 近畿地域
- ⑨ 九州地域
- ⑩ その他 ※上記回答欄にエリア・地域名を記入してください
- ⑪ エリアについてはまだ考えていない

問6 中国やまなみ街道の利用にあたり、今後、どのようなことを求められますか？（あてはまるもの全てに○）

1. 中国やまなみ街道へ連絡するアクセス道路の整備・改良
2. 広島空港へのアクセスの改善（フライトロードの延伸等）
3. 接続する山陰道の延伸によるネットワークの拡大
4. 休憩施設（サービスエリア・パーキングエリア・沿線道の駅等）の充実
5. 片側1車線（対面通行）の解消
6. 緊急事象（事故・大雪等の異常気象等）対応の改善
7. その他（_____）

問7 貴社の空港利用についてお伺いします。

(1) 貴社の事業において、移動手段に飛行機を使われる機会がありますか？

また、機会がある場合は、現在最もよく利用している中国地方の空港を一つお選びください。

1. 機会あり→ ()
2. 機会なし

- ① 出雲空港 ② 米子空港 ③ 広島空港 ④ 岡山空港
⑤ 岩国錦帯橋空港 ⑥ その他 (空港)

以下、「機会あり」と回答された場合にお伺いします。「機会なし」と回答された方は問8に進んでください

(2) 中国やまなみ街道全通により、飛行機の利用頻度に変化がありましたか？

1. 増えた 2. 変化なし 3. 減った

(3) 中国やまなみ街道全通により、利用する空港に変化がありましたか？

変化がある場合は、新たに利用されることになった空港についてお選びください。(複数回答可)

1. 変化あり→ ()
2. 変化なし

- ① 出雲空港 ② 米子空港 ③ 広島空港 ④ 岡山空港
⑤ 岩国錦帯橋空港 ⑥ その他 (空港)

(4) 中国やまなみ街道を利用して空港を利用する上で、お感じになっていることについてご自由にご記入ください。

問8 貴社の港湾利用についてお伺いします。

(1) 貴社の事業において、輸出入に港湾を使われる機会がありますか？

また、機会がある場合は、現在最もよく利用している中国地方の港湾を一つお選びください。

1. 機会あり→ ()
2. 機会なし

- ① 広島港 ② 福山港 ③ 境港
④ その他 (港)

以下、「機会あり」と回答された場合にお伺いします。「機会なし」と回答された方は問9に進んでください

(2) 中国やまなみ街道全通により、港湾の利用頻度に変化がありましたか？

1. 増えた 2. 変化なし 3. 減った

(3) 中国やまなみ街道全通により、利用する港湾に変化がありましたか？

変化がある場合は、新たに利用されることになった港湾についてお選びください。(複数回答可)

1. 変化あり→ ()
2. 変化なし

- ① 広島港 ② 福山港 ③ 境港
④ その他 (港)

(4) 中国やまなみ街道を利用して港湾を利用する上で、お感じになっていることについてご自由にご記入ください。

問9 貴社の概要について伺います。

貴社・事業所名	
業種	1. 農林水産業 2. 製造業 3. 建設業 4. 卸売業 5. 小売業 6. 飲食業 7. 宿泊業 8. その他（ ）
従業員数	1. 50 人未満 2. 50 人以上 100 人未満 3. 100 人以上 300 人未満 4. 300 人以上
所在地域 （市町村名の数字を お選びください）	【松江・出雲エリア】 1. 松江市 2. 出雲市 3. 安来市 【雲南エリア】 4. 雲南市 5. 飯南町 6. 奥出雲町 【広島エリア】 7. 広島市 8. 呉市 9. 東広島市 10. 廿日市市 11. 大竹市 12. 竹原市 13. 安芸郡 【尾道・世羅エリア】 14. 尾道市 15. 世羅町 【備後エリア】 16. 福山市 17. 三原市 18. 府中市 19. 神石高原町 【備北エリア】 20. 三次市 21. 庄原市 22. 安芸高田市 23. その他（ ）
主な原材料・設備等の 調達地域	（ ） 前問の選択肢(1～23)からお選び頂き、選択肢以外の場合は都道府県名をお書きください。
主な顧客の所在地域	（ ） 前問の選択肢(1～23)からお選び頂き、選択肢以外の場合は都道府県名をお書きください。
ご連絡先 （ご記入者）	部署 お名前 TEL

※後日、内容について確認させて頂くことがありますので、恐れ入りますが、ご連絡先のご記入をお願いします。

問 10 中国やまなみ街道の利活用による産業活性化を図っていく上でのご意見等がございましたらご自由にご記入ください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました。

返信用封筒（切手不要）にて、平成28年4月30日(土)までにご返信頂きますようお願いいたします。